

令和6年度

岩手県農業研究センター 年 報



令和7年10月

目 次

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 6
(3) 企画運営会議	I - 6
(4) 運営会議、室長会議	I - 7
(5) 委員会等の運営	I - 8
ア 公開行事企画運営委員会	
イ 飼料生産委員会	
(6) その他会議	I - 8
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 県内で開催された関係学会	

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
3 研究室・課の動き	II - 4
(1) 企画管理部	II - 4
(2) 生産基盤研究部	II - 5
(3) 園芸技術研究部	II - 6
(4) 生産環境研究部	II - 8
(5) 病害虫防除部	II - 9
(6) 畜産研究所	II - 10
(7) 県北農業研究所	II - 13
4 令和5年度試験研究課題	II - 15
(1) 細目課題分類	II - 15
(2) 試験研究課題一覧	II - 16
(3) 試験研究課題の要望とその措置一覧	II - 23

5 共同研究等の推進	II - 24
(1) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II - 24
(2) イノベーション創出強化研究推進事業	II - 24
(3) 公設試等連携可能性調査	II - 25
(4) その他独法等からの委託	II - 25
(5) 民間委託試験	II - 26
(6) (公財) 岩手生物工学研究センターとの共同研究	II - 27
(7) 他の公設試との共同研究	II - 27
(8) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)	II - 27
(9) その他共同研究	II - 28
(10) 産学官連携	II - 28
6 現地試験の実施	II - 29
 III 試験研究の成果	
1 試験研究成果	III - 1
(1) 令和6年度成果数	III - 1
(2) 令和6年度成果名一覧	III - 2
2 追跡評価	III - 6
3 東北農業研究成果	III - 8
(1) 研究成果数	III - 8
(2) 研究成果名	III - 8
 IV 試験研究成果の発表	
1 試験成績書等刊行物	IV - 1
2 研究レポート	IV - 2
3 学会等研究報告	IV - 4
(1) 学術論文	IV - 4
(2) 学会発表	IV - 5
4 雑誌等掲載	IV - 9
(1) 専門雑誌等	IV - 9
(2) 岩手の畜産	IV - 10
5 新聞等掲載	IV - 11
6 テレビ・ラジオ放送	IV - 13
(1) テレビ	IV - 13
(2) ラジオ	IV - 13
7 指導資料等掲載	IV - 14
8 ホームページ	IV - 16
9 SNS	IV - 16
(1) X(旧Twitter)	IV - 16
(2) Facebook	IV - 16
10 研究室だより	IV - 17
(1) らぼ・れたあ	IV - 17
(2) ふおとらぼ	IV - 19

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応	V-	1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V-	6
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V-	13
4 春季一般公開及び一般公開デー	V-	13
5 技術セミナー等の開催	V-	13
6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者	V-	13
7 研修生の受け入れ	V-	14
(1) 海外研修	V-	14
(2) 短期研修生	V-	14
(3) 視察・体験学習の受け入れ	V-	14
ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの		
イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの		
ウ その他の視察・研修等に対応したもの		
8 協議会、委員会等委員	V-	18

VI 職員研修

1 大学院派遣	VI-	1
2 海外派遣・研修	VI-	1
3 国内研修への派遣	VI-	1
(1) 依頼研究員	VI-	1
(2) 農林水産関係研究リーダー研修	VI-	1
(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI-	1
(4) 農林水産関係研究者研修	VI-	1
(5) その他	VI-	2
4 所内研修等	VI-	7
5 所内セミナー等	VI-	8

VII 試験研究以外の業務概要

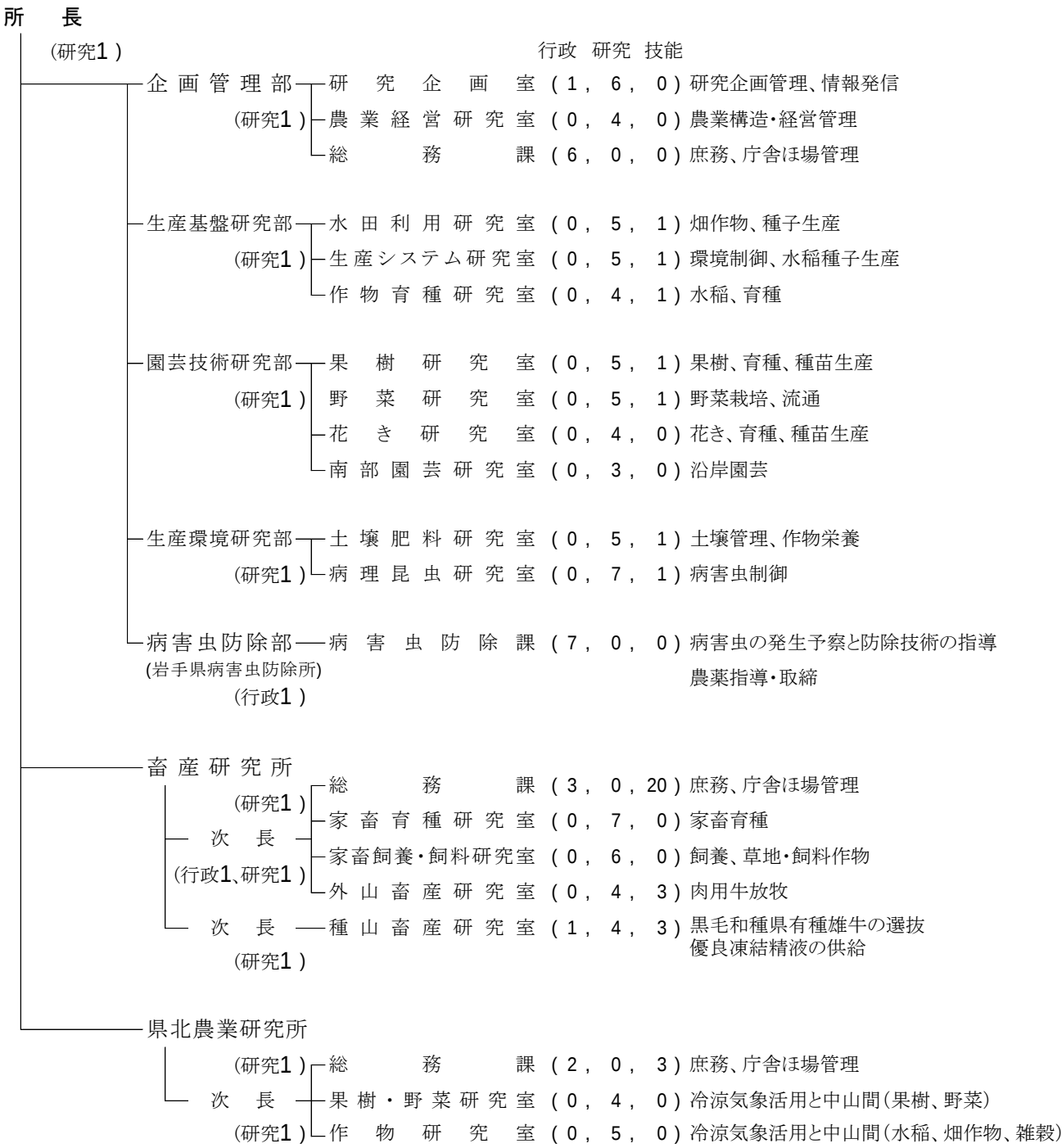
1 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原原種の生産	VII-	1
2 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原種の生産	VII-	1
3 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく種子・種苗の配布	VII-	2
4 遺伝資源センターの取り組み	VII-	2
5 県有種雄牛の精液の供給	VII-	3
(1) 黒毛和種	VII-	3
(2) 日本短角種	VII-	4
6 種豚、種鶏等の配布	VII-	5
(1) 豚の配布	VII-	5
(2) 種鶏等の配布	VII-	5
7 寄託放牧	VII-	5
(1) 牛	VII-	5
(2) 馬	VII-	5

VIII 予算及び財産		
1 岩手県農業研究センター予算	VIII-	1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII-	2
(1) 建物・用地の面積	VIII-	2
(2) 飼養家畜頭数	VIII-	2
IX 沿革	IX-	1

I 農業研究センターの概要

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数 ※実数



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢市)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	55	3	15	4	5	11	93
技能	7	0	20	3	3	3	36
合計	77	3	39	7	9	16	151

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R6.8.2(金)	R6.7.31(水)	R6.7.29(月)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 令和7年度からの試験研究を要望された課題とその措置案について
- (b) 令和7年度新規試験研究課題案について
- (c) 令和6年度試験研究課題案(変更含む)について

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R6.9.12(木)	R6.9.9(月)	R6.9.11(水)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局岩手県拠点	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	-
	岩手県農業共済組合	○	○	○
	(公社)岩手県農産物改良種苗センター	○	○	-
	(一社)岩手県植物防疫協会	-	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	-	-	-
	(公社)岩手県農業公社	-	-	-
	岩手県農業機械協会	-	-	-
	(一社)岩手県畜産協会	-	-	-

b 協議事項

- (a) 令和7年度新規試験研究課題案について
- (b) 令和6年度新規試験研究課題案について

(ウ) 第1回評価調整会議

a 開催日 令和6年10月2日(水)

b 協議事項等

- (a) 令和7年度からの試験研究を要望された課題とその措置案について
- (b) 令和6、7年度新規試験研究課題案について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

イ 試験研究成果の採択

(ア)第2回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R6.12.11(水)	野菜: R6.12.4(水) 花き、果樹: R6.12.5(木)	R6.12.3(火)
参 集 範 囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

(a) 令和6年度試験研究成果案について

(b) 令和7年度試験研究課題案について

(イ)第2回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		鳥インフルエンザ対応のため、書面開催に変更		
参 集 範 囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局岩手県拠点	-	—	-
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	-
	岩手県農業共済組合	-	—	-
	(公社)岩手県農産物改良種苗センター	-	○	-
	(一社)岩手県植物防疫協会	-	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	-	—	-
	(公社)岩手県農業公社	-	-	-
	岩手県農業機械協会	○	-	-
	(一社)岩手県畜産協会	-	-	-

令和6年度は書面開催のため、質問、意見のあった機関を掲載。

○：質問・意見あり

—：質問・意見なし

b 協議事項

(a) 令和6年度試験研究成果案について

(b) 令和7年度試験研究課題案について

(ウ)第2回評価調整会議

- a 開催日 令和7年1月27日(月)
- b 協議事項
 - (a) 令和6年度試験研究成果案について
 - (b) 令和7年度試験研究課題案について
- c 参集範囲
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア)第3回内部検討会議

- a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R7.3.4(火)	R7.3.6(木)	R7.3.5(水)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○

- b 協議事項
 - (a) 令和7年度試験研究課題(新規、変更課題)について

(イ)第3回評価調整会議

- a 開催日 令和7年3月12日(水)
- b 協議事項
 - (a) 令和7年度試験研究課題(新規)について
 - (b) 令和7年度試験研究課題(継続)について
 - (c) 令和6年度に終了する試験研究課題について
 - (d) 令和6年度試験研究成果について
- c 参集範囲
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

エ 岩手県農業技術開発会議

(ア)第1回

- a 開催日 令和7年1月31日(金) 15:00～17:00
- b 報告事項
- (a) 農業研究センターにおける試験研究推進計画(2024年度～2028年度)の進捗状況について
 - (b) 農業研究センターにおける試験研究成果の採択について
 - (c) 農業研究センターにおける新規課題の選定について
 - (d) 生物工学研究センターにおける技術開発について
- c 参集範囲
- (公財)岩手生物工学研究センター
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

オ 試験研究推進アドバイザー(令和6年度の第2回試験研究推進会議外部検討会議は、書面開催のため、全部会で出席者なし)

所属部会	氏名	役職名	外部検討会議出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部 准教授	-	
	長谷川 啓哉	農研機構 東北農業研究センター 水田輪作研究領域 領域長	○	
	工藤 嘉充	岩手県農業農村指導士(八幡平市)	-	
	清水 一孝	株式会社西部開発農産 生産部 部長	○	
	信田 陽一	全農岩手県本部営農支援部 次長	○	
農産 (畑作)	関矢 博幸	農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 領域長		
	渡邊 克洋	農事組合法人アグリパーク舞川 代表理事		
	藤田 栄貴	岩手県農業農村指導士(奥州市)		
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程 教授	○	
	岩波 宏	農研機構 果樹茶業研究部門 果樹生産研究領域 果樹スマート生産グループ・グループ長補佐	○	
	佐々木 仁	全農岩手県本部 園芸部生産販売課 技術主管	○	
	工藤 英夫	花巻市葡萄が丘農業研究所 所長	○	
	中野 忍	岩手県農業農村指導士(矢巾町)	-	
園芸 (野菜)	畠山 勝徳	岩手大学農学部附植物生命科学科 教授		
	室 崇人	農研機構 東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 野菜新作型グループ グループ長		
	高橋 光朗	岩手県農業農村指導士(奥州市江刺)		
	工藤 勝弘	岩手県農業農村指導士(八幡平市)		
	三浦 瑞明	全農岩手県本部園芸部 部長		
園芸 (花き)	稲本 勝彦	農研機構 野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域 施設野菜花き生産管理システムグループ グループ長補佐		
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー 会長兼CEO		
	高橋 亮	八幡平市花き研究開発センター 係長		
	佐藤 巧	岩手県農業農村指導士(花巻市)		
畜産	河本 英憲	農研機構 東北農業研究センター 研究推進部 農業技術コミュニケーター	○	
	佐々木 重樹	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長	○	
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程 教授	○	
	大津 信一	全農岩手県本部畜産酪農部 次長兼生産指導課長	-	
	関川 寛己	(独)家畜改良センター岩手牧場 場長	○	
	保科 俊徳	岩手県青年農業士(奥州市前沢)	-	
	中屋敷 稔	岩手県青年農業士(久慈市)	-	
	嵯峨 裕紀	岩手県青年農業士(盛岡市)	-	
			11 名	0 名

(2) 機関評価委員会

- ア 開催日・場所 令和6年9月30日(月) 岩手県農業研究センター(北上市)
- イ 内容 (ア) 機関評価の概要
(イ) 試験研究推進計画について
(ウ) 試験研究実施状況等説明
(エ) 意見交換
- ウ 出席者
- (ア) 機関評価検討会員 若生 忠幸 氏 (東北農業研究センター 研究推進部長)
(4人) 高畑 義人 氏 (岩手大学 名誉教授)
青沼 純一 氏 (岩手県農業農村指導士協会 会長)
米倉 裕一 氏 (地方独立行政法人岩手県工業技術センター 理事)
- (イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

(3) 企画運営会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R6.5.23(木)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価実施要領の改正について (2)令和6年度機関評価について (3)第1回試験研究推進会議について (4)りんどう品種「いわてEB-4号」の勤務発明審査について 2 連絡・報告事項 (1)試験研究費の推移について (2)公開デーについて (3)webによる情報発信の実施状況と計画について (4)資源サーバー「f農研セン公」の利用について
R6.7.25(木)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和6年度機関評価の実施内容について (2)第1回試験研究推進会議の実施内容について (3)第2回試験研究推進会議の日程について (4)試験研究機関のあり方に係る検討について (5)水稻品種「岩手141号」の勤務発明審査について (6)りんご「いわて15号」の勤務発明審査について 2 連絡・報告事項 (1)一般公開デー(本部)の準備状況について (2)研究成果発表会の開催予定について (3)サーバーの使い分けについて (4)「らぼ・れたあ」の投稿計画(第2四半期)について
R6.10.2(水)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 令和6年度農業研究センター職員意識調査について 2 連絡・報告事項 (1)一般公開デーの開催状況について (2)研究成果発表会の開催状況について (3)試験研究のあり方に係る検討について (4)業務方針進捗状況第2四半期実績について (5)「らぼ・れたあ」の投稿計画について

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R7.1.27(月)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)勤務発明(イチゴ盛岡38号(仮称))について (2)勤務発明(岩手144号(仮称))について (3)今後の試験研究予算確保について 2 連絡・報告事項 (1)令和6年度試験研究推進会議の日程について (2)試験研究成績書の作成について
R7.3.12(水)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)職員意識調査の結果について (2)試験研究成績書の作成について (3)令和7年度所内コンペについて (4)令和7年度研究成果発表会について 2 連絡・報告事項 (1)令和7年度外部研究資金について (2)企画運営会議等主要会議の年間スケジュールについて

(4) 運営会議、室長会議

ア 本部運営会議

令和6年度開催回数24回

イ 本部室長会議

令和6年度開催回数1回

ウ 畜産研究所室長会議

原則月1回開催、令和5年度開催回数13回

エ 県北農業研究所企画調整会議

原則月1回開催、令和5年度開催回数16回

(5) 委員会等の運営

ア 公開行事企画運営委員会 (PR委員会)

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
R6.8.9	畜産研究所セミナー室	(1) 令和6年度畜産研究所参観デーの実施計画等について (期日、場所、展示内容等について協議)

イ 飼料生産委員会

開催月日	場所	内 容
R6.4.23	畜産研究所小会議室	(1) 令和5年度粗飼料供給実績について (2) 令和6年度粗飼料要望数量と供給見込数量について (3) 収穫時の作業協力体制について (4) 調整場所について

(6) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R6.6.27	TKP新橋カンファレンス センター 16階ホール	全国農業関係試験研究場所長会総会 (1) 令和6年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 (2) 研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R6.7.11～12	北海道三笠市、岩見沢市、北広島市	情報提供 (1) 現地視察(三笠市): 山崎ワイナリー (2) 現地視察(岩見沢市): 玉ねぎ生産現地、JAいわみざわ玉葱栽培委員会 (3) 現地視察(岩見沢市): 「ななつぼし」等の水稻育成地、中央農業試験場 (4) 現地視察(北広島市): 「KUBOTA AGRIFRONT」施設見学 協議事項 (1) 各機関からの提案事項についての情報交換

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R6.6.18	東京都文京区 全国家電会館	1 協議 (1) 令和5年度事業報告及び収支決算について (2) 令和6年度事業計画及び収支予算について (3) 令和6年度会費の額及び徴収方法について (4) 令和6年度役員について 2 その他 (1) 畜産研究功労者表彰 (2) 意見交換(畜産業におけるカーボンニュートラルの達成に向けて)

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
R6.10.4	青森県青森市 新町キューブ	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究の実施状況について 3 連携(共同)研究の今後の希望について 4 国・国研・独法に対する提案について 5 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 6 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 7 意見交換会 8 次期役員及び次回開催地(案)について

オ 岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料検討会議

開催月日	場 所	内 容
R6.9.3	盛岡市 (県庁5F会議室)	第1回岩手県農作物病虫害・雑草防除に係る技術資料作成会議(農業普及技術課主催) ・作成に係る基本方針の周知等
R6.11.6～7	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催) ・防除技術資料の原案及び要望事項の検討
R6.12.23～24	北上市 (農業研究センター)	令和7年度県防除技術資料の改正内容について(病虫害防除所主催) ・チェック結果の検討
R7.2.4	書面決議	第2回岩手県農作物病虫害・雑草防除に係る技術資料作成会議(農業普及技術課主催) ・防除技術資料(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】		
R6.8.29	盛岡市 (農研機構 東北農業研究センター)	○東北地域麦品種・系統検討会 1 各県の麦作概況 2 麦類の検討 3 冬作研究に関する情報交換
R6.8.29～30	宮城県大崎市 (古川農業試験場)	○東北地域水稻品種・系統立毛検討会 1 現地見学 2 立毛調査 3 室内検討
R7.1.27～28	盛岡市 (アイーナ)	○稲品種検討会 1 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 2 品種の作付け動向と要望される品種 3 配付系統の試作結果と配付計画の検討 4 (1)試作成績一覧、年度配付計画 (2)各県現地試験供試系統および次年度品種候補系統 5 技術的課題の提案と検討 6 特性比較連絡試験の検討 7 育種関係情報交換
R7.1.27～28	盛岡市 (アイーナ)	○稲栽培研究会 1 研究会テーマ1「気候変動に対応した水稻生産を実現する試験研究と課題」 研究会テーマ2「みどりの食料システム戦略に対応した稲栽培研究」 2 研究成果情報候補課題の検討 3 現場段階での重要な技術的課題の検討

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】(続き)		
R6.8.8～9	鶴岡市、東田川郡三川町 (現地圃場、山形県農業総合研究センター水田農業研究所)	○直播研究会(夏季) 1 現地検討会 (1)(有)米の里(鶴岡市) (2)山形総農研水田農業研究所(鶴岡市) (3)(株)まいすたあ(東田川郡三川町) 2 室内検討会 (1)水稻の生産コスト低減について (2)(株)田中農園の考える「農業経営」について (株)田中農園 (3)収益性を高める技術の導入事例(ザルビオ) (株)西部開発農産
R7.1.27	盛岡市 (アイーナ)	○直播研究会 1 重点検討事項 「種子コーティング資材を利用した水稻直播栽培技術について」 2 各県における令和6年度水稻直播栽培の生育概況と技術課題の検討 3 直播研究会の今後について
R7.1.28	盛岡市 (アイーナ)	○作物生産推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 成果情報の検討 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「気象変動に対応した作物生産を実現する試験研究と課題」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
R7.1.27	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物栽培研究会 1 情勢報告 畑作物栽培に関わる行政部局からの情報提供 2 重点検討事項「気象変動に対応した作物生産を実現する試験研究と課題」 (1)話題提供「大豆栽培における2023年の高温条件の影響」 (2)畑作物の雑草防除に関する情報交換会
R7.1.28	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物品種検討会 1 令和6年度研究成果情報候補(畑作物品種関係)の検討 2 畑作物の品種・系統の検討 (1)奨励品種の改廃・採用予定、有望品種・系統 (2)大豆の有望品種・系統(育成地)
R7.1.27～28	盛岡市 (アイーナ)	○農業経営研究会 1 重点検討事項「気候変動に対応した作物生産を実現する試験研究と課題」 (1)座長解題「気候変動に対応した作物生産のための消費者購買行動の把握について」 農研機構東北農業研究センター グループ長補佐 笹原 和哉 氏 (2)講演「食品マーケティングと消費者調査」 宮城大学食産業学群 准教授 滝口 沙也加 氏 (3)講演「消費者の購買行動を把握するための調査設計と実施方法」 農研機構農業環境研究部門 研究員 井上 賢哉 氏 2 令和6年度研究成果情報の検討 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 重要な技術的課題の提案と検討
R6.8.21～22	盛岡市 (農研機構 東北農業研究センター)	○作業技術研究会(夏季) 1 シンポジウム テーマ:「多様化する環境に対応するスマート農業技術の現状と課題」 (1)気候変動と農業 ～近年の高温と水稻での対策例を中心に 農研機構 (2)岩手県におけるスマート農業推進の取り組み 岩手県農業普及技術課 (3)多様な環境に対応するスマート農業技術に関する取り組み ヤンマーアグリジャパン(株) 2 検討 (1)テーマに係る各県の現状と課題および外部資金獲得に向けた課題提案等 (2)令和6年度作業技術研究会(冬期)重点検討事項 3 見学会 (1)金田一営農組合 (2)岩手県農業研究センター県北農業研究所

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】(続き)		
R7.1.27～28	盛岡市 (アイーナ)	○作業技術研究会 1 重点検討事項「スマ農プロ後のスマート技術と省力化」に関する話題提供 2 研究成果情報の検討・確認 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 5 令和7年度作業技術検討会(夏期)についての意見交換 6 各県の研究課題の概要の紹介
【生産環境推進部会】		
R6.7.11～12	青森県青森市、黒石市	○土壌肥料研究会(夏期) 1 室内検討会 検討課題「有機農業の現状と研究開発の動向」 講演 「みどりの食料システム戦略に即した水田有機農業の拡大方針に対する展望と課題」 農研機構東北農業研究センター 笹原和哉 氏 「大豆・野菜の有機栽培技術」 農研機構九州沖縄農業研究センター 三浦重典 氏 2 現地検討会 株式会社アグリーンハート(黒石市)
R7.1.23～24	盛岡市 (アイーナ)	○土壌肥料研究会(冬期) 1 重点検討事項「気候変動(特に夏季高温)に対応した研究の現状と展開方向」 話題提供 「海外の水田温室効果ガスの情勢について(クレジット化方法論の観点から)」 農研機構 NARO 開発戦略センター 桑島 健也 氏 「水田・畑地土壌からのCH ₄ 、N ₂ O 排出削減技術」 農研機構農業環境研究部門 西村 誠一 氏 2 温室効果ガスの削減や夏期高温に対応した各組織の土壌肥料研究の紹介 3 令和6年度試験研究成果情報の検討 4 研究トピックの紹介 5 現場段階での重要な技術的課題の検討
R6.9.9～10	青森県平川市、田中館村、弘前市 (弘前文化センター)	○病虫害研究会 1 現地検討会(平川市、田中館村、弘前市) ①大豆大規模栽培圃場(病害に対する葉面散布肥料の利用) ②いちご施設栽培圃場(土蔵pH矯正による病害対策等) ③ピーマン選果場・栽培圃場(台木利用による病害対策等) 2 研究会 検討課題「難防除病害虫に対するみどりの食料システム戦略に関する取り組み」 ①青森県における補助植物利用技術を組み込んだ露地タマネギ・ネギでのIPMの構築 青森県産業技術センター農林総合研究所 研究管理員 石岡 将樹 氏 ②青森県における難防除土壌病害・メロン炭腐病の被害軽減対策 青森県産業技術センター農林総合研究所 主任研究員 花岡 朋絵 氏 ③国内外におけるバイオスティミュラントの動向 バイオスティミュラント協議会 理事・技術調査委員長 鈴木 基史 氏 総合討論
R7.1.23～24	盛岡市 (アイーナ)	○病虫害研究会(冬期) 1 重点検討事項「気候変動(特に夏季高温)に対応した病虫害研究の現状と展開方向」 2 講演「土壌還元消毒を主体とした青枯病等土壌病害対策の検討」 農研機構農業環境研究部門 気候変動緩和策研究領域 堀田 光生 氏 3 令和6年度主要試験研究成績の検討 4 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 5 「現場段階での重要な技術的課題」の検討

開催月日	場 所	内 容
【生産環境推進部会】(つづき)		
R7.1.23～24	オンライン併用 盛岡市 (アイーナ)	○農業気象研究会 1 重点検討事項 「気候変動(特に夏季高温)に対応した研究の現状と展開方向」 2 話題提供 「東北地方における2023年夏季高温の水稲影響」 ①2023年夏季の東北猛暑発生のメカニズムおよび気候変動にともなう将来の再発可能性 気象庁仙台管区気象台 気象解説官 竹川 元章 氏 ②東北地域の2023年、2024年の夏季気象が水稲品質に及ぼした影響と対策技術の効果の推定 農研機構農業環境研究部門エグゼクティブリサーチャー 長谷川利弘 氏 ③高温年における全国の水稲作期の変化 農研機構東北農業研究センター グループ長補佐 井上 聡 氏 ④山形県育成水稲品種の普及と課題 山形県農業総合研究センター水田農業研究所 所長 横山克至 氏 3 「研究成果」検討および「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 試験研究成績の検討 5 「現場段階での重要な技術的課題」の検討
R7.1.24	オンライン併用 盛岡市 (アイーナ)	○生産環境推進部会 1 重点検討事項 「気候変動(特に夏季高温)に対応した研究の現状と展開方向」 話題提供 「IPCC第6次報告書に見る気候変動と食料生産への影響」 農研機構農業環境研究部門 エグゼクティブリサーチャー 長谷川利弘 氏 各県の取り組み状況と今後の研究方向 2 成果情報の検討および「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 3 現場段階での重要な技術的課題の検討
【畜産飼料作推進部会】		
R7.1.28～29	盛岡市 (農研機構 東北農業研究センター)	○畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 「気候変動(特に夏季高温)に対応した畜産飼料作研究の現状と展開方向」 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補選定 4 令和7年度「主要新規試験計画」の検討
【野菜花き推進部会】		
R6.9.10～11	青森県五所川原市、青森市	○野菜花き研究会(夏期) 1 現地検討会 イチゴ生産圃場(五所川原市) トルコギキョウ生産圃場(五所川原市) 2 研究会(青森市) 各県等における野菜関連研究についての紹介
R7.1.30～31	岩手県盛岡市	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項(野菜花き共通) 野菜花きにおける夏季の高温対策に向けた東北農業研究開発の方向 2 成果情報候補の検討結果の報告 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の検討

開催月日	場 所	内 容
【果樹推進部会】		
R6.9.12	秋田県横手市ほか	○減農薬防除体系シンポジウム・現地検討会 1 現地検討会 (1)天敵保護防除園見学 (2)秋田県果樹試験場見学 2 寒冷地果樹の減農薬防除体系シンポジウム
R6.1.23	盛岡市 (アイーナ会議室)	○果樹推進部会 1 気候変動がリンゴなど果樹に及ぼす影響と対策 2 「みどりの食糧システム戦略」実現等に資する現場段階での重要な技術的課題の検討 3 令和6年度研究成果情報の検討 4 「みどりの食糧システム戦略」技術カタログ掲載候補成果の検討と選定 5 その他
【研究戦略会議】		
R6.10.17	オンライン開催	出席者:企画管理部長、研究企画室長 1 情報提供(農林水産省) 2 「国の施策で対応すべき技術的課題」候補の選定 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログの掲載候補の選定 4 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた取組及びスマート農業技術促進の検討 5 戦略目標(重点検討事項)の検討 気候変動(特に夏季高温)に対応した研究の現状と展開方向 6 その他
【本会議】		
R7.3.3	盛岡市 (農研機構 東北農業研究センター) オンライン併用	出席者:所長、研究企画室長(オンライン出席) 1 推進部会・分科会等報告 2 令和6年度提出成果情報の採否の検討 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログの推薦の検討 4 「みどりの食料システム戦略」実現等に資する現場段階での重要な技術的課題 5 重点検討事項の確認 6 その他

キ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
R6.7.26	岩手県農業研究センター	第75回全日本野菜品種審査会 タマネギ(秋まき晩生)
R6.8.21～22	盛岡市 (農研機構 東北農業研究センター)	○令和6年度農業食料工学会東北支部大会
R6.8.26～27	アイーナ (盛岡市)	令和6年度園芸学会東北支部大会
R6.12.9～10	アイーナ (盛岡市)	第33回天敵利用研究会

Ⅱ 試験研究の推進

Ⅱ 試験研究の推進

1 研究活動の概要

県は、平成31年度から令和10年度までの10年間の政策の基本方向となる「いわて県民計画（2019～2028）」を平成31年2月に策定した。

この「いわて県民計画（2019～2028）」に基づき、農林水産部は、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として「『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針」（以下「技術開発基本方針」という。）を策定した（令和2年3月）。

農業研究センターは、技術開発基本方針に基づき、令和10年度まで取り組む「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した（令和6年3月、研究期間は令和10年度までとして策定）。

技術開発基本方針の5つの農業技術開発の方向に即し、15分野43の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的かつ安定的に生産するために高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

令和6年度の試験研究にあたっては、以下の3つの基本方針に沿って、新規11、継続93、合計104（小課題数ベース、分野を重複する小課題はカウント）の研究課題に取り組んだ。

1 県民視点の試験研究等業務の推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

2 スピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、行政、普及、農業者と連携し一体的に推進
- ・連携強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

3 業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果・業務内容のPR及び視察等の受入れ

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産・園芸部門で26課題（うち新規7課題）、畜産部門で5課題、合計42課題の共同研究に取り組んだ。

知的財産では、りんご「岩手15号」（登録番号37858）、が品種登録された。また、岩手県産のあわ「いわてあわこがね」（商願2024-011447）が商標登録され、「コンバインの作物押倒し構造」（特許出願番号2024-028894）が特許登録された。さらに、水稻「白銀のひかり（岩手141号）」「イワテ144号（岩手144号）」、りんどう「いわてEB-4号」及びあわ「岩手糯11号（アワ岩手糯11号）」が品種登録出願中である。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部（試験研究推進アドバイザー・生産者等）の評価を経て、53の研究成果（普及区分4、指導区分28、行政区分14、研究区分7）にとりまとめた。

機関評価委員会（視察・懇談会）を9月30日に本部を会場として開催した。当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について視察、意見交換を行った。

2 トピックス

(1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
種苗登録 出願申請中	水稻 白銀のひかり(岩手141号) 【出願番号:37717 出願日:2024/11/7】 ・良食味で収量及び栽培特性に優れる早生粳水稻品種	生産基盤研究部 作物育種研究室
種苗登録 出願申請中	水稻 イワテ144号(岩手144号) 【出願番号:37962 出願日:2025/4/11】 ・良食味で収量及び栽培特性に優れる低アミロース早生粳水稻品種	生産基盤研究部 作物育種研究室
種苗登録	りんご 岩手 15 号 【登録番号:37858 登録日:2024/1/28】 ・貯蔵性が優れる大玉で着色良好な赤色系品種	園芸技術研究部 果樹研究室
種苗登録 出願申請中	りんどう いわて EB-4号 【出願番号:37785 出願日:2024/12/4】 ・7月下旬～8月上旬開花の切り花向け青色りんどうF ₁ 品種	園芸技術研究部 花き研究室
種苗登録 出願申請中	あわ「岩手糯 11 号」(アワ岩手糯 11 号) 【出願番号:37215 出願日:2024/1/9】	県北農業研究所 作物研究室
商標登録	岩手県産のあわ「いわてあわこがね」 【登録番号:第 6805872 号 登録日:2024/5/20】	県北農業研究所 作物研究室
特許	コンバインの作物押倒し構造 【特許番号:特願第 7657435 号 登録日:2025/3/28】	県北農業研究所 作物研究室 【三菱マヒンドラ農機(株)、農研機構農機研、岩手県共同出願】

(2) 表彰等受賞状況

ア 令和6年度農林水産部長表彰

生産環境研究部病理昆虫研究室 猫塚修一上席専門研究員は、りんご黒星病、褐斑病の重点防除時期を明らかにし、防除体系を見直すことで、両病害の発生を軽減することに貢献したとして表彰された(令和6年 11 月 13 日)。

畜産研究所種山畜産研究室 篠崎創専門研究員他4名(今野一之、佐藤祐里江、大宮元、佐々木優希)は、黒毛和種優良種雄牛(「菊美翔平」号)の造成及びPR活動に貢献したとして表彰された(令和7年3月 27 日)

県北農業研究所 小野寺忠夫主任専門研究員は、耐病・多収性小麦新品種「ナンブキラリ」の奨励品種採用と普及拡大への技術的貢献したとして、生産基盤研究部職員とともに連名で表彰された(令和7年3月 27 日)

イ 園芸学会東北支部大会優秀発表賞

園芸技術研究部果樹研究室 遊佐公哉専門研究員らの「ブルーベリーにおける交互結実剪定法が果実生産および作業時間に及ぼす影響」、園芸技術研究部南部園芸研究室 五十嵐廉技師、高橋大輔上席専門研究員、佐藤敬南部園芸研究室長らの、「いちごの夏秋どり栽培における‘夏のしずく’の栽植距離の検討」が優秀発表賞を受賞した(令和6年8月 26 日)。

ウ 園芸学会東北支部賞(研究部門賞)

園芸技術研究部花き研究室 小田島雅上席専門研究員は、リンドウの育種担当者として、切り花品種や鉢花品種の育成に精力的に取り組み、交配育種に加え突然変異育種技術等も取り入れ、県産リンドウのラインナップ強化に寄与するとともに、省力かつ低コスト生産が可能となる「千鳥疎植栽培」技術を開発するなど、リンドウの生産に大きく貢献していることが評価され、業績題目「リンドウ産地の発展に寄与する品種育成および栽培技術開発に関する研究」として受賞した(令和6年8月 26 日)

エ 農林水産部政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup 2024」

農業研究センターからは次の6課題が発表された。「岩手県の野心的な農業研究に投資してみませんか?～クラウドファンディングで win-win 研究開発～」(発表者:企画管理部 主任専門研究員 小野幸)、「逆転の発想、牧草地低収化のススメ～低投入・低労力・低コスト牧草生産の確立～」(発表者:畜産研究所 技師 渡邊すみれ)、「放牧でサステ

ナブルな畜産～ICT活用で真の省力化を目指して～」(発表者:畜産研究所 主任専門研究員 伊藤孝浩)、
「YouTube で世界に届け! 県有種雄牛「菊美翔平」!!」(発表者:畜産研究所 技師 佐々木優希)、「「いわて牛」
「Iwate Wagyu」をPRするための1手法」(発表者:畜産研究所 次長 昆野勝)、「第2次いわて和牛ゲノムフル活用事業
の始動」(発表者:畜産研究所 主任専門研究員 山形広輔)

オ 令和6年度岩手県職員事績顕著者表彰

畜産研究所 工藤明彦主任技能員は、昭和 61 年4月に採用されて以来、岩手県畜産試験場及び岩手県農業研究
センター畜産研究所において、多年にわたり技能員としてその業務に精励し、本県畜産業の振興に尽力したことが高く
評価され受賞した(令和6年 11 月 14 日)

カ 内部表彰

有益な研究・発明を行い優秀な成果をあげた職員や、事務の運営改善・簡素効率化に貢献した職員等に対し、
農業研究センター所長表彰、畜産研究所長表彰及び県北農業研究所長表彰を下記のとおり行った。

表彰名称	件数	表彰者数	表彰年月日
令和6年度第1回農業研究センター所長表彰	4	9	令和6年10月29日
令和6年度第2回農業研究センター所長表彰	12	22	令和7年3月14日
令和6年度第1回農業研究センター畜産研究所長表彰	5	51	令和6年10月29日
令和6年度第2回農業研究センター畜産研究所長表彰	3	28	令和7年3月10日
令和6年度農業研究センター県北農業研究所長表彰	4	6	令和7年3月17日

3 研究室・課の動き

(1) 企画管理部

研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

<顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、農業普及技術課農業革新支援担当との作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会を9月30日に本部を会場として開催し、当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について説明、意見交換を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

<アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、43件(前年37件)であった。ホームページは、年間203ページ(前年174ページ)の更新を行い、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間85件(前年47件)発信した。さらに、X(旧Twitter)による情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数359回、フォロワー増加数23名、同じくFacebookでは投稿数218回、フォロワー増加数126名であった。

<専門知識と技術を有する人材育成 ～ 新たに若手研究員を対象とした所内コンペを開催>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員等育成方針」(令和4年策定)に基づき、専門性の高い人材の育成に向け、各種研修等への参加を誘導した。また、研究員の自由な発案に基づく研究課題の設定を促すため、若手研究員を対象とした所内コンペティションを4月に開催し、3課題を採択・予算配分したほか、センター内の学位取得者や論文査読経験のある職員10名を若手研究員育成サポーターとして設置し、若手研究員に対して論文投稿や学会発表を始めとした研究業務全般のアドバイスをを行うなど、重点的に育成を図った。

なお、各分野の中核を担う研究員の計画的な育成をさらに効果的・効率的に進めるため、職員個々が研修計画を策定し実践するとともに、発展段階に応じた集合研修を企画・実施している。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

農業経営研究室

「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、収益力の高い農業経営体の育成等に向け、農業構造・経営管理分野の研究について、以下のとおり取り組んだ。

<収益性の高い農業経営モデルの提示>

課題化初年度目である「岩手県における野菜作経営モデルの構築と成立条件の解明」及び「大規模水田作経営の成立条件の解明」では、県内外の先進事例調査等を実施し、次年度の詳細調査に向けた調査対象や調査項目等の絞り込みを行った。

<経営意思決定支援情報の提供>

「経営環境の変化に対応した農業技術体系データの提示」では、生産技術体系データ(2025年版)の作成に向けて、積算内訳表の内容確認及び技術体系ブックへの入力作業を行った。また、水稻スマート農業技術体系データを作成し、以下の研究成果をとりまとめた。

- ・水稲スマート農業技術体系の省力性がもたらす経営上の効果(行政)

＜本県の農業構造の現状及び動向の提示＞

令和7年度末公表予定の2025年農林業センサスを活用した本県農業構造の動態分析及び担い手及び農地利用の将来予測を行うため、関係者へのニーズ調査を実施した。

(2) 生産基盤研究部

水田利用研究室

水稲・畑作物(麦類・大豆)の奨励品種決定調査、麦・大豆の作柄解析、麦・大豆の原種・原原種生産、農村整備分野の地下かんがいシステムの実証試験等に取り組んでいる。

＜水稲品種＞

水稲の奨励品種決定試験では、本試験において粳2系統を供試し、現地試験では粳を13か所で検討した。

水稲作用除草剤第2次適用性試験では、新たに開発された水稲の除草剤の効果の確認と雑草防除体系の確立のため、12剤を場内ほ場で試験した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・令和6年度における水稲奨励品種決定基本試験の本試験・現地試験結果(行政)

＜麦類＞

麦類奨励品種決定調査では、小麦4系統を供試した。

ナンブコムギに縞萎縮病抵抗性を付与した系統の育成のため、場内にて東北農業研究センターとの共同研究で、縞萎縮病に強い個体の選抜に取り組んだ。

縞萎縮病に強く収量性が高い日本麺用品種「ナンブキラリ」について、播種量及び追肥時期・量試験に取り組んだ。

麦類耐寒雪性検定試験では、現地ほ場(一戸町奥中山)において、育成地より配布を受けた106系統の雪腐病に対する耐性調査に取り組んだ。

＜大豆＞

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆2系統を供試した。

大粒でダイズシストセンチュウに強い新品種「リョウユウ」について、播種時期及び栽植密度の試験に県北農業研究所作物研究室と連携して取り組んだ。

＜種子生産＞

小麦は原種4品種を13.9t、原原種を0.6t生産した。大豆は原種4品種を5.9t、原原種2品種を0.06t生産した。

＜地下かんがいシステム・ほ場水管理システムの利用技術＞

地下かんがいの利用技術では、大豆栽培での営農実証を行うとともに、地下かんがいシステムによる暗渠管の清掃効果を検証した。また、暗渠疎水材(籾殻)の経年劣化の状況についても現地調査を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・水田暗渠を利用した地下かんがいの大豆栽培における生育改善効果(行政)
- ・ドレンレイヤー工法による水田暗渠の管内土砂堆積状況とモミガラ疎水材の経年変化(行政)

生産システム研究室

令和6年度は小雪・少雨による渇水で用水が不足する中、一部試験の中止や現地圃場での種子確保対策などの対応を取りながら、水田農業の担い手である大規模経営体や集落営農等の意欲と能力のある農業経営体を支援し、収益性の向上を図るため、スマート農業技術の実証、水稲の作柄解析や優良な水稲原種・原原種の生産・供給に取り組んだ。

＜水稲栽培＞

記録的な夏季高温などの気象変動に対応し、水稲の品質・食味の維持、向上を図るための技術開発や、作況調査

及び現地生育データなど総合的な解析に取り組み、今年度は以下の2つの研究成果を公表・掲示した。

- ・ 令和6年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析(指導)
- ・ リゾケアXLを用いた水稻湛水直播栽培の特徴(指導)

<水稻種子生産>

原原種は、うるち3品種、もち2品種について約260kg、を生産した。また、原種は、うるち8品種、もち1品種について約17.3t、一般種子は新品種「白銀のひかり」について1.7tを生産した。

<スマート農業・リモートセンシング技術>

省力的な栽培技術や導入しやすいスマート農業技術、リモートセンシング技術を活用した水稻生育診断技術の開発や、高効率な農業機械の開発に係る基礎的研究に取り組んだ。

作物育種研究室

<水稻育種>

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組み、生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手161号」(「銀河のしずく」熟期の良質・良食味系統)、「岩手162号」(「ひとめぼれ」熟期のいもち病抵抗性、耐倒伏性に優る良質・良食味系統)、「岩手163号」(「ひとめぼれ」熟期のいもち病圃場抵抗性遺伝子集積系統)の3系統を選抜した。

隣接する(公財)岩手生物工学研究センターと連携してゲノム解析技術と独自の遺伝子資源の活用により、急務となっている気象条件に左右されにくく、環境に配慮した栽培特性を持つ品種、中食・外食ニーズに対応した品種等の新たな価値を持つ育種素材の充実化に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 令和7年度水稻奨励品種決定試験 本試験・現地試験に新たに供試する系統(行政)
- ・ 令和7年度水稻奨励品種決定予備試験に新たに供試する「岩手161号」、「岩手162号」、「岩手163号」(行政)

<実需ニーズに即した超多収低アミロース米品種群の開発と

普及に向けた加工・流通条件の解明によるチルド米飯市場の拡大>

令和6年度オープンイノベーション研究・実用化推進事業開発研究ステージ現場課題解決タイプに応募し、不採択となった。

前ステージで育成した「岩手144号」を沖縄県との共同育成品種として品種登録出願を行った。県内では2法人が作付けし、収穫物をコンソーシアムメンバーである伊藤忠食糧(株)へ販売した。「岩手144号」の多収栽培については、県北農業研究所作物研究室が施肥試験を実施しており、750kg/10aを超える試験区を複数確認した。

また、「岩手144号」よりも熟期の遅い「岩手156号」について肥料試験を実施し、伊藤忠食糧(株)が原料米評価を実施した。

<精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成>

(公財)岩手生物工学研究センターとの連携のもと、「ひとめぼれ」の栽培特性(耐倒伏性、耐病性及び高温登熟耐性等)をゲノム育種で改良し、低コスト生産可能な安定した超多収良食味水稻品種の開発を目指し、本年は生産力検定試験を青森県・宮城県・福島県と協力しながら効率的な系統育成に取り組んだ。また、奥州市江刺に現地試験ほ場を設置し、現地栽培での知見を得た。

(3) 園芸技術研究部

果樹研究室

りんごを主体に、ぶどう、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、その中でも9月下旬～10月上旬に収穫できる優良中生品種の開発を重点課題としている。

また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹の早期

成園化や管理作業の省力化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・耐寒性に優れ、裂果や病害が少なく、栽培が容易な醸造用白色ぶどう品種「ヤマブラン」(普及)
- ・ぶどう「シャインマスカット」におけるメピコートクロリド液剤散布による副梢発生本数への影響と新梢管理作業の省力効果(指導)
- ・おうとう「佐藤錦」の受粉樹として利用でき、食味良好な早生品種「紅ゆたか」(指導)
- ・岩手県におけるブルーベリーの品種の特性(指導)
- ・りんご幼木における急性衰弱症既発生園地での改植時の防除対策(指導)
- ・りんご育成系統「岩手21号」、「岩手22号」の果実特性(行政)
- ・りんご新規摘花剤「MCPB乳剤」の「ふじ」に対する効果(研究)

野菜研究室

「岩手県野菜生産振興計画」を踏まえ、環境制御技術等を活用した施設野菜の単収向上や品質向上技術の開発、水田等を活用した土地利用型野菜の生産拡大に寄与する栽培技術の開発に関係機関・団体と連携して取り組んだ。

環境制御技術の開発については、県内の民間企業が開発した小型光合成促進機を用いた炭酸ガス局所施用による「低コスト環境制御技術」の普及拡大に向け、きゅうりにおける技術確立に取り組むとともに、トマトの出荷量予測ツールの開発に取り組んだ。

ピーマン安定生産技術の開発については、県内産地で問題となっているピーマンの軟化腐敗果(通称「トロケ果」)の発生原因解明と発生低減技術の開発に現地機関の協力を得て取り組んだ。

土地利用型野菜の安定生産技術の開発については、全日本野菜品種審査会(たまねぎ秋まき晩生)を開催し、本県の気候に適した品種の確保を図るとともに、オープンイノベーション研究・実用化推進事業において「国産タマネギの安定供給に向けた持続可能なタマネギ腐敗性病害防除構築」に取り組んだ。また、食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクトにおいて「加工歩留まりの高いF1タマネギ品種の開発」において、東北地域に適する縦長性タマネギの品種登録を目指した研究開発に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた

- ・きゅうりのハウス無加温長期どり作型の摘心栽培における低コスト環境制御技術導入による増収効果(指導)
- ・ピーマン軟腐病による軟化腐敗果の発生低減対策(指導)
- ・岩手県の雨よけ夏秋栽培におけるピーマン台木品種の病害抵抗性及び生育特性(指導)
- ・夏まきブロッコリーの加工業務用大型花蕾生産に適する定植時期と品種特性(指導)
- ・夏秋ピーマンにおける軟化腐敗果の発生原因(研究)

花き研究室

花きは、日本一の生産量を誇るりんどうに重点をおき、新品種の育成、種苗の安定生産・供給及び安定生産技術の開発に取り組んだ。

新品種の育成について、切り花向け品種は8月盆および9月彼岸の需要期を中心に切れ目ない出荷を可能とする青色系品種のラインナップの充実や、作期拡大を目指した既存品種より最も早く開花する品種の開発など、複数品種の育成に取り組んだ。今年度は切り花F₁品種「いわてEB-4号」を品種登録出願した。一方で品質が低下している既存品種を花色、花型、草姿などの品質が優れた品種に置き換えていくため、本年度も継続して有望なF₁系統の特性検定を実施した。鉢花向け品種は、令和元年度に成果公表した新奇性の高い青色系八重咲き品種「いわて八重の輝きブルー」に続く、八重咲きの桃色系や白色系などの有望系統等を選抜した。

種苗の安定生産・供給については、これまでに育成した県品種の親系統の維持等に取り組んだ。今年度は、(公社)農産物改良種苗センターへの原種苗として、種子系親系統5系統並びに培養系親系統2系統を計画どおり供給するとともに、採種ほ場の管理や採種技術等について指導を行った。

栽培技術については、育成品種の生態的特性や株養成技術のほか、特許を取得した「千鳥疎植栽培」の普及に向け、晩生品種「いわて夢のぞみ(いわてLB-3号)」での技術適応性を確認した。

また、今年度、公益社団法人岩手生物工学研究センターを代表機関として「リンドウの難防除病害対策を革新する新品種開発」を研究課題とするオープンイノベーション研究・実用化推進事業が採択され、共同研究機関と連携しながら糸状菌由来の病気やウイルス病の耐病性品種の育成に取り組んでいる。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 8月上旬開花の切り花向け青色りんどうF₁品種「いわてEB-5号」の育成(普及)
- ・ りんどう晩生品種「いわて夢のぞみ(いわてLB-3号)」における千鳥疎植栽培の適用性(指導)
- ・ 令和6年度りんどう奨励品種決定試験結果(行政)
- ・ 令和7年度りんどう奨励品種決定試験に新たに供試する系統(行政)

南部園芸研究室

陸前高田市において沿岸地域の夏季冷涼・冬季温暖な気象特性を活かした園芸産地の育成と、東日本大震災津波(H23.3.11)からの農業復興支援の技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施した。

地域特性を活かしたいちごに研究を重点化し、地域適応性の高い系統の選定や栽培特性の評価、品種の収量ポテンシャルを高めるための栽培技術等の開発を行ったほか、県内のいちご産地、新たにいちご生産を始めようとする者、県が共同開発したいちご閉鎖型高設栽培システムの導入を検討する者等に対する技術相談に応じた。

加えて、気仙地域3市町、JA、農業改良普及センター等の関係機関と連携した気仙地方の園芸振興にかかる取組や復興の取組で、新たにいちご経営を開始した陸前高田市大規模園芸施設(米崎)へ対し普及と連携して指導を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 四季成り性いちご品種「夏のしずく」の夏秋どり栽培における最適な栽植距離(指導)
- ・ 四季成り性いちご品種「なつあかり」における花成誘導促進に対する光質の影響(研究)

(4) 生産環境研究部

土壌肥料研究室

効率的で環境負荷を軽減する施肥管理技術の開発、有機物及び未利用資源を有効活用するための技術開発、高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立を柱とした研究課題に取り組んだ。

昭和54年度から5年ごとに、県内の水田と畑地の定点圃場について施肥管理等のアンケート調査と土壌調査を継続してきているが、令和6年度は10巡目の調査を開始し、県北地域41点の調査を実施した。

定点調査と併せて県内耕地土壌の貯留炭素量を把握する全国調査を平成20年度から継続してきているが、加えて、各地の地力を明らかにし国内資源の肥料利用の効率化に役立てる全国一斉の地力調査が本年度から開始された。これにより土壌調査の質・量ともに大幅増加するため、運用体制を強化するとともに、全炭素・全窒素測定装置を高性能機種に更新した。

平成15年度から継続している有機物長期連用試験のうち、水田での20年連用の結果を解析し、有機物長期連用が土壌化学性と水稻の養分収支に及ぼす影響と、水稻の収量と玄米品質、養分吸収パターンに及ぼす影響をそれぞれ指導区分の研究成果として公表した。

令和5、6年の夏季が高温に経過したことにより、水稻玄米の品質低下が全国的に問題となったことから、稲体の窒素栄養状態と白未熟粒の発生について、複数の研究課題による調査結果を横断的・網羅的に解析し、関連性を明らかにした。これは学会で発表するとともに、指導区分の研究成果として公表した。

気候変動下で越冬後の気象条件が変わってきている中、現在主力となっている小麦品種に適した多収肥培管理技術の確立に取組み、小麦品種「ゆきちから」の収量を向上する追肥技術について指導区分の研究成果を公表した。

海洋汚染防止等のため肥料の脱プラスチックが求められており、プラスチック被膜を使用しない緩効性肥料などの実用性試験を実施した。

パイオスティミュラント資材の開発が進み、非生物的ストレスの軽減等による作物の収量・品質向上が期待されていることから、同資材の実用性試験に着手した。

また、国のプロジェクト研究やイノベーション創出強化研究推進事業の共同研究に参画し、AI(人工知能)を活用した土壌分類支援技術開発や窒素動態モデル開発に向け土壌断面調査(県中部80点)や無機態窒素発現に係る試験を実施した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 夏季高温年における稲体窒素栄養状態と白未熟粒の発生傾向 (指導)
- ・ 水田土壌における20年間の有機物長期連用が土壌化学性と水稻の養分収支に及ぼす影響 (指導)
- ・ 水田土壌における20年間の有機物長期連用が水稻の収量と玄米品質、養分吸収パターンに及ぼす影響 (指導)

- ・小麦品種「ゆきちから」は茎立期追肥により精子実重が増加する（指導）

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術(IPM)の開発に取り組んだほか、本県の病害虫防除指導の技術資料である「岩手県農作物病害虫雑草防除に関する技術資料」の原案作成や、これらの基礎資料となる新農薬の効果検定等にも取り組んでいる。

令和6年度は、斑点米カメムシ類の現地での発生状況及び薬剤効果試験、施設トマトでの主要害虫に対する総合防除技術の確立、リンゴ褐斑病及び黒星病を対象とした春季の防除体系の再構築、今年、多く発生がみられたリンゴ炭疽病の増加要因の解明、ロボット草刈機を用いた下草管理とハダニ類及びカブリダニ類の発生に及ぼす影響調査等を実施した。

また、国の委託プロジェクト研究による省力的IPMを実現する病害虫予報技術の開発、接触伝搬性ウイルスに対する月桃資材の利用法の確立、ビール酒造組合の委託事業としてホップの新規除草剤の登録推進に係る防除試験等を実施した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・新規系統薬剤によるダイズ紫斑病の防除(指導)
- ・りんごJM台利用樹に発生する急性衰弱症の発生メカニズムと発生助長要因(指導)
- ・リンゴ褐斑病と黒星病を同時防除できる「開花直前」の防除薬剤(指導)
- ・近年におけるリンゴ炭疽病の多発要因と防除対策(指導)
- ・ねぎ栽培における小菌核病と白絹病の同時防除(指導)
- ・夏秋栽培トマトにおけるヒラズハナアザミウマによる果実の白ぶくれ症被害率の品種間差異(指導)
- ・夏秋栽培トマトにおける天敵昆虫タバコカスミカメによる果実の陥没症状の特徴(研究)

(5) 病害虫防除部

病害虫防除課

<病害虫発生予察>

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察等の調査を行い、定期情報7回、注意報2回、防除速報17回を発行した。これらの情報については、印刷物のほか、メーリングリストによる配信、いわてアグリベンチャーネットへの掲載、マスコミ活用等により、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

情報の種類		発行回数	内 容
発生予察情報	定期情報	7	3～10月
	注意報	2 (前年比5減)	水稻：斑点米カメムシ類 2
	警 報	0	—
	特 殊 報	0 (前年比2減)	—
病害虫防除速報	—	17 (前年比5増)	・水稻（2回）：細菌病類 1（育苗期）、斑点米カメムシ類 1 ・小麦（1回）：赤かび病 ・りんご（4回）：黒星病、キンモンホソガ、リンゴハダニ、褐斑病 ・ねぎ（1回）：べと病・黒斑病・葉枯病 ・トマト・ミニトマト（4回）：トマトキバガ 4 ・りんどう（2回）：リンドウホソハマキ、花腐菌核病 ・野菜・花き（3回）：オオタバコガ 2、ハスモンヨトウ他 1

＜病害虫防除指導＞

本県の病害虫等の発生実態に応じた効果的・効率的な総合防除の実施を推進するため、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら病害虫防除指導に取り組んだ。今年度の実績は、病害虫防除実績検討会を開催して主要病害虫の発生要因解析と次年度の防除対策について関係機関・団体と共有し、今後の地域防除体制の資とした。

水稻の病害虫防除指導においては、各地方の病害虫防除協議会、JA稲作部会等が中心となり、病害虫防除所が発行する発生予察情報を活用した防除指導が実施された。現地調査では、斑点米カメムシ類が早期に発生したことに加え、高温気象の影響で多発することが懸念されたことから、5/10に速報を、7/16及び7/31には注意報を発表して防除の徹底を呼び掛けた。また、巡回調査地点の農家65件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

果樹では、気象の影響でりんごの生育が早まり、黒星病の感染時期も早まることが懸念されたことから、4/10に速報を発表して適期防除を呼びかけた。また、現地調査の結果に基づき、5/23キンモンホソガ、7/22リンゴハダニ、8/14褐斑病の速報を発表してそれぞれ適期防除を呼びかけた。りんごの防除実績は、県内75の共同防除組合等から収集し、次年度の防除計画の改善に資した。

野菜については、令和5年度に県内で初めて発生を確認したトマトキバガが今年度県内各地のトマト・ミニトマトの圃場において発生したため、4/23、7/9、9/13、10/15に速報を発表して注意喚起とともに防除対策のための情報を提供した。ねぎでは、県内で広く発生が見られたべと病、黒斑病、葉枯病について8/8に速報を発表して防除を呼びかけた。

県内では例年、高温年の夏秋期に被害が見られるオオタバコガが、今年度は6月上旬から急増し、野菜や花きに早い時期から被害が見られたことから、6/7及び7/29に速報を発表して防除を呼びかけた。8月下旬にはオオタバコガと同様の飛来性害虫であるハスモンヨトウ、ウリノメイガも増加したため、8/27にこれらの害虫に関する速報を発表した。

花きについては、りんどうの害虫リンドウホソハマキの早期発生が見られたことから、5/14に防除速報を発表して速やかな防除を呼び掛けた。秋期に発生する花腐菌核病は、孢子飛散する子実体の発生を確認後、9/20に防除速報を発表した。

防除実績を野菜21件、りんどう11件の農家から収集し、次年度の防除計画の策定に資した。

病害虫診断については、36件の依頼に対応した。

＜農薬適正使用指導＞

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する「農薬適正販売・使用研修会」を開催した(7/10、受講者203名)。

また、農薬取締法に基づき312件の農薬販売者への立入検査を実施したほか、農薬使用基準違反の確認された使用者に対し3件の現地指導を行った。

11月にJA全農いわての自主検査により、プチヴェールの農薬残留基準値超過が確認された。関係機関・団体と連携して原因究明したところ、使用液量(散布量)が農薬登録内容の2倍であったことが原因と考えられた。この結果によりJA全農いわては自主回収を実施し、県では関係機関・団体に対し文書で注意喚起した。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

＜肉用牛＞

(直接検定、現場後代検定) 優秀な日本短角種の種雄牛を造成するため、令和5年直接検定牛より、現場後代検定牛5頭を選抜した。また、令和3年交配種雄牛4頭の現場後代検定成績を公表した。

(肥育技術) 肥育コストの低減や需要に応じた効率的な肥育技術を確立するため、黒毛和種肥育専業経営体の肥育期間の短縮技術について、黒毛和種肥育牛の肥育前期発酵TMR給与マニュアルとして公表するとともに成果を提出した。また、日本短角種の周年出荷ための長期飼育下における歩留等級の低下を防ぐ技術について、ふすまの配合飼料代替による経済性と長期肥育で生産された牛肉の特徴を明らかにした。

更なる肥育コストの低減のため、黒毛和種肥育牛ではトウモロコシサイレージの長期間の給与技術、日本短角種肥育牛ではふすまによる配合飼料の節減技術について、試験を継続中である。

(遺伝育種) 黒毛和種の種雄牛造成において、直接検定候補牛のゲノム育種価を早期に算出し、産肉能力に優れた直接検定牛が多く選抜できるよう努めた。また、前年度に選抜された直接検定牛のゲノム育種価を算出し、現場後代検定実施牛の選抜に活用したほか、県内で飼養される新規登録繁殖牛や県外から導入した繁殖牛のゲノム育種価を算出し、基礎雌牛の選定に活用した。

枝肉肉質のゲノム育種価について、推定育種価と高い相関(0.63～0.75)があることを確認し、県有種雄牛の産肉能力の推定にゲノム育種価の活用が有用であることを明らかにした。また、一価不飽和脂肪酸割合のゲノム育種価につい

ても、高い正の相関(0.73)が認められ、高い精度で一価不飽和脂肪酸割合の能力の推定ができることを確認した。

県内黒毛和種集団の枝肉について、新細かさ指数や脂肪酸組成割合の平均値が性別により異なる傾向があることを確認した。また新細かさ指数について、遺伝率、一価不飽和脂肪酸割合及びバラ厚と弱～中程度の負の相関があること、枝肉単価に影響があることを成果として公表した。

黒毛和種子牛の生産性低下に係る候補有害変異について、種雄牛の精液性状調査とDNA解析、県内で畜された肥育牛のDNA解析を行い、虚弱子牛や多尿に係る候補有害変異の保因状況を明らかにした。

日本短角種集団の遺伝的多様性の評価と近交回避交配法の確立のため、SNP遺伝子型を用いた遺伝的多様性評価指標を検討し、2つの手法が近交度・血縁度の評価に有用であることを明らかにした。また、遺伝構造の解析から、日本短角種全体として多様性が小さくなっている可能性を確認した。

(繁殖) 黒毛和種繁殖牛の妊娠末期から授乳期にかけて栄養充足率が低いと、受胎までの授精回数が増加し、分娩後の血中NEFA値が高く推移するとともに体重と胸囲の減少率が大きくなる傾向を明らかにした。また、子宮回復遅延牛の簡易摘発方法について、膣粘液による簡易摘発を試みたが難しく、サイトブラシ以外の手法によりPMN%を簡易に診断することは困難であることを確認した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・ 日本短角種産肉能力検定(直接法)成績(行政)
- ・ 日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績(行政)
- ・ 日本短角種長期肥育におけるふすま代替給与の効果(研究)
- ・ 黒毛和種肥育牛への発酵TMR給与による出荷月齢の早期化と枝肉格付の向上(指導)
- ・ 県内黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターと育種価の推定(行政)

<中小家畜>

(養豚) バークシャー種の産肉能力向上のため、産肉能力検定による種豚群の改良を進めるとともに、肥育豚の可食肉量を増加させる飼料給与体系の確立に取り組み、肥育全期の飼料中TDNを抑えることで背脂肪が薄くなるが枝肉歩留は劣ること、肥育後期の飼料中TDNを抑えることで厚脂が抑えられ枝肉歩留が良好であることを明らかにした。

養豚場においてより消毒効果を高めるため、逆性石けんにマイクロ水酸化カルシウムを添加した混合消毒の効果を検証し、消毒後は豚の糞便中の薬剤耐性菌が検出されないことを確認した。

(養鶏) 南部かしわ鶏肉の高付加価値化のため、 α -リノレン酸を豊富に含むエゴマ油粕を飼料に添加する試験を実施し、鶏肉中の α -リノレン酸割合はエゴマ油粕の摂取量により推定できることを成果として公表し、エゴマ油粕の給与が地鶏肉の高付加価値化につながると考えられた。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 飼料へのエゴマ油粕添加による南部かしわ鶏肉中 α -リノレン酸割合の向上技術(指導)

家畜飼養・飼料研究室

<家畜飼養>

乳用牛群検定データの解析による酪農の生産性向上要因の分析と活用では、305日乳量及び空胎日数が優れる要因解析を行い、外部支援組織の利用や自動給餌及び放し飼い、ロボット搾乳を導入した経営体で優れる傾向を確認し、研究成果(区分:行政)に取りまとめた。また、家畜改良事業団が提供する繁殖台帳Webシステム上で入手できる「検定成績の検討表」及び「乳成分速報」から、乳中脂肪酸組成及びケトン体濃度の牛群及び個体毎の推移を容易に確認、指導に活用することが可能となる“可視化ツール”を作成し、研究成果(区分:指導)に取りまとめた。

繫留飼養の搾乳牛における効果的なTMR給与方法の確立では、過年度の調査同様に日内の採食行動は乳期によらず概ね同じパターンであることや、給餌形態別の採食行動の出現率、1日の採食時間の出現割合を把握した。

乾乳期における放し飼いの普及に向けた管理体系の確立では、行動制限の無い条件下における分娩前の乳用牛の行動が明らかとなり、分娩直前には横臥時間や寝返りの回数が増加することが示唆された。県内の乳用牛群検定データの分析により、放し飼いを実践する経営体では繫留飼養の経営体よりも305日乳量が多く、空胎日数が短い傾向が見られ、牛群検定データ解析の研究成果(区分:行政)に反映した。また、繫留から放し飼いに変更した経営体の調査では、乾乳牛舎の導入後には搾乳頭数の増加を主要因として売上高が増加し、耐用年数以内に投資回収が可能であることを明らかにした。

試験研究に加えて、県乳用牛群検定情報分析センター機能を担い、現地の指導機関向けに「岩手県にお

ける乳用牛群検定成績のまとめ」の令和5年版を取りまとめ、市町村別生産成績速報も概ね隔月の頻度で提供したほか、研修会への講師派遣を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 305日乳量及び空胎日数が優れる経営体に共通する生産性の向上要因(行政)
- ・ 乳用牛群能力検定データを活用した乳中脂肪酸組成及びケトン体濃度の可視化ツール(指導)

<飼料生産>

トウモロコシ市販品種の特性比較では、中晩生4品種を検討し県推奨品種候補とするための生育、収量データを収集し試験を終了した。本年度は成果提案する品種は無かったが、研究期間を通じ早晚性が異なる5品種を成果に提案した。

寒地型イネ科牧草の特性比較では、ペレニアルライグラス(PR)とオーチャードグラス(OG)について、PRは晩生2品種の利用3年目の生育、収量特性データ、OGは極早生、早生各2品種の利用1年目の生育データを収集した。PRは越夏性に優れた晩生品種「夏ごしペレ」を研究成果(区分:普及)に取りまとめて公表した。

温暖化に対応した採草地管理については、OG及びチモシーの播種晩限期、更新翌年の肥培管理方法、夏季高温を考慮した刈取間隔を検証するためのデータを収集した。

多年生ライグラスを利用した追播技術の確立では、所内に実規模の試験ほを設置し追播したPR新品種「夏ごしペレ」の利用2年目の収量や植生データを収集した。追播播種量試験を開始し、播種量が多いほど播種当年の初期生育や植生が良いことを確認した。

岩手大学が主宰する共創の場形成支援プログラムでは、同事業に参画する県北6市町村の採草地における技術課題を共同機関とともに調査し、今後の研究展開の基礎となるデータ収集を行った。

また、飼料高騰対策のため、既往成果の知見提供や技術相談に応じた。岩手県コントラクター等利用推進協議会への参画においては、県内コントラクターのオペレータ確保、育成に向けた支援活動を行った。近年県内で栽培が増加している子実用トウモロコシは、東北農業研究センターが主宰する水稻乾田直播・子実用トウモロコシ普及促進会に参画し、情報収集を行ったほか、県南の集落営農組織の要請を受けて、農業普及技術課農業革新支援担当及び現地農業改良普及センターによる、当所の既往研究成果である不耕起栽培技術を活用した飼料用トウモロコシの雑草対策を支援した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 越夏性に優れるペレニアルライグラス晩生品種「夏ごしペレ」(普及)

<牧草の放射性物質対策>

先端プロ実証研究において、2回目の完全更新時のカリ資材の効果比較を行いデータを蓄積した。利用2年目の牧草中放射性セシウム(RCs)濃度は「塩化カリ40区」が最も低い値となった。

耕起困難放牧地においては緩効性カリ肥料の効果検討を同様に行った。所内試験4年目圃場では牧草中RCs濃度は「K12・緩効性70%」が最も低値となり、牧草へのRCs移行を抑制した。県南部の現地試験1年目圃場では牧草中RCs濃度、移行係数とも極めて低値となった。

また、放射性物質被害畜産総合対策事業業務として、畜産物や牧草の放射性物質濃度測定を随時実施した。

外山畜産研究室

<子牛の生産状況>

外山畜産研究室では繁殖雌牛70頭(黒毛和種34頭、日本短角種36頭)を飼養している(令和6年2月1日現在)。

黒毛和種では、生産された子牛のうち25頭を1頭当たり平均388千円で販売した。同様に日本短角種の子牛は22頭を出荷し、1頭当たり平均価格は287千円であった。

<成果の発信状況>

日本短角種繁殖雌牛は、春から秋にかけて放牧地で自然交配を行うため交配日が特定できず、分娩時期の推定が困難であり、飼養農家では適切な時期に分娩管理が行えないことが課題であったが、乳汁中PAG(妊娠関連糖タンパク)濃度の検査手法を用いた分娩日の推定について検討したところ、自然交配開始42日目から28日間隔で検査した乳汁中PAG濃度の数値から算出した推定分娩日と実際の分娩日(実分娩日)の差が平均 12.2 ± 11.4 日となり、分娩時期の推定が可能であることを明らかにした。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 日本短角種妊娠牛における乳汁中PAG濃度測定による分娩日の推定(指導)

＜寄託放牧の状況＞

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5月21日から10月18日まで150日間放牧を実施し、生産者4戸から繁殖牛33頭と子牛26頭受入れた。日本短角種振興の一助となるよう定期衛生検査はじめ管理業務に注力した。

また、馬については5月14日から10月11日まで150日間放牧を実施し、雌馬5頭、雄馬1頭、子馬2頭を受入れた。古くから馬産地として馬を大事に扱ってきた盛岡地域の伝統的な祭り「チャグチャグ馬っこ」で行進した馬たちを預かり、馬事振興への貢献を念頭に、適切な管理を遂行した。

種山畜産研究室

黒毛和種改良事業の一環として県内産黒毛和種種雄牛候補牛8頭を選定し直接検定を実施した。また、令和5年度直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補牛3頭（「百合勝」号、「高神花」号及び「星乃東豊」号）を選抜した。現場後代検定については令和5年度に検定を開始した3頭の種雄牛候補の枝肉成績が判明し、「久隆照」号を基幹種雄牛に選抜した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・ 脂肪交雑及び枝肉重量に優れる黒毛和種県有種雄牛「福太郎3」号及び「菊美翔平」号（普及）
- ・ 黒毛和種産肉能力検定（直接法）成績（行政）
- ・ 黒毛和種産肉能力検定（現場後代検定法）成績（行政）

（7）県北農業研究所

果樹・野菜研究室

県北・沿岸地域の冷涼気象や中山間地域の立地条件に対応した野菜・果樹の安定生産技術の確立に向け、各種試験研究を実施した。なお、本年度より研究室が改組され、温暖化など気候変動を見据え、県北地域の気候に適した果樹の高品質安定生産技術の開発等を推進するため、果樹部門が設置された。

令和3年2月に高度な環境制御が可能な「環境制御型園芸温室」が竣工し、県北の施設きゅうり栽培に適した環境制御技術の確立に向け、令和3年度から北いわてスマート農業プラットフォーム創造拠点整備事業に係る栽培試験を、令和5年度からデータ駆動型業推進事業を活用して研究に取り組んでいる。具体的には、既存パイプハウス向けの技術として株元加温による低コスト暖房技術開発に取り組み、また、環境制御技術導入による収量向上に伴って作業労力の増加が懸念されるため、その出荷量及び生育量を予測する手法として、環境制御技術のモニタリングデータを活用した生育診断・出荷量予測ツールの開発にも取り組んでいる。

また、「雨よけほうれんそうにおけるミストによる簡易環境制御技術の開発」に向け、農業普及技術課農業革新支援担当や久慈農業改良二戸農業改良普及センターと連携して、ミスト制御による増収効果と品質向上効果について前年度に引き続き検証し、夏期高温時（特に、8～9月収穫）の単収向上及び品質の安定化に取り組んだ。

露地の主要品目であるキャベツについて、重要病害である根こぶ病対策として、既存の抵抗性品種の栽培特性を把握すること、および県内で発生している根こぶ病の病原型を明らかにすることで、抵抗性品種を有効に用いた根こぶ病対策の確立を目的として、場内及び現地発生圃場において試験を実施した。

なお、果樹研究については、「県北地域に適したりんごオリジナル品種等の優良品種の選抜」及び「県北地域に適した核果類の優良品種の選抜と省力栽培技術の確立」を新規課題し、今年度はこれらの大苗育成に取り組んだ。また、二戸地域の大きな課題であるりんご「はるか」の蜜入り向上対策については、二戸農業改良普及センター、二戸市等と現地調査を実施し、令和7年度からの新規課題化に向け一定の方向性は確認された。

以上の取組の中から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 雨よけほうれんそうにおけるミスト噴霧による省力及び増収効果（指導）
- ・ 施設きゅうりの抑制作型における株元加温技術の導入効果（指導）
- ・ 施設園芸における高含水率対応木質チップボイラーの実用性（研究）
- ・ 県北地域における根こぶ抵抗性寒玉キャベツの品種比較（研究）

作物研究室

中山間地域における生産性・収益性の高い組織営農技術の開発と土地利用型品目の導入に向けて、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試系統の特性を把握した。水稻は、前年度奨励品種として採用となった「白銀のひかり(岩手141号)」の栽培法試験として、苗質、栽植密度、施肥法について検討を行った。大豆は、前年度奨励品種として採用となった「リョウユウ(東北190号)」について、栽培法試験として、作期、栽植密度、裂莢性の検討を行った。水稻・小麦・大豆作況調査による夏季高温年による作柄解析を行い、生産システム研究室と連名で令和6年産の作柄要因として解析した。

雑穀の新品種開発については、きびとたかきびについて生産力検定を行い、きびはF9世代12系統群から7系統群15系統を選抜し、たかきびは、F7世代21系統群から7系統群20系統を選抜した。また、きびの重イオンビーム照射M4世代(40Gy31け系統群、50Gy25系統群)をほ場展開し、40Gy31系統、50Gy17系統を選抜した。雑穀の原種生産では、きび1品種(ひめこがね)と、ひえ1品種(達磨)を採種した。

県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立に向けて、RTK-GNSS方式の自動操舵機器の傾斜地適応性や、機器の違いによる測位精度の確認を行うとともに、雑穀、露地野菜の機械除草技術への利用法について検討を行った。また、農業機械技術クラスター事業「雑穀類対応コンバインの開発」について、アマランサス、たかきび、えごまを対象にした汎用コンバイン改良機(試作2号機)の最終年度の評価を行い、クラスター総会において成果として報告し、公表した。

その他、研究課題や地域課題、その解決方策について共有を目的に、各種研修会等への参加も積極的に行った。

4 令和6年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1 農業構造・経営管理	2 生産工学	3 水稲	4 畑作物	5 特産作物	6 果樹	7 野菜	8 花き	9 土壌作物栄養	10 病害虫制御	11 乳用牛	12 肉用牛	13 中小家畜（豚・鶏）	14 草地・飼料作物	15 畜産環境
企画管理部	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	6	6														
生産基盤研究部	61	1	3	41	11	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0
水田利用研究室	22	1	1	6	11					1	2					
生産システム研究室	15		2	11						1	1					
作物育種研究室	24			24												
園芸技術研究部	59	1	0	0	0	0	27	16	10	2	3	0	0	0	0	0
果樹研究室	29						27			1	1					
野菜研究室	11	1						8		1	1					
花き研究室	11							10			1					
南部園芸研究室	8							8								
生産環境研究部	28	1	0	1	2	0	2	0	0	9	13	0	0	0	0	0
土壌肥料研究室	13	1		1	1		1			9						
病理昆虫研究室	15				1		1				13					
畜産研究所	37	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	23	2	7	1
家畜育種研究室	17												14	2		1
家畜飼養・飼料研究室	11									1		3	1		6	
外山畜産研究室	3												2		1	
種山畜産研究室	6												6			
県北農業研究所	34	0	2	12	8	2	3	3	0	2	2	0	0	0	0	0
果樹・野菜研究室	8						3	3		1	1					
作物研究室	26		2	12	8	2				1	1					
総 計	225	9	5	54	21	2	32	19	10	16	21	3	23	2	7	1

※1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上

2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上

3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

- ・主査:

・No.:

・課題:

・開始・終了:

・予算区分:

・担当:
- 小課題の主査研究室

小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に()表記
(課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1〜4まで各桁毎の表記

課題の実施〜終了年数
国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算予算、県単採種; 主要農作物採種管理費

小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【農業経営研究室】						
農業経営	1	(R3-2)経営環境の変化に対応した農業技術体系データの提示	R3	R7	県単	農業経営
農業経営	2	(R3-4)スマート農業技術の導入・定着プロセスと利活用方策の提示	R3	R7	県単	農業経営
農業経営	3	(R3-19)水田等を活用した野菜産地・経営体の取組及びマネジメント手法の提示	R3	R7	県単	農業経営/水田利用/野菜/土壌肥料
農業経営	4	(R6-01)岩手県における野菜作経営モデルの構築と成立条件の解明	R6	R10	県単	農業経営
農業経営	5	(R6-05)大規模水田作経営の成立条件の解明	R6	R10	県単	農業経営
農業経営	6	(R6-07)初冬から早春まで「いつでも直播」: 春の作業ピークを平準化できる革新的稲作技術	R6	R10	独法等委託	農業経営/生産システム
農業経営		(R6-07-1000)岩手県における初冬期・早春期乾田直播技術の確立	R6	R10	独法等委託	生産システム
農業経営		(R6-07-2000)「いつでも直播」の経営的評価	R6	R10	独法等委託	農業経営
【生産基盤研究部水田利用研究室】						
水田利用	7	(803)水稻奨励品種決定基本試験	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(803-1100)予備試験 中生・晩生	H14	R10	県単	水田利用
水田利用		(803-1200)予備試験 早生	H14	R10	県単	作物
水田利用		(803-2100)本試験 中生・晩生	H14	R10	県単	水田利用
水田利用		(803-2200)本試験 早生	H14	R10	県単	作物
水田利用		(803-3000)現地試験	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(803-4100)有望系統・品種の栽培法 中生・晩生	H14	R8	県単	生産システム
水田利用		(803-4200)有望系統・品種の栽培法 早生	H14	R8	県単	作物
水田利用	8	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	H14	R10	民間委託	水田利用/作物
水田利用		(807-1000)水稻作用除草剤第2次適用性試験	H14	R10	民間委託	水田利用/作物
水田利用		(807-2000)除草剤による水田畦畔管理の省力化技術の開発	R7	R8	県単	水田利用
水田利用	9	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	R10	独法等委託	水田利用
水田利用	10	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-1100)麦類の生育相と気象反応の解明 県央・県南地域	H26	R10	県単	水田利用
水田利用		(890-1200)麦類の生育相と気象反応の解明 県北地域	H26	R10	県単	作物
水田利用		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-2100)大豆の生育相と気象反応の解明 県央・県南地域	H14	R10	県単	水田利用
水田利用		(890-2200)大豆の生育相と気象反応の解明 県北地域	H14	R10	県単	作物
水田利用	11	(891)畑作物原原種・原種生産	H22	R10	県単	水田利用/作物
水田利用	12	(H19-12)大豆等奨励品種決定試験及び有望系統の特性調査	H19	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定試験(県南・県央地域)	H19	R10	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定試験(県北地域)	H19	R10	県単	作物
水田利用		(H19-12-3100)(3)有望系統特性調査(県南・県央地域)	H19	R10	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-3200)(3)有望系統特性調査(県北地域)	H19	R10	県単	作物

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【生産基盤研究部水田利用研究室】(続き)						
水田利用	13	(H19-13)麦類の奨励品種決定試験及び有望系統特性調査	H26	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定試験(県南・県央地域)	H26	R10	県単	水田利用
水田利用		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定試験(県北地域)	H26	R10	県単	作物
水田利用		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	R10	県単	水田利用
水田利用	14	(H30-02)岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術の確立	H30	R6	県単/令達	水田利用
水田利用		(H30-02-4000)地下かんがいシステムほ場の機能維持に資する管理方法の実証	R4	R6	令達	水田利用
水田利用	15	(R2-4)小麦「ナンブキラリ」の高品質安定栽培法	R2	R8	県単	水田利用/土壌肥料/病理昆虫
【生産基盤研究部生産システム研究室】						
生産システム	16	(061)水稲原原種生産	S22	R10	県単	生産システム
生産システム	17	(062)水稲原種生産	S29	R10	県単	生産システム
生産システム	18	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	H14	R10	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-1000)水稲作況調査	H14	R10	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-1100)水稲作況調査 県央・県南地域	H14	R10	県単	生産システム
生産システム		(805-1200)水稲作況調査 県北地域	H14	R10	県単	作物
生産システム		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	R10	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-2100)水稲優良品種の気象反応試験 県央・県南地域	H14	R10	県単	生産システム
生産システム		(805-2200)水稲優良品種の気象反応試験 県北地域	H14	R10	県単	作物
生産システム		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	R10	県単	生産システム/作物
生産システム	19	(R3-5)リモートセンシングによる水稲生育診断技術の開発	R3	R8	県単	生産システム/土壌肥料/作物
生産システム		(R3-5-2000)ドローンによる玄米タンパク質含有率及び成熟期推定技術の確立	R3	R8	県単	生産システム/作物
生産システム		(R3-5-3000)衛星画像による生育状況の把握及び活用法の検討	R3	R8	県単	生産システム
生産システム	20	(R5-15)水稲の疎播疎植・高精度2段施肥による省力多収栽培技術の開発・実証	R5	R8	独法等委託	生産システム/土壌肥料
生産システム	21	(R5-16)高湿材適応コンバインの開発と性能評価	R5	R7	独法等委託	生産システム
【生産基盤研究部作物育種研究室】						
作物育種	22	(H31-07)多様なニーズに対応する水稲品種の育成	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-1000)交配母本評価と交配	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-2000)初期世代養成	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-3000)個体選抜	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4000)系統選抜	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4100)単独系統	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4200)生産力検定予備試験系統群	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4300)生産力検定本試験系統群	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5000)生産力検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5100)生産力検定予備試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5200)生産力検定本試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5300)生産力検定試験早生系統	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6000)特性検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6200)葉いもち圃場抵抗性検定調査	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6300)穂いもち圃場抵抗性検定調査	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6500)食味官能試験	R1	R10	令達	作物育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【生産基盤研究部作物育種研究室】(続き)						
作物育種		(H31-07-6600)食味関連成分分析及び物性試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6700)穂発芽性検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6800)直播適性検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6900)高温登熟耐性検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-7000)DNAマーカー等先端技術利用	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-8000)育成系統採種	R1	R10	令達	作物育種
作物育種	23	(R3-22)精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成	R3	R7	独法等委託	作物育種
【園芸技術研究部果樹研究室】						
果樹	24	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	R10	令達/民間委託	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	R10	令達/民間委託	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	R10	民間委託	果樹
果樹	25	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	R15	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	R15	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	R15	県単	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	R15	県単	果樹
果樹	26	(H26-15)りんごのわい性栽培における早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	令達/独法等委託	果樹
果樹		(H26-15-1000)早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	令達	果樹
果樹		(H26-15-3000)カラムナーリングを利用した革新的栽培技術の体系化	R5	R7	独法等委託	果樹
果樹	27	(H27-24)「JM7」台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明	H27	R6	県単/独法等委託	果樹/病理昆虫
果樹		(H27-24-1000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の現地実態把握	H27	R6	県単	果樹
果樹		(H27-24-2000)病害による「JM7」台木利用樹衰弱症状の対策	H28	R6	県単	果樹/病理昆虫
果樹	28	(H31-10)本県に適したりんご優良品種の開発・導入	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-1000)多様なニーズに適合した県オリジナルりんご品種の育成	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-2000)国育成系統適応性試験(盛岡72～74号)	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-3000)国内外導入品種の選抜	R1	R10	令達	果樹
果樹	29	(H31-11)特産果樹の優良品種の選抜および省力的栽培技術の導入	H31	R10	県単/令達	果樹
果樹		(H31-11-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H30	R10	県単/令達	果樹
果樹		(H31-11-2000)西洋なしの優良品種の選抜	H30	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-3000)特産果樹における省力的栽培技術の導入	R5	R10	令達	果樹
果樹	30	(R3-8)ブルーベリーにおける省力的な簡易剪定技術の確立	R3	R7	県単	果樹
果樹	31	(R4-6)りんごオリジナル品種などの省力・低コスト・高品質安定生産技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹		(R4-6-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹		(R4-6-2000)優良品種の栽培技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹		(R4-6-3000)優良品種の摘花剤及び摘果剤利用技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹	32	(R5-11)本県に適したぶどう品種の選抜と栽培技術の確立	R5	R9	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(R5-11-1000)優良品種の特性把握及び選抜	R5	R9	県単	果樹
果樹		(R5-11-2000)系統適応性検定試験	R5	R9	独法等委託	果樹
果樹		(R5-11-3000)生食用品種の安定・省力栽培技術の確立	R5	R9	県単	果樹
果樹		(R5-11-4000)醸造用品種の安定・省力栽培技術の確立	R5	R9	令達	果樹
果樹	33	(R5-17)農業副産物を活用した高機能バイオ炭の製造・施用体系の確立	R5	R7	独法等委託	果樹/土壌肥料
果樹		(R5-17-1000)りんごせん定枝のバイオ炭製造方法の検討と施用効果の確認	R5	R7	独法等委託	果樹/土壌肥料

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【園芸技術研究部野菜研究室】						
野菜	34	(R3-7)施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発	R3	R7	県単/令達/国庫委託/独法等委託	野菜
野菜		(R3-7-5000)キュウリの局所炭酸ガス施用技術の開発	R3	R7	国庫委託	野菜
野菜	35	(R3-9)夏秋ピーマン安定生産技術の確立	R3	R8	県単/令達	野菜
野菜		(R3-9-1000)夏秋栽培における尻腐れ症対策技術の確立	R3	R7	県単	野菜
野菜		(R3-9-2000)大規模経営での導入を想定した省力的な整枝・誘引方法	R3	R8	県単	野菜
野菜		(R3-9-4000)青枯病抵抗性台木の検討	R6	R8	国庫補助	野菜
野菜	36	(R5-1)ブロッコリー安定生産技術の確立	R5	R7	県単	野菜
野菜	37	(R5-18)たまねぎ安定生産に資する品種開発と優良品種の確保	R5	R7	県単/独法等委託/民間委託	野菜
野菜		(R5-18-1000)加工歩留まりの高いF1タマネギ品種の開発	R5	R7	独法等委託	野菜
野菜		(R5-18-2000)岩手県の気候に適する優良品種の確保	R5	R7	県単/民間委託	野菜
野菜	38	(R5-19)国産タマネギの安定供給に向けた持続可能なタマネギ腐敗性病害防除技術の構築	R5	R9	独法等委託	野菜
【園芸技術研究部花き研究室】						
花き	39	(843)りんどうの育成と生理生態の解明	H14	R10	県単	花き
花き		(843-1000)作況調査	H14	R10	県単	花き
花き		(843-3000)栽培に関わる形質や生理障害等に及ぼす要因解明	H14	R10	県単	花き
花き	40	(H31-12)りんどうの革新的な栽培技術の開発	R1	R8	県単	花き
花き		(H31-12-1000)需要期向け切り花りんどうの栽培技術の開発	R1	R8	県単	花き
花き		(H31-12-3000)極早生品種のジベレリン処理による生育促進効果の解明	R6	R8	県単	花き
花き	41	(R5-13)産地を強化するりんどうの品種育成	R5	R9	令達/独法等委託	花き
花き		(R5-13-1000)切り花品種の育成	R5	R9	令達	花き
花き		(R5-13-2000)鉢花品種の育成	R5	R9	令達	花き
花き		(R5-13-3000)親系統の育成	R5	R9	令達	花き
花き		(R5-13-4000)親系統の維持	R5	R9	令達	花き
花き		(R5-13-5000)未受精胚珠培養等による純系りんどうの作出	R5	R9	令達	花き
花き	42	(R6-08)リンドウの耐病性品種の育成	R6	R10	独法等委託	花き
【園芸技術研究部南部園芸研究室】						
南部園芸	43	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	R8	県単	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	R8	県単	南部園芸
南部園芸		(H25-03-5000)地域適応性の高い促成栽培向けいちご品種の選定	R1	R7	県単	南部園芸
南部園芸	44	(R3-10)いちご夏秋作型における秋期収量向上のための草勢維持管理技術の開発	R3	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-1000)電照用電球のLED代替技術の検証	R3	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-2000)草勢維持のための株管理手法の改良	R4	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-4000)株管理と高温対策技術との組み合わせによる秋期収量向上技術の開発	R6	R7	県単	南部園芸
南部園芸	45	(R4-7)いちごの夏秋どり栽培における安定生産技術の開発	R4	R6	独法等委託	南部園芸
南部園芸	46	(R5-12)いちご閉鎖型高設栽培システムの培地無加温条件に対応した施肥方法の開発	R5	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R5-12-1000)基肥、追肥の施用方法の検討	R5	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R5-12-2000)石灰資材の有効性の検証	R5	R7	県単	南部園芸

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【生産環境研究部土壌肥料研究室】						
土壌肥料	47	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	R10	県単	土壌肥料
土壌肥料	48	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料	49	(H16-22)新肥料の実用化	H16	R7	民間委託	土壌肥料
土壌肥料		(H16-22-1100)水田利用研究室担当分	H20	R7	民間委託	水田利用
土壌肥料		(H16-22-1200)生産システム研究室担当分	H20	R7	民間委託	生産システム
土壌肥料		(H16-22-2100)果樹研究室担当分	H20	R7	民間委託	果樹
土壌肥料		(H16-22-2200)野菜研究室担当分	H20	R7	民間委託	野菜
土壌肥料		(H16-22-3100)土壌肥料研究室担当分	H20	R7	民間委託	土壌肥料
土壌肥料		(H16-22-4100)県北園芸研究室担当分	H20	R7	民間委託	果樹・野菜
土壌肥料		(H16-22-4200)県北作物研究室担当分	H20	R7	民間委託	作物
土壌肥料		(H16-22-5000)畜産研究所担当分	H20	R7	民間委託	家畜飼養・飼料
土壌肥料	50	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	R8	国庫委託	土壌肥料
土壌肥料	51	(R2-10)革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発	R2	R7	独法等委託	土壌肥料
土壌肥料	52	(R4-5)基肥施用から荒代掻きまでの日数が水稻生育に及ぼす影響の解明	R4	R7	県単	土壌肥料
土壌肥料	53	(R5-10)岩手県南部における耐倒伏性の強い小麦の品種特性を生かした多収肥培管理技術の確立	R5	R7	県単	土壌肥料
土壌肥料	54	(R6-06)国内資源の肥料利用拡大対策における地力調査	R6	R9	国庫補助	土壌肥料
【生産環境研究部病理昆虫研究室】						
病理昆虫	55	(402)新農薬の効果検定と防除技術資料作成	H9	R10	民間委託	果樹/野菜/花き/病理昆虫/果樹・野菜/作物
病理昆虫		(402-1000)新農薬の効果検定と防除技術資料作成(生産環境研究部)	H9	R10	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)新農薬の効果検定と防除技術資料作成(県北農業研究所)	H9	R10	民間委託	果樹・野菜/作物
病理昆虫		(402-3000)新農薬の効果検定と防除技術資料作成(園芸技術研究部)	H9	R10	民間委託	果樹/野菜/花き
病理昆虫		(402-4000)新農薬の効果検定と防除技術資料作成(生産基盤研究部)	H9	R10	民間委託	水田利用/生産システム
病理昆虫	56	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	R10	令達	病理昆虫
病理昆虫	57	(H30-05)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R7	国庫補助	果樹/病理昆虫
病理昆虫		(H30-05-1000)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R7	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	58	(H30-10)地域特産物における新防除資材の実用化	H30	R10	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	59	(R3-20)殺虫剤を使用しない斑点米カメムシ総合防除体系の検討	R3	R6	国庫委託	水田利用/生産システム/病理昆虫
病理昆虫		(R3-20-1000)畦畔管理体系の確立	R3	R6	国庫委託	水田利用/病理昆虫
病理昆虫	60	(R4-1)農薬だけに頼らない施設トマトの害虫防除技術の開発	R4	R6	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫	61	(R4-8)斑点米カメムシ類の発生予測システムの実用化	R4	R8	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫	62	(R5-2)春期温暖化に対応したリンゴ病害の総合防除体系の確立	R5	R8	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(R5-2-1000)リンゴ黒星病の早期感染に対応した防除体系の確立	R5	R7	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(R5-2-2000)リンゴ褐斑病の早期感染に対応した防除体系の確立	R6	R8	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫	63	(R5-3)ネギ小菌核病および白絹病の総合防除対策の確立	R5	R7	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	64	(R5-4)大豆病害の総合防除対策の確立	R5	R7	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	65	(R5-20)リンゴにおける土着天敵の動態解明と検出技術の実践評価	R5	R9	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫	66	(R5-21)PMoVを中心とした接触伝染性ウイルスにおける月桃資材の利用法の確立	R5	R7	独法等委託	病理昆虫

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【畜産研究所家畜育種研究室】						
家畜育種	67	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	R10	令達	家畜育種
家畜育種	68	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	H17	R10	令達	家畜育種
家畜育種	69	(H30-13)種雄牛選抜におけるゲノム育種価の実用化	H30	R8	令達/独法等委託	家畜育種/種山畜産
家畜育種		(H30-13-1000)枝肉6形質のゲノミック評価の実用化	H30	R8	令達	家畜育種/種山畜産
家畜育種		(H30-13-2000)脂肪酸組成のゲノミック評価手法の確立	R3	R8	令達/独法等委託	家畜育種/種山畜産
家畜育種	70	(R2-2)周年出荷のための日本短角種長期肥育技術の確立	R2	R6	県単	家畜育種
家畜育種	71	(R2-3)肥育前期に混合飼料を活用した黒毛和種肥育期間短縮技術の確立	R2	R6	県単	家畜育種/家畜飼養・飼料
家畜育種	72	(R4-4)県内パークシェアー種豚群の産肉能力向上と可食肉量を増加させる飼料給与体系の確立	R4	R7	県単	家畜育種
家畜育種	73	(R4-9)ゲノム情報を活用した日本短角種集団における遺伝的多様性の評価と近交回避交配法の確立	R4	R6	独法等委託	家畜育種
家畜育種	74	(R5-6)配合飼料を節減する日本短角種の低コスト肥育技術の確立	R5	R8	県単	家畜育種
家畜育種	75	(R5-7)黒毛和種における脂肪交雑形状と脂肪酸組成との関係解析	R5	R7	令達	家畜育種
家畜育種	76	(R5-8)黒毛和種繁殖雌牛における授精の適否を簡易に把握する手法の確立	R5	R7	県単	家畜育種
家畜育種	77	(R5-22)黒毛和種におけるゲノムデータを活用した有害変異保因牛の遺伝的原因の解明	R5	R7	独法等委託	家畜育種/種山畜産
家畜育種	78	(R6-02)トウモロコシサイレージを長期給与した黒毛和種の低コスト肥育技術の開発	R6	R10	県単	家畜育種
家畜育種	79	(R6-04)地域資源を活用した南部かしわの鶏肉の高付加価値化技術の確立	R6	R8	県単	家畜育種
家畜育種	80	(R6-09)養豚及び養鶏場における混合消毒液の効果の検証	R6	R6	独法等委託	家畜育種
【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】						
家畜飼養・飼料	81	(R3-14)ベレニアルライグラス晩生優良品種の特性確認	R3	R6	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(R3-15)飼料用とうもろこし市販品種の特性比較	R3	R6	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(R3-16)温暖化に対応した採草地管理	R3	R7	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(R3-24)除染草地と耕起困難草地における放射性セシウム吸収抑制のための維持管理技術の開発	R3	R7	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	85	(R4-2)乳用牛群検定データの解析による酪農の生産性向上要因の分析と活用	R4	R6	令達	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(R4-3)繋留飼養の搾乳牛における効果的なTMR給与方法の確立	R4	R7	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(R4-10)オーチャードグラス優良品種の特性確認	R4	R8	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(R4-11)多年生ライグラス類を利用した追播技術の確立	R4	R8	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	89	(R5-5)乾乳期における放し飼いの普及に向けた管理体系の確立	R5	R7	県単	家畜飼養・飼料
【畜産研究所外山畜産研究室】						
外山畜産	90	(R3-18)日本短角種における自然交配時の分娩時期の推定	R3	R6	県単	外山畜産
外山畜産	91	(R5-9)黒毛和種哺乳子牛のICT機器活用による早期異常発見技術の確立	R5	R7	県単	外山畜産
外山畜産	92	(R6-03)2シーズン放牧を取り入れた肉量・肉質への影響を最小限とする日本短角種の低コスト肥育技術の確立	R6	R10	県単	外山畜産
【畜産研究所種山畜産研究室】						
種山畜産	93	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	R10	県単	家畜育種/種山畜産
種山畜産	94	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	R10	県単	家畜育種/種山畜産
種山畜産	95	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	R10	県単	種山畜産

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【県北農業研究所果樹・野菜研究室】						
果樹・野菜(県北)	96	(R3-11)県北地域の施設きゅうり等に適した環境制御技術の開発	R3	R7	県単/国庫委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R3-11-1000)県北地域に適した低コスト暖房技術の開発	R3	R6	県単/国庫委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	97	(R3-21)抵抗性品種によるキャベツ根こぶ病対策の確立	R3	R7	国庫委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R3-21-1000)既存の抵抗性寒玉系品種の特性評価	R3	R7	国庫委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	98	(R5-14)雨よけほうれんそうにおける環境制御技術の開発	R5	R7	令達	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R5-14-1000)雨よけほうれんそうにおける環境制御技術の開発	R5	R7	令達	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	99	(R6-10)県北地域に適したりんごオリジナル品種等の優良品種の選抜	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R6-10-1000)県北におけるりんご岩手系統の地域適応性把握	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	100	(R6-11)県北地域に適した核果類の優良品種の選抜と省力栽培技術の確立	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R6-11-1000)パイプハウスを活用したおうとうジョイント栽培による省力安定生産技術の開発	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R6-11-2000)県北地域に適したもも品種および台木の選抜	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
【県北農業研究所作物研究室】						
作物(県北)	101	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	H16	R10	令達	作物
作物(県北)	102	(H31-08)収量・品質に優れる雑穀新品種の育成	R1	R10	令達	作物
作物(県北)		(H31-08-1000)雑穀新品種・系統の育成	R1	R10	令達	作物
作物(県北)	103	(R3-6)県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立	R3	R7	令達	果樹・野菜/作物
作物(県北)		(R3-6-1000)雑穀における高精度直播栽培体系の確立	R3	R7	令達	作物
作物(県北)	104	(R3-25)雑穀類対応コンバインの開発と収穫適応性の評価	R3	R6	独法等委託	作物

(3) 試験研究課題の要望とその措置一覧

No.	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置 区分
1	農産	1	岩手県農業農村指導士協会	自然にある地域資源（里山の葉、草など）の採取による営農モデルの検討	○企画管理部 農業経営研究室	C、D
2	農産	2	岩手県認定農業者連絡協議会	基盤整備工事施工に合わせて実施する畦畔・法面等の雑草生育抑制グランドカバープランツの植栽技術	○生産基盤研究部 水田利用研究室	C
3	農産	3	岩手県農業農村指導士協会	温暖化に対応した水稲及び大豆の栽培管理方法の検討	○生産基盤研究部 〃 生産システム研究室 水田利用研究室	B、C
4	農産	4	岩手県農業農村指導士協会	気温上昇により今後発生が想定される新規病害虫対策	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	B
5	農産	5	全農岩手県本部	かび毒（DON）の産生を助長しない小麦収穫時期・子実水分の解明	○生産基盤研究部 水田利用研究室	A 1、D
6	農産	6	全農岩手県本部	小麦の子実水分を推測するシステムの開発	○生産基盤研究部 水田利用研究室	A 3 (R7検討)
7	農産	7	全農岩手県本部	晩成系もち米品種の岩手県への作付け適応	○生産基盤研究部 〃 水田利用研究室 作物育種研究室	B
8	農産	8	全農岩手県本部	小麦のDON低減対策	○生産基盤研究部 〃 水田利用研究室 病理昆虫研究室	C
9	農産	9	全農岩手県本部	新規穂いもち予防剤の活用によるいもち病防除体系の見直し	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	D
10	農産	10	全農岩手県本部	特別栽培におけるコスト低減	○生産環境研究部 〃 生産基盤研究部 〃 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室 水田利用研究室 生産システム研究室	C
11	農産	11	農業普及技術課（革新）、盛岡農業改良普及センター、中部普及改良普及センター	近年の気象条件を考慮した大豆「播種適期」の提示と高温耐性を備えた大豆品種の選定	○生産基盤研究部 県北農業研究所 水田利用研究室 作物研究室	B
12	農産	12	中部農業改良普及センター	岩手県内における小麦の出穂期・開花期・成熟期予測手法の確立	○生産基盤研究部 〃 水田利用研究室 生産システム研究室	A 1
13	農産	13	中部農業改良普及センター	良食味タカキビ品種の育成	○県北農業研究所 作物研究室	B
14	農産	14	二戸農林振興センター	県北地域のイネホールクロップサイレージに適した極短穂莖葉型品種の育成	○生産基盤研究部 作物育種研究室	A 1
15	農産	15	二戸農業改良普及センター	「いわてあわこがね」におけるモロコシキイエバエの（発生生態及び）防除対策について	○県北農業研究所 作物研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室	A 3 (R8検討)
16	園芸	1	岩手県農業農村指導士協会	りんご果実の日焼け及び品質低下の予防対策技術の検討	○園芸技術研究部 県北農業研究所 果樹研究室 果樹・野菜研究室	A 3 (R8検討) C
17	園芸	2	岩手県農業農村指導士協会	花き生産における暑熱対策技術の開発	○園芸技術研究部 花き研究室	C
18	園芸	3	岩手県農業農村指導士協会	りんご栽培におけるダニ剤の効果的な使用方法の検討	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	B、D
19	園芸	4	全農岩手県本部	ピーマンのトロケ発生低減に向けた効果的な対策の確立	○園芸技術研究部 〃 野菜研究室 病理昆虫研究室	A 3 (R7検討)
20	園芸	5	全農岩手県本部	りんご品種はるかの蜜入り向上技術の確立	○県北農業研究所 果樹・野菜研究室 園芸技術研究部 果樹研究室	A 1
21	園芸	6	農業普及技術課（革新）	ピーマンにおけるトロケ（通称）症状の発生原因の究明	○園芸技術研究部 〃 野菜研究室 病理昆虫研究室	A 3 (R7検討)
22	園芸	7	農業普及技術課（革新）、中部農業改良普及センター	土地利用型野菜（たまねぎ等）の除草剤使用体系の構築	○園芸技術研究部 野菜研究室	A 3 (R8検討) C
23	園芸	8	農業普及技術課、病害虫防除所	岩手県におけるトマトキバガの効果的な防除対策の確立	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	A 3 (R7検討)
24	園芸	9	農業普及技術課（革新）	土壌水分のモニタリングによる雨よけほうれんそうのかん水管理の最適化	○県北農業研究所 果樹・野菜研究室	A 3 (R8検討)
25	園芸	10	盛岡農業改良普及センター	環境に配慮したりんご栽培における気候変動に対応した防除方法の検討	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	B
26	園芸	11	二戸農業改良普及センター	「雪いわて」の品種特性の把握および栽培技術の確立について	○園芸技術研究部 県北農業研究所 果樹研究室 果樹・野菜研究室	B
27	畜産	1	岩手県農業農村指導士協会	牧草の代替繊維として木材パルプの利用	○畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	C
28	畜産	2	全農岩手県本部	完熟期に収穫した稲WCSの給与方法、給与上限量の検討	○畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	C
29	畜産	3	農業普及技術課（革新）、盛岡農業改良普及センター	牧草地における二ホンジカ食害把握と電気柵に代わる防護技術の開発	○畜産研究所 外山畜産研究室	A 1、C

5 共同研究等の推進

(1) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	農研機構(*)	R2～6	リンゴでの急性枯死症状の発生実態と対策技術の開発	果樹、病理昆虫
先端技術を活用した施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷技術の確立	農研機構(*)	R3～7	キュウリの局所炭酸ガス施用技術の開発	野菜
省力的なIPMを実現する病害虫予報技術の開発	農研機構(*)	R4～8	発生要因の解析と予測モデルの検証(イネミズ、ドロオイ、アカスジ、アカヒゲ)	病理昆虫
病害虫発生予察の調査手法の高度化	農研機構(*)	R6～	農研機構に気象データ、伝染源飛散データを提供するとともに気象データを活用した予察法の県内における実証を実施。	病理昆虫
農業生産に不可欠な生態系サービスの効率的な評価技術の開発	農研機構(*)	R6～	リンゴ圃場のカブリダニ類の発生状況を調査し、各樹種におけるカブリダニ類の発生状況とハダニの密度制御に関する知見を蓄積する。	病理昆虫
特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証委託事業	農研機構(*)	R3～7	草地における放射性セシウム吸収抑制技術の開発・実証と未除草地利用可否判断基準の策定	家畜飼養・飼料

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(2) イノベーション、オープンイノベーション創出強化研究推進事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
初冬から早春まで「いつでも直播」:春の作業ピークを平準化できる革新的稲作技術	国立大学法人岩手大学	R6～10	春の作業ピークを平準化するため、前作収穫後の初冬から早春までの間で担い手が播種時期を自由に選べる直播技術の確立を目指す。	農業経営 生産システム
疎播疎植・ペースト2段施肥による「みどりの稲作」プロジェクト	農研機構(*)	R5～8	岩手県での「銀河のしずく」の疎播疎植・高精度ペースト2段施肥体系による省力多収栽培技術を確立する。	生産システム
精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成	(公財)岩手生物工学研究センター	R3～7	これまでに得られたゲノム情報と作出した育種素材を活用し、葉身形態に関する遺伝子領域を集積させた系統の個葉光合成能および乾物生産能力を明らかにするとともに、不良形質の発現を回避しながら有用形質関連遺伝子を集積する精緻なゲノム育種により迅速な品種育成と栽培特性把握を行う。	作物育種
省力・大規模化と収穫・出荷期間の大幅拡大を可能とするタマネギセット栽培体系の構築	農研機構(*)	R3～5	セット春植および秋植栽培に適する品種・定植時期等の検討	野菜
国産タマネギの安定供給に向けた持続可能なタマネギ腐敗性病害防除技術の構築	農研機構(*)	R5～9	根切り時期が腐敗性病害の発生に及ぼす影響を明らかにする。	野菜
リンドウの難防除病害対策を革新する新品種開発	(公財)岩手生物工学研究センター	R6～10	種子レベルで形質が固定されたCMV抵抗性エゾリンドウ品種候補を選抜する。 GkaV抵抗性・耐性リンドウ系統もしくは多重抵抗性系統の品種候補を選抜する。	花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
次世代型土壌ICTによる土壌管理効果可視化API開発と適正施肥の実証	農研機構(*)	R5～7	岩手県において、土地利用変化に伴う土壌種変化を予測する人工知能AI開発のための土壌断面調査データベースの整備を行う。	土壌肥料
新たな農資源ゲットウを利用した新規抗植物ウイルス剤の創製	農研機構(*)	R5～7	トウガラシ微斑ウイルスに対する月桃資材の有効性を所内試験において評価する。	病理昆虫
越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発	農研機構(*)	R4～8	東北北部内陸部での採草利用の「草地メンテナンス」技術実証栽培を行うために、所内の経年採草地に、試験区を設置し、初期生育を調査する。	家畜飼養・飼料
根こぶ病抵抗性を付与した岩手県ブランドキャベツ品種「CR春さやか」のスピードブリーディング	(公財)岩手生物工学研究センター	R6～10	岩手県キャベツブランド「いわて春みどり」の主力品種である「春さやか」に根こぶ病抵抗性(CR)を付与した「CR春さやか」を早期に育成し、産地に普及することを目的とする。加えて、汎用性の高いキャベツ育種技術の再構築を目指す。	県北果樹・野菜

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(3) 公設試等連携可能性調査(県ふるさと振興部 10/10委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
有機質肥料・少肥適応型の水稲品種育成に関する基盤研究	(公財)岩手生物工学研究センター	R6	有機質肥料・化学肥料の施用に対する生育応答や養分吸収、微生物叢動態の違いを、水稻系統・品種間で比較する。	土壌肥料

(4) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	農研機構(*)	R4～5	ICT利用による東北地域における畑作物(大豆・小麦)収量向上サービスの実証・実装	農業経営
受託研究	テラスマイル株式会社	R4～5	・産地支援手引書の作成 ・データを活用した経営・技術支援	農業経営
受託研究	農研機構(*)	R2～6	耐病性に優れた府県向け高品質安定多収小麦品種育成に向けた有望系統の開発	水田利用
受託研究	農研機構(*)	R2～6	耐病性に優れた安定多収で、高品質で加工適性に優れた精麦用大麦・裸麦品種育成に向けた有望系統の開発	水田利用
受託研究	農研機構(*)	R5～7	高湿材適応コンバインの開発	生産システム
受託研究	農研機構(*)	H23～	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹
受託研究	農研機構(*)	R6～	岩手県のリンゴ園地における剪定技量、バイオ炭の生成量と品質、バイオ炭の圃場散布が土壌や樹体に及ぼす影響の試料およびデータの収集	果樹、土壌肥料
受託研究	農研機構(*)	R5～7	カラムナータイプリンゴ品種の育成	果樹
受託研究	農研機構(*)	R5～7	加工歩留まりの高いF1タマネギ品種の開発	野菜

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

事業・課題名	代表機関	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
受託研究	農研機構(*)	R4～6	夏秋いちご「夏のしずく」による夏秋期の安定生産技術・病虫害防除技術確立	南部園芸
受託研究	農研機構(*)	R5～7	病害抵抗性いちご品種候補の開発	南部園芸
受託研究	東北農政局	H27～	農地管理実態調査 ・定点調査:水田4、普通畑11、草地9 ・基準点調査:水田、普通畑	土壌肥料
受託研究	東北農政局	R6～	地力調査 ・定点調査:水田4、普通畑11、草地9 ・基準点調査:水田、普通畑	土壌肥料
受託研究	農研機構(*)	R3～5	黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発	家畜育種
受託研究	国立大学法人岩手大学	R6～7	「いわて畜産テリトリー」の実現に向けた循環型粗飼料生産・活用システムの開発	家畜飼養・飼料 外山畜産
受託研究	岩手県	R3～5	雑穀類対応コンバインの開発	県北作物
受託研究	(公財)岩手生物工学研究センター	R6～10	雑穀ゲノム育種と安定生産技術の開発(雑穀生産性向上に向けた栽培技術確立と遺伝資源探索)	県北作物
受託研究	国立大学法人福島大学	R5～11	施設園芸におけるエネルギー循環利用技術体系の構築と実証	県北果樹・野菜

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(5) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研 究 の 内 容	担当研究室
稲民間育成品種評価試験	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会	民間において育成された稲の品種に関する評価試験、育成品種に関する特性及び生産力等の解明	作物育種
野菜新品種系統委託試験	(一社)日本種苗協会	岩手県におけるタマネギの新品種・系統の生育適正、斉一性等の比較検討	野菜
資材効果試験	コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社	窒素固定細菌資材(Utrisha N)の水稻への効果確認	土壌肥料
ホップ生産における病虫害防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病虫害の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
台木カボチャのホモプシス根腐病耐病性の評価	タキイ種苗	キュウリの接ぎ木苗をホモプシス根腐病汚染圃場に作付けし、耐病性を評価する。	病理昆虫
飼料作物等高能力新品種選定調査事業	(一社)日本草地畜産種子協会	オーチャードグラス新品種の比較試験の実施	家畜飼養・飼料
日本短角種の持続可能な生産システム開発事業	国立大学法人東北大学(JRA事業)	ゲノム情報を活用した日本短角種集団における遺伝的多様性の評価と近交回避交配法の確立	家畜育種

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
和牛ゲノムデータ駆動型未診断疾患解明事業	国立大学法人 琉球大学 (JRA事業)	和牛の未解明な疾患についてゲノムデータと臨床データから遺伝子を特定し、淘汰や交配に活用する手法の開発	家畜育種
農場消毒強化技術実用化推進事業に係る県畜試等委託事業	公益社団法人畜産技術協会	混合消毒液の殺菌効果並びにハンドリングの留意点について調査を実施し、混合消毒液を活用した農場の衛生向上に資する。	家畜育種
情報処理等先端技術の活用による高生産性システムの確立	公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会	岩手県中山間地域におけるロボットトラクタの傾斜地適応性の把握及び雑穀栽培での活用検討	県北作物
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	農薬及び植物調節剤等の効果判定	病理昆虫、水田利用、生産システム、果樹、野菜、県北作物、県北園芸
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稻、大豆、キャベツ、りんご、ほうれんそう	生産システム、果樹、土壌肥料、県北園芸

(6) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
イネ高度耐冷性メカニズムの解明	ゲノム育種研究部 (他、岩手大学)	R6～10	高度耐冷性を持つ水稻系統「奥羽PL5」と「ひとめぼれ」などとの交雑後代を用いて、耐冷性に関わる形質を調査し、ゲノム配列情報と合わせて解析することで、高度耐冷性の責任遺伝子を同定する。形質と遺伝子機能の解明により、高度耐冷性メカニズムを解明する。	作物育種
イネ穂ばらみ期高度耐冷性に関わる生理機能および遺伝子領域の特定	ゲノム育種研究部 (他、岩手大学、古川農業試験場)	R6～10	耐冷性の強化のための基礎的な知見を得るため、イネ穂ばらみ期高度耐冷性に関わる生理機能および遺伝子領域の特定を受精に関わる構成要素という視点から体系的に評価する。	作物育種
重イオンビーム照射によるブルーベリー変異体獲得に関する研究 ※大和造園土木株式会社との3者契約	生物資源研究部	R5～7	ブルーベリーへの重粒子線照射を行って、生物影響と突然変異誘起率の検討を行う。至適条件を決定後、有用変異系統の作出を試みる。	果樹

(7) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹

(8) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)

開催月日	場 所	内 容
R5.9.29	岩手大学	「持続可能な畜産に向けて・・・飼料と動物福祉の問題を考える」
R6.3.27	岩手大学	-牛の生産と家畜感染症に係る最新情報-自動搾乳システムの普及と牛伝染性リンパ種・アフリカ豚熱

(9) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
生物遺伝資源交換に関する研究協定	農研機構(*)	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
水稲いもち病圃場抵抗性検定の東北地域向け基準品種の追加策定	農研機構(*)、青森県産業技術研究センター農林総合研究所(**)、宮城県古川農業試験場、秋田県農業試験場、山形県、福島県	R3～7	いもち病真性抵抗性遺伝子型が「 <i>Pii</i> 、 <i>Pik</i> 」「 <i>Pib</i> 」等の品種・系統の葉・穂いもち圃場抵抗性検定を行い、発病程度を評価する。各機関で得られたいもち病発病程度のデータを集約し、抵抗性程度の強弱を推定して、基準品種の候補となる品種・系統を選定する。	作物育種
水稲供試材料の耐冷性強化のための基礎研究	岩手大学	R6～10	イネの高度耐冷性に関わる生理生態的なメカニズムの解明と関与遺伝子領域を同定することを目的に、水稲供試材料の耐冷性を評価、調査する。	作物育種
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	農研機構(*)、宮城県農業・園芸総合研究所	R元～8	岩手県および宮城県における地域適応性等に基づく系統選抜を実施し、寒冷地において安定生産を可能とするイチゴ品種の育成を推進する。	南部園芸
和牛における経済形質のゲノム選抜手法の確立	独立行政法人 家畜改良センター	R6	牛DNAサンプルと形質情報の収集、肥育牛、種雄牛、繁殖雌牛等のゲノムワイドなSNP情報の解析、ゲノム育種価予測式の作成と予測式の精度の検証	家畜育種

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

** 地方独立行政法人

(10) 産学官連携

名 称	開催年月	場 所	内 容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	R6.9.11	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	令和5年度活動報告および6年度事業計画について	研究企画室
リエゾンIマッチングフェア(中止)	R6.2	オンライン	最近の研究シーズのプレゼンテーション	研究企画室

6 現地試験の実施

内 容 （ 試験研究課題名 ）	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
水稻奨励品種決定現地調査 (粳)	雫石町	長山	生産基盤研究部 水田利用
	(粳)	紫波町	
	(粳)	岩手町	
	(粳)	花巻市	
	(粳)	西和賀町	
	(粳)	奥州市	
	(粳)	平泉町	
	(粳)	陸前高田市	
	(粳)	遠野市	
	(粳)	山田町	
	(粳)	洋野町	
	(粳)	二戸市	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	生産基盤研究部
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市	舞川	
	矢巾町	煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市	江刺田原	
	盛岡市	玉山	
大豆でのトリフルラリン乳剤播種前土壌混和による薬効・薬害評価試験	奥州市	江刺田原	生産基盤研究部 作物育種
【イノベーション創出強化研究推進事業】精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成にかかる現地実証圃	奥州市	江刺稲瀬	
	奥州市	江刺愛宕	
りんご育種系統の現地適応性試験	二戸市	金田一	園芸技術研究部 果樹
	宮古市	内の沢	
	滝沢市	元村	
	盛岡市	黒川	
	奥州市	江刺米里	
	一関市	舞川	
各地域に適したリンゴ早期成園化技術の実証	紫波町	長岡	園芸技術研究部
岩手ワインヒルズ推進事業に係る現地品種比較試験	陸前高田市 野田村	米崎町 根井	
「農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究現場ニーズプロジェクト」果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	奥州市	江刺鴨沢	
りんごのJM台木利用樹における樹勢衰弱症状対策技術の現地実証	花巻市	石鳥谷町滝田	
ブルーベリー簡易剪定法の現地実証	軽米町	観音林	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
「施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発」 (トマトの夏秋作型における出荷予測ツールの開発)	北上市	二子	園芸技術研究部 野菜
りんどう奨励品種決定調査(現地調査)	雫石町 岩手町 花巻市 西和賀町 奥州市 一関市 一関市 一戸町 一戸町	小日谷地 河口 石鳥谷 沢内 衣川(2カ所) 弥栄 巖美 小友 仁左平	園芸技術研究部 花き
「岩手県南部における耐倒伏性の強い小麦の品種特性を生かした 多収肥培管理技術の確立」	一関市	舞川	生産環境研究部 土壌肥料
「革新的な土壌データの取得方法及びデータ高付加価値化手法の開 発」	八幡平市	西根	
新農薬の効果試験と防除指針作成 りんどう葉枯病、リンドウ褐斑病、リンドウ黒斑病、リンドウ花腐菌核病	八幡平市	安代	生産環境研究部 病理昆虫
省力的IPMを実現する病害虫予報技術の開発 (現地試験)	盛岡市	好摩	
殺虫剤だけに頼らない斑点米カメムシ総合防除体系の検討 (現地試験)	雫石町	①御明神 ②晴山 ③名子	
農薬だけに頼らない施設トマト害虫の総合防除技術の確立 (現地試験)	盛岡市	太田	
PMMoVを中心とした接触伝搬性ウイルスにおける月桃資材の利用法 の確立 (現地試験)	奥州市	胆沢	
キャベツ黒斑病体系防除試験 (現地試験)	岩手町	沼宮内	(八幡平農業改良普及 センター岩手町駐在)
JM7台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明 (現地調査)	奥州市	江刺	
りんご褐斑病を中心とした春季の防除体系の再検討 (現地試験)	盛岡市	東中野	
ホップ生産における病害虫防除に関する包括的研究(気象変動を考 慮したハダニ類防除技術の検討)	奥州市	江刺	
りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係 (現地調査)	①花巻市 ②盛岡市 ③矢巾町 ④奥州市 ⑤一関市 ⑥軽米町	①東和、北滝 田 ②手代森、川 目 ③煙山 ④愛宕 ⑤藤の沢、千 厩 ⑥高家	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
除染草地と耕起困難草地における放射性セシウム吸収抑制のための維持管理技術の確立	岩手県南部		畜産研究所 家畜飼養・飼料
パークシャー種豚群の産肉能力調査	岩泉町	有芸	畜産研究所 家畜育種
黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定法)	①滝沢市 ②奥州市 ③一関市 ④紫波町 ⑤北上市 ⑥盛岡市 ⑦二戸市 ⑧一戸町 ⑨花巻市	①上岩手山 ②江刺、胆沢 ③藤沢、花泉 ④片寄 ⑤和賀、上江釣子 ⑥下田 ⑦足沢 ⑧中山 ⑨東和町	畜産研究所 種山畜産
県北地域のきゅうり等栽培に適した生育診断、出荷予測技術の開発	二戸市	舌崎	県北農業研究所 果樹・野菜
キャベツ根こぶ病発生圃場における抵抗性品種及び罹病性品種の発病程度の比較	八幡平市	細野	
ジョイント栽培の現地適応性および省力効果等の確認	二戸市	石切所	
大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査(リョウユウ)	軽米町	上舘	県北農業研究所 作物
雑穀類対応コンバインの開発	軽米町	円子	

Ⅲ 試験研究の成果

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)令和6年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理			1		1
2 生産工学			1		1
3 水稻		3	3		6
4 畑作物					0
5 特産作物					0
6 果樹	1	6	1	1	9
7 野菜		7		4	11
8 花き	1	1	2		4
9 土壌作物栄養		3			3
10 病害虫制御		4		1	5
11 乳用牛		1	1		2
12 肉用牛	1	1	5	1	8
13 中小家畜(豚・鶏)		1			1
14 草地・飼料作物	1	1			2
15 畜産環境					0
共通					0
[計]	4	28	14	7	53

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

(2)令和6年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
果樹	R6-普-01	耐寒性に優れ、裂果や病害が少なく、栽培が容易な醸造用白色ぶどう品種「ヤマブラン」	果樹
花き	R6-普-02	8月上旬開花の切り花向け青色りんどうF1品種「いわてEB-5号」の育成	花き
草地・飼料作物	R6-普-03	ペレニアルライグラス晩生優良品種「夏ごしペレ」	家畜飼養・飼料
肉用牛	R6-普-04	脂肪交雑及び枝肉重量の産肉能力に優れる黒毛和種県有基幹種雄牛「福太郎3」(ふくたろう3)号及び「菊美翔平」(きくみしょうへい)号	種山畜産

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
水稻	R6-指-01	令和6年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
水稻	R6-指-02	リゾケアXLを用いた水稻の湛水直播栽培の特徴	生産システム
水稻	R6-指-03	夏季高温年における稲体窒素栄養状態と白未熟粒の発生傾向	土壌肥料
土壌作物栄養	R6-指-04	水田土壌における20年間の有機物長期連用が土壌化学性と水稻の養分収支に及ぼす影響	土壌肥料
土壌作物栄養	R6-指-05	水田土壌における20年間の有機物長期連用が水稻の収量と玄米品質、窒素吸収パターンに及ぼす影響	土壌肥料
土壌作物栄養	R6-指-06	小麦品種「ゆきちから」は茎立期追肥により精子実重が増加する	土壌肥料
病虫害制御	R6-指-07	新規系統薬剤によるダイズ紫斑病の防除	病理昆虫
果樹	R6-指-08	ぶどう「シャインマスカット」におけるメピコートクロリド液剤散布による副梢発生本数への影響と新梢管理作業の省力効果	果樹
果樹	R6-指-09	おうとう「佐藤錦」の受粉樹として利用でき、食味良好な早生品種「紅ゆたか」	果樹
果樹	R6-指-10	岩手県におけるブルーベリー品種の特性	果樹
果樹	R6-指-11	りんご幼木における急性衰弱症既発生園地での改植時の防除対策	果樹
果樹	R6-指-12	りんごJ M台利用樹に発生する急性衰弱症の発生メカニズムと発生助長要因	病理昆虫
果樹	R6-指-13	リンゴ褐斑病と黒星病を同時防除できる「開花直前」の防除薬剤	病理昆虫
病虫害制御	R6-指-14	近年におけるリンゴ炭疽病の多発要因と防除対策	病理昆虫
野菜	R6-指-15	きゅうりのハウス無加温長期どり作型の摘心栽培における低コスト環境制御技術導入による増収効果	野菜
野菜	R6-指-16	ピーマン軟腐病による軟化腐敗果の発生低減対策	野菜
野菜	R6-指-17	岩手県の雨よけ夏秋栽培におけるピーマン台木品種の病害抵抗性及び生育特性	野菜
野菜	R6-指-18	夏まきブロッコリーの加工業務用大型花蕾生産に適する定植時期と品種特性	野菜

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
野菜	R6-指-19	四季成り性いちご品種「夏のしずく」の夏秋どり栽培における最適な栽植距離	南部園芸
病虫害制御	R6-指-20	ねぎ栽培における小菌核病と白絹病の同時防除	病理昆虫
病虫害制御	R6-指-21	夏秋栽培トマトにおけるヒラズハナアザミウマによる果実の白ぶくれ症被害率の品種間差異	病理昆虫
野菜	R6-指-22	雨よけほうれんそうにおけるミスト噴霧による省力及び増収効果	果樹・野菜 (県北)
野菜	R6-指-23	施設きゅうりの抑制作型における株元加温技術の導入効果	果樹・野菜 (県北)
花き	R6-指-24	りんどう晩生品種「いわて夢のぞみ（いわてLB-3号）」における千鳥疎植栽培の適用性	花き
乳用牛	R6-指-25	乳用牛群能力検定データを活用した乳中脂肪酸組成及びケトン体濃度の可視化ツール	家畜飼養・飼料
肉用牛	R6-指-26	黒毛和種肥育牛への発酵TMR給与による出荷月齢の早期化と枝肉格付の向上	家畜育種
中小家畜 (豚・鶏)	R6-指-27	飼料へのエゴマ油粕添加による南部かしわ鶏肉中 α -リノレン酸割合の向上技術	家畜育種
草地・飼料作物	R6-指-28	日本短角種妊娠牛における乳汁中PAG濃度測定による分娩日の推定	外山畜産

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
農業構造・ 経営管理	R6-行-01	水稻スマート農業技術体系の省力性がもたらす経営上の効果	農業経営
水稻	R6-行-02	令和6年度における水稻奨励品種決定基本試験の本試験・現地試験結果	水田利用
水稻	R6-行-03	令和7年度水稻奨励品種決定基本試験 本試験・現地試験に新たに供試する系統	水田利用
水稻	R6-行-04	令和7年度水稻奨励品種決定予備試験に新たに供試する「岩手161号」、「岩手162号」、「岩手163号」	作物育種
生産工学	R6-行-05	水田暗渠を利用した地下かんがいの大豆栽培における生育改善効果	水田利用
果樹	R6-行-06	りんご育成系統「岩手21号」、「岩手22号」の果実特性	果樹
花き	R6-行-07	令和6年度りんどう奨励品種決定試験結果	花き
花き	R6-行-08	令和7年度りんどう奨励品種決定試験に新たに供試する系統	花き
乳用牛	R6-行-09	305日乳量及び空胎日数が優れる経営体に共通する生産性の向上要因	家畜飼養・飼料
肉用牛	R6-行-10	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
肉用牛	R6-行-11	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
肉用牛	R6-行-12	県内黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターと育種価の推定	家畜育種
肉用牛	R6-行-13	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
肉用牛	R6-行-14	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
果樹	R6-研-01	りんご新規摘花剤「MCPB乳剤」の「ふじ」に対する効果	果樹
野菜	R6-研-02	夏秋ピーマンにおける軟化腐敗果の発生原因	野菜
野菜	R6-研-03	四季成り性いちご品種「なつあかり」における花成誘導促進に対する光質の影響	南部園芸
病虫害制御	R6-研-04	夏秋栽培トマトにおける天敵昆虫タバコカスミカメの加害による果実の陥没症状の特徴	病理昆虫
野菜	R6-研-05	施設園芸における高含水率対応木質チップボイラーの実用性	果樹・野菜 (県北)
野菜	R6-研-06	県北地域における根こぶ病抵抗性寒玉キャベツの品種比較	果樹・野菜 (県北)
肉用牛	R6-研-07	日本短角種長期肥育におけるふすま代替給与の効果	家畜育種

2 追跡評価

○令和6年度追跡評価の実施結果

(1) 評価対象

普及区分4成果及び指導区分20成果、合計24成果

※普及区分(令和元年度1課題、令和3年度3課題)

指導区分(令和2年度1課題、令和3年度19成果)

(2) 評価区分及び評価者

評価区分	成果区分	評価者	評価視点
内部	普及、指導	各担当研究室長	現在の有効性
外部	普及	生産者等（JA含む）、普及C	成果の活用状況
	指導	普及C	成果の活用状況

(3) 評価結果

ア 内部評価

評価結果はいずれもAであった。

区分	有効性	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
普及	A	9	10	1	6	8	6	5	7 + 1	4	3
	B		2	1							
	C		1								
	D										
指導	A	21	35	32	18	36	41	37	30	37 + 1	19
	B		1	1	1						
	C										
	D										

(注) 太字は今回評価の対象成果

A:現在でも有効

B:既に成果の目的を達成し、現在では有効性がない

C:後年度の成果に反映

D:無効(Bに含まれないもの)

イ 外部評価（括弧内は前年度の値）

(ア) 成果区分「普及」

a 生産者等評価

① 活用状況は、「現在も活用している」が40.0% (75.0%)、「以前活用したが、今は活用していない」が20.0% (0.0%)、「活用の機会がない」が40.0% (25.0%)であった。
「活用の機会がない」理由としては、メーカーの品種を用いて同等の収量を得ているためという回答があった。

② 満足度は、「満足」が20.0% (12.5%)、「概ね満足」が40.0% (75.0%)、「あまり満足できない」が40.0% (12.5%)であった。
「あまり満足できない」理由としては、標高差で数値のズレが大きいという回答があった。

b 普及センター評価

① 経営体での活用状況は、「よく活用されている・活用されている」が77.7%、「あまり活用されていない・活用されていない」が22.3%であった。

② 「あまり活用されていない・活用されていない」理由としては、品種の収量性の面から導入に慎重になっているという回答や、メーカー品種のシェアが大きいという回答があった。

(イ) 成果区分「指導」

a 普及センター評価

- ① 指導上の参考になったかは、「大いに参考になった・参考になった」が93.8% (85.7%)、「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」が6.2% (14.3%)であった。
- ② 指導効果が得られたかは、「大いに得られた・得られた」が73.5% (60.2%)、「あまり得られなかった・得られなかった」が26.5% (39.8%)であった。
- ③ 「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」及び「あまり得られなかった・得られなかった」理由としては、成果を活用する機会がないためという回答等があった。

表 追跡評価の結果

成果区分	評価者	回答率	質問	回答	
普及	生産者等	100.0%	成果の活用	現在も活用している	40.0%
				以前活用したが、今は活用していない	20.0%
				活用していない	40.0%
			成果の満足度	満足	20.0%
	概ね満足	40.0%			
	あまり満足できない	40.0%			
普及セ	100%	経営体での活用	その他	0.0%	
			よく活用されている	16.7%	
			活用されている	50.0%	
			あまり活用されていない	16.7%	
指導	普及セ	100%	指導上の参考	活用されていない	16.7%
				大いに参考になった	46.9%
				参考になった	46.9%
				あまり参考にならなかった	2.0%
			指導効果	参考にならなかった	4.1%
				大いに得られた	38.8%
				得られた	34.7%
				あまり得られなかった	12.2%
得られなかった	14.3%				

3 東北農業研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	畜産飼料作	計
研究成果数	2	2

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
畜産飼料作	日本短角種妊娠牛における乳汁中PAG濃度測定による分娩日の推定	普及	外山畜産
畜産飼料作	岩手県黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターと育種価の推定	研究	家畜育種

IV 試験研究成果の発表

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資 料 番 号 等	表 題 名	発行年月	総頁数
企画管理部 経営 R6-No.1	令和6年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	R7.3	45
生産基盤研究部 基盤 R5-No.2	令和4年度 試験研究成績書(生産システム研究室)	R6.3	100
園芸技術研究部 園芸 R6-No.3 園芸 R7-No.1 園芸 R6-No.2 園芸 R6-No.1	令和5年度 果樹関係試験研究成績書(果樹研究室) 令和6年度 野菜関係試験成績書(野菜研究室) 令和5年度 試験成績書(花き研究室) 令和5年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	R7.3 R7.6 R7.3 R7.3	180 400 79 81
生産環境研究部 環境 R6-No.2 環境 R3-No.1	令和5年度 試験成績書(土壌肥料研究室) 令和3年度 試験成績書(病理昆虫研究室) 斑点米カメムシ類の防除マニュアル 防虫ネットと天敵昆虫による施設トマトの虫害防止の実証	R7.2 R4.3 R7.3 R7.3	199 296 9 12
病虫害防除部	令和6年度 植物防疫事業年報	R7.3	220
畜産研究所 畜産 R6-No.1	令和6年度 試験成績書(畜産研究所)	R6.3	152
県北農業研究所 県北 R6-No.1 県北 R6-No.2 県北 R6-No.3	令和5年度 試験研究成績書(作物研究室) 令和4年度 試験研究成績書(作物研究室) 令和5年度 試験研究成績書(園芸研究室)	R6.9 R6.11 R6.12	135 198 142

2 研究レポート(令和6年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
1156	裂果や病害が少ない品種をお探しの方にお勧め！ 醸造用白色ぶどう品種「ヤマブラン」	果樹
1157	高温下でも着色しやすい切り花りんどうF1品種「いわてEB-5号」	花き
1158	越夏性に優れたペレニアルライグラス品種「夏ごしペレ」	家畜飼養・飼料
1159	黒毛和種県有基幹種雄牛「福(ふく)太郎(たろう)3」号及び「菊(きく)美(み)翔(しょう)平(へい)」号	種山畜産
1160	令和6年産水稻の作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
1161	リゾケアXLを用いた水稻湛水直播栽培の特徴	生産システム
1162	夏季高温年における稲体窒素栄養状態と白未熟粒の発生傾向	土壌肥料
1163	水田土壌に有機物を長期間連用することで、土壌中の可給態リン酸と全炭素量、全窒素量は増加する	土壌肥料
1164	水田土壌に有機物を長期連用することで、精玄米重と玄米タンパク質含有率は増加する	土壌肥料
1165	小麦品種「ゆきちから」は、茎立期追肥により精子実重が増加する	土壌肥料
1166	ダイズ紫斑病に効果が高いピリダクロメチル水和剤	病理昆虫
1167	樹勢が強い「シャインマスカット」に散布！ メピコートクロリド液剤で副梢の本数と管理時間が減少します	果樹
1168	おうとう「佐藤錦」の受粉樹となり、食味良好な「紅ゆたか」	果樹
1169	岩手県におけるブルーベリー品種の特性	果樹
1170	りんご幼木における急性衰弱症既発生園地での改植時の防除対策	果樹
1171	りんごJM台利用樹に発生する急性衰弱症の発生メカニズムと発生助長要因	病理昆虫
1172	リンゴ褐斑病と黒星病を同時防除できる「開花直前」の防除薬剤	病理昆虫
1173	近年におけるリンゴ炭疽病の多発要因と防除対策	病理昆虫
1174	きゅうりのハウス無加温長期どり作型の摘心栽培における低コスト環境制御技術導入による増収効果	野菜
1175	ピーマン軟腐病による軟化腐敗果の発生低減対策	野菜
1176	岩手県の雨よけ夏秋栽培におけるピーマン台木品種の病害抵抗性及び生育特性	野菜
1177	夏まきブロッコリーの加工業務用大型花蕾生産に適する定植時期と品種特性	野菜
1178	四季成り性いちご品種「夏のしずく」の夏秋どり栽培における最適な栽植距離	南部園芸
1179	夏ねぎ栽培では小菌核病と白絹病を効率的に防除しよう	病理昆虫
1180	トマトは品種によって白ぶくれ症被害果が少ないものがある	病理昆虫
1181	雨よけほうれんそうにおけるミスト噴霧による省力および増収効果	果樹・野菜(県北)

No.	試験研究成果名	担当研究室
1182	施設きゅうりの抑制作型における株元加温技術の導入効果	果樹・野菜(県北)
1183	りんどう晩生品種「いわて夢のぞみ(いわてLB-3号)」における千鳥疎植栽培の適用性	花き
1184	乳中脂肪酸のバランス可視化ツール	家畜飼養・飼料
1185	黒毛和種肥育牛への発酵TMR給与による出荷月齢の早期化と枝肉格付の向上	家畜育種
1186	飼料へのエゴマ油粕添加による南部かしわ鶏肉中 α -リノレン酸割合の向上技術	家畜育種
1187	日本短角種妊娠牛における乳汁中PAG濃度測定による分娩日の推定	外山畜産

3 学会等研究報告

(1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

東北農業研究

○藤澤真澄・佐々木 久彦 大豆・小麦出荷者の排水対策における意向と今後の対応方向—岩手県花北地域のアンケート調査結果より— 東北農業研究 77:115-116
○塚澤 龍太郎 水稻の初冬直播き栽培技術の経営的効果に関する考察—現地実証における経営体の取組事例から— 東北農業研究 77:117-118
○多田周平 雪害等によりハウスが利用できない場合の水稻露地プール育苗の留意点 東北農業研究 77:17-18
○佐々木俊洋 ブドウ‘シャインマスカット’における1回目ジベレリン処理後の果軸長調整による摘粒省力効果 東北農業研究 77:55-56
○松橋伊織 雨よけ夏秋栽培ピーマンにおける隔離床栽培の収量特性 東北農業研究 77:83-84
○小田島雅・佐々木忍1・星伸枝2 (1 岩手県農林水産部農業普及技術課、2 奥州農業改良普及センター) 高温遭遇時に発生するリンドウ着色障害の解析素材となる純系系統の特性 東北農業研究 77:105-106
○桐山直盛・佐々木俊祐・小野寺真由・横田紀雄 2023年夏季高温下における稲体窒素栄養条件と玄米品質の関係 東北農業研究 77:5-6
○高杉亘 南部かしわを玄米及び規格外大豆を混合した飼料で長期飼育した際の性別及び季節別の発育、産肉性及び肉色の特徴と収益性 東北農業研究 77:37-38
○荒谷祐介、齋藤浩和1 (1 久慈農業改良普及センター) 岩手県の乳用牛における分娩月の違いが産乳性に及ぼす影響 東北農業研究 77:39-40
中村 太紀 岩手県北地域におけるキュウリハイワイヤーつる下ろし栽培の実用性 東北農業研究 77:79-80

農村経済研究

藤澤真澄・前山薫 複数の集落営農法人が出資する広域連携法人の特徴と役割 農村経済研究42(2):38-48

北日本病害虫研究会報

猫塚修一 リンゴ黒星病に治療効果を有する各種殺菌剤を用いた花蕾着色期と開花直前の散布体系による防除効果 北日本病害虫研究会報 75:55-62
○大友令史・田村恵里佳1・菅野 夢・吉田雅紀2・飯村茂之3 (1 一関農林振興センター、2宮古農林振興センター、3 岩手植防) 温暖化に伴うアカスジカスミカメの発生動向 北日本病害虫研究会報 75:88-92
○田村恵里佳1・大友令史・後藤純子・菅野 夢・阿部誠矢2・武蔵康雄2・武田眞一2 (1 一関農林振興センター、2 全農いわて) 岩手県におけるイネドロオイムシ多発事例と防除対策 北日本病害虫研究会報 75:107-111
羽田厚 岩手県内で発生しているキャベツ根こぶ病菌の病原型および数種キャベツ品種の抵抗性評価 北日本病害虫研究会報 75:11-15

日本草地学会誌

高村聡美1、築城幹典2 (1現花巻農林振興センター、2 岩手大学) 除染草地におけるケイ酸カリ施用が土壌中カリウム供給能に及ぼす影響 日本草地学会誌 70(3):135-138(2024)

(2)学会発表(発表要旨)

第29回東北雑草研究会(2025.3.3開催、宮城県仙台市)

○高橋祐也 岩手県におけるトリフルラリン乳剤播種前土壌混和处理による帰化アサガオ類に対する除草効果と大豆への影響

園芸学会東北支部令和6年度大会(2024.8.26～27開催、盛岡市)

○遊佐公哉・浅川知則 ポスター発表 ブルーベリーにおける交互結実剪定法が果実生産および作業時間に及ぼす影響
○五十嵐廉 ポスター発表 いちごの夏秋どり栽培における「夏のしずく」の栽植距離の検討
○高橋大輔 小集会 北日本イチゴ研究会 報告 岩手県における「夏のしずく」の栽培技術開発

園芸学会 令和6年度秋季大会(2024.11.3～5開催、沖縄県中頭郡西原町・琉球大学千原キャンパス)

○松橋伊織 雨よけ夏秋ピーマン栽培における水および塩分ストレスが収量と尻腐果の発生に及ぼす影響 2024.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 23(別2): 183.
○赤坂尚生、中村太紀、小田島裕、藤尾拓也 雨よけハウスでのミスト加湿が夏秋ホウレンソウの生育に与える影響 2024.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 23 (別2):451

園芸学会 令和7年度春季大会(2025.3.20～21開催、神奈川県藤沢市・日本大学生物資源科学部)

○遊佐公哉1・小野 浩司1・河田 道子1・佐々木 俊洋1・高橋 藍2□ (1岩手農研セ, 2二戸農改普セ)□ りんごジョイント樹形における農薬散布量の削減と農業用無人車の病害虫防除利用の可能性□ 2025.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 24(別1):●
○熊谷初美1・藤尾拓也1・横田啓1,2 (1 岩手農研セ・2 現:農業普及技術課) 春まきタマネギにおける倒伏後から根切りまでの日数が細菌性腐敗の発生に及ぼす影響 2025.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 24(別1): ●.
○小田島裕・藤尾拓也・山田修 キュウリの夏秋長期どり作型における植物群落内への二酸化炭素局所施用が果実収量に及ぼす影響 2025.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 24(別1): ●.
○中村太紀・赤坂尚生 夏秋どり施設栽培きゅうりにおいて株元加温技術が生育および収量に与える影響 2025.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 23(別1):●

第77回北日本病害虫研究発表会 講演要旨(2024.2.21～22 トークネットホール仙台、北日本病害虫研究会報75)

○大友令史・田村恵里佳・菅野 夢・吉田雅紀・飯村茂之3 (1 岩手防除所、2 岩手農研セ、3 岩手植防) 温暖化に伴うアカスジカスミカメの発生動向
○廣田志紀子1・鵜形幸平1・村上珠利2・細川 健3 (1 岩手防除所、2 岩手農研セ、3 岩手県農林水産部) 2023年岩手県におけるトマトキバガの発生事例
○田村恵里佳1・大友令史1・後藤純子1・菅野 夢1・阿部誠矢2・武蔵康雄2・武田眞一2 (1 岩手防除所、2 全農いわて) 岩手県におけるイネドロオイムシ多発事例と多発圃場での防除対策
○佐藤 優1・及川優介1・鈴木敏男2 (1 岩手防除所、2 岩手植防) 岩手県におけるリンゴ園地のナミハダニに対する殺ダニ剤の効果
○及川優介1・鈴木敏男2 (1 岩手防除所、2 岩手植防) 令和4年のキンモンホソガの秋期多発を受け、今年の発生はどうなったのか
○鵜形幸平1・廣田志紀子1・村上珠利2・細川 健3 (1 岩手防除所、2 岩手農研セ、3 岩手県農林水産部) 岩手県の圃場で発生したトマトキバガの特徴
○村上珠利・廣田志紀子1・鵜形幸平1・細川 健2 (1 岩手防除所、2 岩手県農業技術普及課) キルパーはトマトキバガ蔓延防止対策として有効か? ～被害残渣処理方法の検討～

日本育種学会第147回講演会(2025.3.20～21)

高砂ほのか・寺田道一・吉津祐貴・渡邊麻由子 他 水稻品種『ひとめぼれ』に集積した収量関連遺伝子領域の効果と多収系統の育成 日本育種学会第147回講演会要旨集, 2025年3月

第259回日本作物学会講演会(2025.3.28～29)

高砂ほのか共著 自然条件のイネ蒔長に関わるDNAマーカーを用いた耐冷性品種の選抜 日本作物学会第259回講演会要旨集, 2025年3月
高砂ほのか共著 QTL mapping of agronomic traits of rice using QTL-seq in the Ethiopian cultivar ‘X-Jigna’ × Japanese elite cultivar ‘Hitomebore’ 日本作物学会第259回講演会要旨集, 2025年3月

日本土壌肥料学会(2024年度福岡大会:2024.9.3～5開催、福岡国際会議場)

○桐山直盛・多田勝郎・横田紀雄 速効性肥料施用後の畑期間が水稻の生育・収量に及ぼす影響 日本土壌肥料学会講演要旨集 (70) 130:P7-1-14
○小野寺真由・横田紀雄 リン酸肥沃度及び施肥量が春まきタマネギのリン酸吸収に及ぼす影響と生育・収量との関係解析 日本土壌肥料学会講演要旨集 (70) 112:P6-2-15
○佐々木俊祐 茎立期追肥がコムギ品種「ゆきちから」の生育・収量に及ぼす影響 日本土壌肥料学会講演要旨集 (70) 123:7-1-13
○中村乾1・加藤英孝1・山口紀子1・馬場浩司2・鈴木克拓3・白木正俊4・佐々木俊祐4・島上卓也5・曾根原寛和5・安藤 薫6□ ・日置雅之6・田中雄一6・遠山孝通6・薄井雄太7・松下みどり8・西川英輝8・土田 駿8・本間利光9・中田 均10・楠田理恵11 (1 農研機構農環研・2 農研機構分析研・3 農研機構中農研・4 岩手農研・5 長野農試・6 愛知農総試・7 秋田農試・8 千葉農林総研・9 新潟農総研・10 富山農林総技セ・滋賀農技振セ) 出穂期前後に4日間連続して圃場を乾かす落水を1回行うことによる玄米中無機ヒ素低減効果 日本土壌肥料学会講演要旨集 (70) 3:1-1-8
○望月賢太・古賀信久・熊谷 聡・谷川法聖・小野寺真由・中川進平・遠藤佳那子・吉澤克憲・窪田成美・宮吉沙知・高橋萌会 ・栗林将也・大橋祥範・廣瀬亮太郎・平野温子・有吉真知子・平山裕介・中川路晴香・前上門陽 有機質資材利用による化学肥料30%減肥を目指した全国規模での栽培実証試験 日本土壌肥料学会講演要旨集 (70) 132:P7-1-20

EBC研究会ワークショップ2024 (2024.9.12～13開催、東京農業大学厚木キャンパス)

○猫塚修一 リング褐斑病の開花期感染が広域的な発生に及ぼす影響

第33回天敵利用研究会岩手大会 (2024.12.9～10開催、いわて県民情報交流センター(アイーナ))

○村上珠利 施設ピーマン栽培におけるスワルスキーカブリダニとクロヒョウタンカスミカメの併用によるアザミウマ類密度低減効果の検討
○加藤真城、吉田優里 岩手県で下草の高刈り管理を継続する現地リング園におけるハダニ類、カブリダニ類の発生状況

第78回北日本病害虫研究発表会 (2025.2.20～21開催、リンクモア平安閣市民ホール(青森市民会館)、北日本病害虫研究会報.76:印刷中)

○八桁直輝、岩館康哉、西村穂花1 (1 札幌市) 岩手県で発生したコムギなまぐさ黒穂病について
○中村太紀、武藤和夫1、岡本淳1 (1 ミネックス㈱) 岩手県における土壌pH7.5矯正に要する転炉スラグ投入量の簡易推定法の実用性
○村上珠利 夏秋栽培トマトにおけるヒラズハナアザミウマによる果実の白ぶくれ症被害果率の品種間差異
○佐藤優1、猫塚修一 (1 病害虫防除所) 岩手県におけるリンゴ炭疽病の多発要因の解析

第69回日本応用動物昆虫学会 小集会 話題提供 (2025.3.20～22開催、幕張メッセ(千葉市))

○大友令史・吉田雅紀1 (1宮古農林振興センター) 東北地区における斑点米カメムシ類の発生動向及び防除対策

令和7年度日本植物病理学会大会 (2025.3.26～28開催、香川県サンポート香川)

○羽田厚1・清水元樹2・畠山勝徳3 (1岩手農研せ県北、2岩手生工研、3岩手大農) 岩手県内で発生しているキャベツ根こぶ病菌に対する数種キャベツ品種の抵抗性評価
--

東北畜産学会 第73回青森大会 (2024.8.28～29開催、青森県民福祉プラザ)

○池原遊人・茂呂勇悦 尿試験紙を活用した黒毛和種繁殖雌牛における分娩後の子宮回復遅延牛の簡易判定技術 東北畜産学会報 74(2) 第73回大会号
○大森祐一郎・荒木田しず子・山口直己・吉田力1・築城幹典2 無人航空機(ドローン)を用いた大規模放牧地における効率的植生診断技術 (1元岩手畜研、2岩手大学) 東北畜産学会報 74(2) 第73回大会号

4 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

季刊地域No.59 現代農業2024年11月号増刊(一般社団法人 農山漁村文化協会)

吉田宏

「イブキジャコウソウの特性と栽植・管理の仕方」

2024年11月発行, 34-35

グリーンレポート(全国農業協同組合連合会)

遊佐公哉

わい化密植栽培におけるかん水を利用したポット養成フェザー苗の生育促進

JA全農 耕種総合対策部, アグリ情報室, No.670, 2025年4月号(掲載予定)

松橋伊織,岩館康哉

「転炉スラグを用いた土壌pH改良によるピーマン青枯病の被害軽減効果」

JA全農 耕種総合対策部, アグリ情報室, No.662, 2024年8月号, 12-13

吉田優里

土着天敵のカブリダニ類を保護するりんご園地の下草管理方法

JA全農 耕種総合対策部, アグリ情報室, No.664, 2024年10月号, 10-11

農業技術体系 作物編(一般社団法人 農山漁村文化協会)

佐々木俊祐

「寒冷地秋まきコムギの緑肥利用と効果」

第4巻 施肥と土壌管理 技174の1の10-15

最新農業技術(一般社団法人 農山漁村文化協会)

佐々木俊祐

「ダイズに適した緑肥選びと導入効果」

「牛糞堆肥施用と可給態窒素に応じたダイズの肥料低減」

みんなの有機農業大辞典(一般社団法人 農山漁村文化協会)

佐々木俊祐

「ダイズに適した緑肥選びと導入効果」

「寒冷地秋まきコムギの緑肥利用と効果」

植物防疫(一般社団法人 日本植物防疫協会)

藤沢巧1、中野央子2、佐藤陽菜3、西村穂花4、岩館康哉、熊谷拓哉 (1 岩手県植物防疫協会、2 奥州農業改良普及センター、3 中部農業改良普及センター西和賀普及サブセンター、4 札幌市) マルチローターによるダイズ病害虫に対する防除効果 2024年 第78巻第8号
猫塚修一 気象データを用いたリンゴ褐斑病の一次感染開始日と初発日の推定 2024年 第78巻第8号
岩館康哉 ディアポルテ(ホモプシス)属菌による草本植物の病害 -その例外的存在のウリ科野菜ホモプシス根腐病- 2025年 第79巻5号掲載予定
大友 令史 巻頭言「人材育成の重要性」 2025年3月号(Vol.79) 1p

果実日本(日本園芸農業協同組合連合会)

吉田優里 果樹害虫の最近の動向と防除策～岩手県におけるリンゴ害虫の発生動向と防除対策～ 2025年5月号掲載予定
--

植物防疫(一般社団法人 日本植物防疫協会)

大友 令史 巻頭言「人材育成の重要性」 2025年3月号(Vol.79) 1p

(2) 岩手の畜産(令和6年5月号～令和7年3月号)

5月号	齋藤 浩和	岩手県の乳用牛における夏期分娩への集中と産乳性への影響
7月号	佐々木 優希	現場後代検定で県歴代最高成績の黒毛和種種雄牛「福太郎3」号、「菊美翔平」号が堂々デビュー
9月号	齋藤 桜花	日本短角種種雄牛配置シミュレーションを現地で容易にできる近交係数集計シート
11月号	渡邊 すみれ	飼料用トウモロコシ晩生優良品種「スノーデント118R(SH5702)」
1月号	池原 遊人	尿試験紙を活用した黒毛和種繁殖雌牛における分娩後の子宮回復遅延牛の簡易判定技術
3月号	工藤 祝子	畜産経営発展に寄与できる技術研究開発を担って(巻頭言「畜産春秋」)
3月号	新井 勇児	日本短角種妊娠牛における乳汁中PAG濃度測定による分娩日の推定

5 新聞等掲載

部所名	記 事 見 出 し	掲載紙	掲載年月日
企画管理部			
	研究企画室		
	地域農業に触れて 北上・県農研セ 一般公開デー 新品種試食も	岩手日日新聞	R6.9.10
	農業経営研究室		
	(なし)		
	総務課		
	交通事故・違反根絶へ誓約書 北上・県農研セ	岩手日日新聞	R6.6.16
	農業科学博物館		
	大正期の土性調査紹介 農業科学博物館企画展 測定器具や報告書	岩手日日新聞	R6.8.20
	昭和中期の工夫紹介 農業科学博物館企画展 「むかしといまの米づくり」	岩手日日新聞	R6.10.20
生産基盤研究部			
	水田利用研究室		
	特集・豆腐ふふふ 豆腐県そのルーツ(特集記事の一部)	岩手日報Monthly Report	R6.11.28
園芸技術研究部			
	野菜研究室		
	秋まきマタネギ品種審査会 種苗メーカーが意見交換・北上	岩手日日新聞	R6.7.28
	第75回野菜品種審査会・岩手県農研センター タマネギ(秋まき・晩生) 1等特「イエロードロップ」(カネコ種苗)	日本種苗新聞	R6.9.1
	花き研究室		
	三浦さん(八幡平)大臣賞 JA全農いわて フラワーコンテスト審査会	岩手日日新聞	R6.8.31
生産環境研究部			
	病理昆虫研究室		
	現場で使えるみどり技術「リンゴ園の下草刈りでハダニ防除」	日本農業新聞	R6.8.29
	病虫害図鑑「リンゴ褐斑病」	日本農業新聞	R7.3.4
病虫害防除部			
	病虫害防除課		
	農薬の安全使用徹底を 県危害防止運動出発式	岩手日日	R6.6.16
畜産研究所			
	種山畜産研究室		
	岩手県有種雄牛に2頭	日本農業新聞	R6.3.27
	県有種雄牛に奥州産2頭	胆江日日	R6.3.30
	奥州市産、菊美翔平と福太郎3 県有種雄牛に選抜	岩手日日	R6.4.3
	歴代最高 種雄牛新エース	岩手日報	R6.5.1
	和牛界MVPめざせ「翔平」	朝日新聞	R6.6.25
	同郷のうしの「翔平」の歴代最高を記録 ストイックな生活で驚異の能力	朝日新聞DIGITAL	R6.6.10

部所名	記 事 見 出 し	掲載紙	掲載年月日
県北農業研究所			
	果樹・野菜研究室		
	生食用桃、極寒地でも 岩手県、温暖化を奇貨に 研究体制を強化	日本農業新聞	R6.6.25
	作物研究室		
	新品種岩手141号育ち「良好」久慈と野田で見学会	岩手日報	R6.8.30
	独自品種「岩手141号」野田で稲刈り 生産者ら出来に手応え 県北向け「特性十分発揮」	デーリー東北	R6.9.25
	県北向け 寒さに強い水稻品種 来年度から生産可能に 久慈で関係者説明会	岩手日報	R6.11.29
	岩手県北向け水稻新品種説明会「岩手141号」食味好評	デーリー東北	R6.11.29
	「岩手141号」理解深める 水稻新品種、生産者ら試食	岩手日報	R6.12.22
	岩手県北待望の新品種 「岩手141号」今春から栽培本格化 「白さ」「粒の大きさ」際立つ	デーリー東北	R7.1.1
	25年度デビュー県独自コメ品種名「白銀のひかり」に 県北向け、ブランド確立へ	岩手日報	R7.1.25
	新品種米「白銀のひかり」 岩手県北向け、名称決定	デーリー東北	R7.1.25

6 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部	交通事故・違反根絶へ誓約書を提出 農研セ・北上警察署へ	北上ケーブルテレビ	R6.6.11	有
病虫害防除部	カメムシ多発で県が注意報 畦畔の草刈りを呼びかけ	NHK総合	R6.8.1	有
病虫害防除部	カメムシ多発で県が注意報 本田の薬剤散布を呼びかけ	NHK総合	R6.8.9	有
家畜育種研究室	岩手地鶏と南部かしわについて	岩手朝日テレビ (天津木村のへえ～)	R6.10.18	有
県北農業研究所	”白銀のひかり”県北地域向け米の新品種の名称決定	NHK	R7.1.24	農産園芸課

(2) ラジオ

部所名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部	農業科学博物館第91回企画展「いわての土性調査～農地の土壌改良や施肥改善に向けた土性調査のはじまり」	IBC	R6.5.24	無
企画管理部	農業科学博物館第92回企画展「むかしといまの米づくり」	IBC	R6.10.8	無
企画管理部	農業科学博物館第93回企画展「「小麦農林10号」生誕90年」	IBC	R7.3.25	無

7 指導資料等掲載

部所・研究室名	タ イ ト ル	掲載資料名	発行年月
企画管理部 農業経営研究室	生産技術体系	令和7年度野菜栽培技術指針	R7.3
生産基盤研究部 水田利用研究室	雑草防除(水稲)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	雑草防除(畑作物)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
園芸技術研究部 果樹研究室	雑草防除及び成長調整剤(果樹)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
野菜研究室	雑草防除及び成長調整剤(野菜)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	V 環境制御技術	令和7年度野菜栽培技術指針	R7.3
花き研究室	雑草防除及び成長調整剤(花き)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
生産環境研究部 土壌肥料研究室	いわてアグリフロンティアスクール講義資料「土壌管理(土壌・肥料)」	植物の栄養と土、岩手県における環境にやさしい土壌施肥管理技術	R6.6.25
病理昆虫研究室	防除指導資料(水稲・畑作物病害、資材消毒、展着剤の利用)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	防除指導資料(水稲・畑作物害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	防除指導資料(野菜病害)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	防除指導資料(野菜害虫、生物農薬)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	防除指導資料(果樹・花き病害)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	防除指導資料(果樹・花き害虫)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	病虫害対策(野菜)	令和6年度野菜栽培技術指針	R7.3
	病虫害対策(野菜)	令和6年度野菜栽培技術指針	R7.3

部所・研究室名	タ イ ト ル	掲載資料名	発行年月
病虫害防除部 病虫害防除課	農薬の安全使用について	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	防除指導資料(牧草・飼料作物)	令和7年度岩手県農作物病虫害・雑草防除に関する技術資料	R7.3
	飼料作物優良品種特性表	牧草・飼料作物生産利用指針	R7.3予定
	岩手県における乳用牛群検定成績	岩手県における乳用牛群検定成績のまとめ～令和5年度～	R7.3予定
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和6年3月(全県版、市町村版)	R6.4
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和6年5月(全県版、市町村版)	R6.6
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和6年7月(全県版、市町村版)	R6.8
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和6年11月(全県版、市町村版)	R6.12
	夏季のエサ変敗防止対策	2025酪農技術カレンダー	R6.12
家畜育種研究室	黒毛和種肥育牛の肥育前期発酵TMR給与マニュアル	岩手県農業研究センターホームページ「成果マニュアル・報告書一覧」	R7.3
外山畜産研究室	無人航空機(ドローン)を用いた放牧地における植生診断技術 機械学習による解析の手順	岩手県農業研究センターホームページ 令和5年度試験研究成果書 補足資料	R6.7
種山畜産研究室	令和6年度 岩手県黒毛和種 種雄牛案内	令和5年度の新規基幹種雄牛を含む凍結精液を供給している県有種雄牛の紹介資料	R6.11

8 ホームページ

(1) 記事入力件数

項 目	入力件数	内 訳
研究レポート	32	令和6年度発行分(No.1156～1187)
試験研究成果	32	令和6年度試験研究成果書、動画でわかる研究成果(令和3～5年度)
らぼ・れたあ	85	No. 1～85(研究室だより)
行事予定	2	一般公開デー、研究成果発表会
各種資料	12	令和5年度業務年報、各種成果マニュアル
農業科学博物館	8	企画展第91～93回開催案内、臨時休館日案内、農業ふれあい公園だより No.32

(2) アクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
トップページ	1,372	1,641	1,493	1,645	1,985	2,248	1,595	1,368	1,085	1,079	1,224	1,240	17,975
総ページビュー	13,171	17,726	17,003	17,192	17,010	18,643	17,695	15,264	11,973	10,844	14,083	11,851	182,455

9 SNS(X(旧Twitter)、Facebook)

(1) X(旧Twitter)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ポスト数	26	29	30	40	37	49	33	36	19	18	27	17	361
フォロワー純増数	-2	1	-4	6	14	3	-11	5	-10	1	7	-9	1
ツイートインプレッション	5,917	10,546	5,385	9,467	12,679	15,920	6,295	9,452	3,514	3,111	7,032	4,385	93,703
エンゲージメント数	183	292	246	387	514	784	300	286	117	121	284	242	3,756

(2) Facebook

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
投稿記事数	19	16	20	26	28	31	19	19	11	5	12	12	218
新規フォロワー数	17	10	1	8	6	3	5	52	13	12	4	11	142
閲覧数	3,630	3,278	3,601	4,544	3,248	4,473	4,783	5,031	3,284	2,115	3,172	4,247	45,406
いいね！及びリアクション	99	86	72	108	125	187	105	72	75	19	38	51	1,037

10 研究室だより

(1) らぼ・れたあ

発行日	標題	部所名
R6.4.26	野菜の夏秋栽培試験苗の定植ピークを迎えています	園芸技術研究部 野菜研究室
R6.5.9	きゅうりの生育診断&低コスト暖房の試験を開始しています！	県北農業研究所 果樹・野菜研究室
R6.5.10	県北農業研究所で果樹の研究をスタートしました！	県北農業研究所 果樹・野菜研究室
R6.5.13	地下かんがいシステムの営農実証試験において補助暗渠を設置しました！	生産基盤研究部 水田利用研究室
R6.5.15	夏いちごの試験、今年の収穫が始まりました！	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R6.6.6	総合的な学習で岩手の畜産を研究 ～ 筑波大学付属駒場中学校の生徒による取材を受けました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.6.10	生産者を支える寄託放牧事業について紹介します	畜産研究所 外山畜産研究室
R6.6.10	日本短角種の2シーズン放牧試験に取り組み始めました	畜産研究所 外山畜産研究室
R6.6.13	種雄牛選抜の最終関門 ～「産肉能力検定(現場後代検定法)」がスタート(前編)	畜産研究所 種山畜産研究室
R6.6.13	種雄牛選抜の最終関門 ～「産肉能力検定(現場後代検定法)」がスタート(後編)	畜産研究所 種山畜産研究室
R6.6.17	交通事故・違反の根絶に向けた取組について	企画管理部 総務課
R6.6.25	令和6年度農薬危害防止運動出発式を開催！	病害虫防除部 病害虫防除課
R6.6.25	みんな大好き！「シャインマスカット」の研究もしています！ ～ 1回目ジベレリン処理後の果軸長調整を行いました	園芸技術研究部 果樹研究室
R6.6.26	きゅうりの生育診断ツール開発に向け現地調査に取り組んでいます！	県北農業研究所 果樹・野菜研究室
R6.6.26	甘味が強くみつたつぷりの高品質ブランド「冬恋」を目指して「はるか」の袋掛けを行いました	園芸技術研究部 果樹研究室
R6.7.3	令和6年度新採用職員の八桁直輝技師を紹介します	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R6.7.3	水稻新品種「岩手141号」の普及に向けた栽培研修会が開催されました	県北農業研究所 作物研究室
R6.7.5	ペースト肥料側条二段施肥で減肥＋脱ブラを実現！…に向けた試験をしています	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R6.7.8	県立農業大学校生の校外研修を受け入れました	畜産研究所
R6.7.16	未来のりんどう新品種候補を定植しました	園芸技術研究部 花き研究室
R6.7.16	自動操舵トラクターによる大豆中耕培土を行いました	生産基盤研究部 生産システム研究室
R6.7.17	快晴の沖縄県で稲の選抜を行いました	生産基盤研究部 作物育種研究室
R6.7.25	「農薬適正販売・使用研修会」を開催しました！	病害虫防除部 病害虫防除課
R6.7.25	未来の研究員へ ～ 岩手大学農学部生の視察を受け入れました	企画管理部 研究企画室
R6.8.1	りんどう新品種の候補たちが咲いています！	園芸技術研究部 花き研究室
R6.8.1	タマネギ品種審査会(秋まき晩生)が開催されました	園芸技術研究部 野菜研究室
R6.8.1	農業普及員の専門技術基本研修を受け入れました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.8.2	日本短角種種雄牛候補としての第一歩！本年度の予備選抜が終了しました	畜産研究所 家畜育種研究室
R6.8.6	緑肥による化学肥料低減にむけて ～ 緑肥の鋤き込み・キャベツの定植を行いました	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R6.8.19	県北地域の雑穀は順調に生育しています！	県北農業研究所 作物研究室
R6.8.19	雨にも夏の暑さにも負けず ～ 2番草の収穫が始まりました！	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.8.19	奥州地域のピーマンでのモニタリングデータ活用スタディクラブ	企画管理部 農業経営研究室
R6.8.28	種雄牛選抜の最終関門に挑む3頭が決定 ～ 令和8年度開始現場後代検定牛が選抜されました	畜産研究所 種山畜産研究室
R6.8.28	夏秋いちご「夏のしずく」の試験を行っています！	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R6.8.29	令和6年度畜産研究所参観デーを開催しました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.9.3	園芸学会東北支部令和6年度大会でセンター職員が大活躍！	園芸技術研究部 野菜研究室

発行日	標題	部所名
R6.9.3	乳用牛群検定情報分析センターの業務内容を紹介します！	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.9.3	農業研究センター総合消防訓練を行いました	企画管理部 総務課
R6.9.12	小向昌啓(前)専門研究員が東北農業経済学会で学会賞を受賞	企画管理部 農業経営研究室
R6.9.17	令和6年度一般公開デー開催！	企画管理部 研究企画室
R6.9.18	「越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発」の現地検討会が開催されました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.9.19	作業技術研究会(夏期)が岩手県で開催されました	生産基盤研究部 生産システム研究室
R6.9.20	本県育成のりんご品種「紅いわて」の収穫が始まりました	園芸技術研究部 果樹研究室
R6.9.25	水稻種子の安定供給に向けて適期刈り取りを行っています！	生産基盤研究部 生産システム研究室
R6.9.26	未来の畜産を担う後継者育成に向けて ～ 農業大学校の学生研修を受け入れ	畜産研究所 外山畜産研究室
R6.9.26	今年の米の品質は？水稻作況調査ほ場の収穫が終わりました	生産基盤研究部 生産システム研究室
R6.9.30	岩手の畜産を担う受精卵移植師のタマゴを送り出しました！	畜産研究所 家畜育種研究室
R6.10.1	普及組織のパワーアップを応援します ～ 専門技術基本研修(野菜)に協力しました	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R6.10.8	精農は土をつくる ～ 毎年恒例の土壌調査が始まりました！	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R6.10.8	小学生と考える歴史ミステリー4 ～ 総合的な学習の時間『『二子いも』のルーツを学ぶ 2024』	企画管理部 研究企画室
R6.10.9	年の暑さにもマケヌほうれんそう栽培の実現に向けて！	県北農業研究所 果樹・野菜研究室
R6.10.10	作物栽培は面白い！～ 新採用職員を紹介します	県北農業研究所 作物研究室
R6.10.15	飼料用トウモロコシ品種特性試験の収量調査を行いました！withインターン生	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.10.23	夏秋いちご「夏のしずく」は現在も収穫が続いています！	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R6.10.23	飼料用トウモロコシの収穫作業が終了しました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.10.24	田んぼの上にも27年？～ 有機物連用試験結果を取りまとめ中！	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R6.10.25	地元中学生の職場体験学習を受入れました！	県北農業研究所
R6.10.30	家畜防疫の所内研修を行いました	畜産研究所 家畜育種研究室
R6.10.31	令和6年度第1回岩手県農業研究センター所長表彰を行いました	企画管理部 研究企画室
R6.11.1	全国に県有種雄牛を情報発信 ～ 県職員YouTuber「菊美翔平」	畜産研究所 種山畜産研究室
R6.11.7	家畜への感謝・慰霊の気持ちを込めて「畜霊祭」を開催しました	畜産研究所 総務課
R6.11.20	搾乳牛の日内行動パターンを5分間隔で調査 ～ 繋ぎ飼ひ牛舎におけるTMR給与方法の確立に向けて	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R6.11.20	JICA海外研修員の課題別研修を受け入れました	畜産研究所
R6.11.21	牛肉の小ザシを数値化しました ～ 第68回岩手県畜産共進会(肉牛の部)	畜産研究所 家畜育種研究室
R6.11.25	「農業アドバイザー更新研修」を開催しました！	病虫害防除部 病虫害防除課
R6.11.25	将来の活躍が期待される日本大学の学生の研修を受け入れました	畜産研究所 外山畜産研究室
R6.11.26	一季成り性いちご品種の開花が始まりました！	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R6.11.26	「岩手県植物防疫関係者技術研修会」で発表しました	病虫害防除部 病虫害防除課
R6.12.3	水稻新品種「岩手141号」の説明会が開催されました	県北農業研究所 作物研究室
R6.12.5	沖縄県での2期作目の稲の選抜を実施しました	生産基盤研究部 作物育種研究室
R6.12.25	北東北で初！天敵利用研究会が岩手県で開催されました	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R6.12.25	岩手県農業研究センター交通安全研修を行いました	企画管理部 総務課
R6.12.26	早くも頭角を現した「久隆照」号！～ 令和6年現場後代検定期枝肉調査会	畜産研究所 種山畜産研究室
R7.1.6	水稻品種の系統と原原種の選抜を行いました	生産基盤研究部 生産システム研究室
R7.1.30	大豆・小麦の効果的な排水対策の普及に向けて	企画管理部 農業経営研究室
R7.2.5	県北地域でスマート農業が進んでいます	県北農業研究所 作物研究室
R7.2.6	土壌肥料研究をスピードアップ！～ 全炭素全窒素の分析機械を新しくしました	生産環境研究部 土壌肥料研究室

発行日	標題	部所名
R7.2.6	りんご生産者のスキルアップに向けて病害虫防除の研修を行いました！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R7.2.7	令和7年度ホップ栽培暦検討会が開催されました	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R7.2.7	新採用1年目の経験とこれからの意気込み	県北農業研究所 作物研究室
R7.2.7	研究員の資質向上！脱炭素、カーボンクレジットの取組を学ぼう！～農業研究センター全体研修会を行いました	企画管理部 研究企画室
R7.2.14	「小麦農林10号」企画展の準備中です	生産基盤研究部
R7.3.12	第78回北日本病害虫研究発表会が青森県で開催。次回開催は岩手県。	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R7.3.14	令和6年度第2回岩手県農業研究センター所長表彰を行いました	企画管理部 研究企画室
R7.3.18	雑穀を効率的に収穫するコンバインを開発しました	県北農業研究所 作物研究室

(計85件)

(2) ふおとらぼ

発行日	標題(内容)	部所名
R6.4.10	(農業科学博物館「科学技術週間」入館無料)	企画管理部 研究企画室
R6.4.16	(農業ふれあい公園内の桜とコブシが開花中)	企画管理部 研究企画室
R6.4.23	(農業科学博物館 鯉のぼり&武者人形展示中)	企画管理部 研究企画室
R6.5.15	「小麦の赤かび病防除」	生産基盤研究部 水田利用研究室
R6.6.18	(農業科学博物館「押し花しおり作り体験」開催中)	企画管理部 研究企画室
R6.7.8	(農業科学博物館・七夕飾り設置)	企画管理部 研究企画室
R6.7.10	「小麦の収穫作業を実施しました」	生産基盤研究部 水田利用研究室
R6.8.19	(水稻肥料試験・ドローン空撮)	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R6.8.20	(「一般公開デー2024」開催案内)	企画管理部 研究企画室
R6.8.20	(農業科学博物館・カイコを飼育展示中)	企画管理部 研究企画室
R6.9.6	「大豆の新たな薬剤を農薬登録するための試験を行っています！」	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R6.9.6	(ドイツ連邦ユリウス・クーン研究所のアネッタ博士が来訪)	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R6.9.7	一般公開デー2024①(えだまめ収穫体験開催案内)	園芸技術研究部 野菜研究室
R6.9.7	一般公開デー2024②(「もちまき」大好評のうちに終了)	企画管理部 研究企画室
R6.9.7	一般公開デー2024③(場内農産物販売)	園芸技術研究部
R6.9.7	一般公開デー2024④(「いわてのお米食べ比べ」コーナー)	生産基盤研究部
R6.9.7	一般公開デー2024⑤(農業科学博物館「農の生け花展」開催中)	企画管理部 研究企画室
R6.9.7	一般公開デー2024⑥(農業科学博物館「まゆ細工&繰り糸体験」開催中)	企画管理部 研究企画室
R6.9.7	一般公開デー2024⑦(公開デー終了案内)	企画管理部 研究企画室
R6.10.4	(農業科学博物館・公園内の木の実が実っています)	企画管理部 研究企画室
R6.10.16	「優良小麦種子の生産に向けて～小麦原種の播種作業を実施しました」	生産基盤研究部 水田利用研究室
R6.10.22	(農業科学博物館・「東北文化の日」協賛事業について)	企画管理部 研究企画室
R6.11.25	(農業科学博物館・「木の実のハンドメイドコーナー」設置)	企画管理部 研究企画室
R6.12.3	「いわてまるごと科学館に参加しました」	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R7.1.21	(農業科学博物館・「みずき団子」など縁起物飾りを展示)	企画管理部 研究企画室

(計25件)

V 指導・啓発活動

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
農産園芸課主催				
生産基盤研究部 水田利用研究室 病虫害防除部	R6.4.9	北上市 (農業研究センター)	令和6年度第1回小麦赤かび病発生防止対策強化会議	116名
生産基盤研究部 水田利用研究室	R6.8.29	北上市 (農業研究センター)	令和6年度大豆栽培指導研修会	28名
生産基盤研究部 水田利用研究室	R6.7.5	北上市 (農業研究センター)	令和6年度第1回稲作技術対策会議 ・水稻の生育状況と今後の技術対策	136名
生産システム研究室	R6.12.17	軽米町 (県北農業研究所)	令和6年度第2回稲作技術対策会議 ・水稻の作柄要因解析 ・高温対策の検証と令和6年度の栽培上の注意点	143名
生産環境研究部 土壌肥料研究室 県北農業研究所 作物研究室 病虫害防除部				
生産基盤研究部 生産システム研究室	R6.4.11	奥州市(奥州合庁)	令和6年度第1回金色の風栽培研究会役員会	20名
	R6.8.7	奥州市(奥州合庁)	令和5年度第2回金色の風栽培研究会役員会	22名
	R7.2.3	奥州市(奥州合庁)	令和6年度第3回金色の風栽培研究会役員会	22名
	R6.8.7	北上市 (農業研究センター)	令和6年度第2回銀河のしずく栽培研究会役員会	45名
	R7.2.5	紫波町(JAいわて中 央紫波支所)	令和6年度第3回銀河のしずく栽培研究会役員会	50名
農業普及技術課主催				
生産基盤研究部 生産システム研究室	R6.8.23	滝沢市 (アピオ)	令和6年度データ駆動型農業推進事業技術交流会(ドロー ン多目的利用)	87名
園芸技術研究部 果樹研究室	R6.4.12	北上市 (農業研究センター)	岩手県果樹凍霜害防止連絡会議 ・凍霜害防止対策の取り組みについて	60名
園芸技術研究部 野菜研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R6.10.16	軽米町、二戸市 (現地は場)	令和6年度普及指導員調査研究「施設野菜における環境制 御技術等の効果的な活用方法の検討」中間検討会及び現 地検討会(きゅうり)	17名
園芸技術研究部 野菜研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R7.3.12	北上市 (農業研究センター)	令和6年度野菜関係調査研究成果検討会	36名

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
農業普及技術課主催(つづき)				
企画管理部 農業経営研究室 園芸技術研究部 野菜研究室 南部園芸研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R7.1.29	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(野菜)	33名
【新技術・普及活動検討会】(農業普及技術課主催)				
企画管理部 農業経営研究室	R7.2.17	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(経営)	13名
園芸技術研究部 果樹研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R7.1.21	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(果樹)	30名
企画管理部 農業経営研究室 園芸技術研究部 野菜研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R7.1.29	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(野菜)	33名
園芸技術研究部 花き研究室	R7.2.3	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(花き)	26名
企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室 病虫害防除部 病虫害防除課 県北農業研究所 作物研究室	R7.1.31	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(作物)	26名
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室 種山畜産研究室	R7.2.12	北上市 (農業研究センター) web併用開催	令和6年度新技術・普及活動検討会(畜産)	22名

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
【普及指導員専門技術研修】(農業普及技術課主催)				
企画管理部 農業経営研究室	R6.5.30	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ)	6名
生産基盤研究部 水田利用研究室	R6.6.19～20 R6.8.22 R6.10.10 R6.11.13	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ) " (作物Ⅱ) " (作物Ⅲ) " (作物Ⅳ)	各2名
生産システム研究室	R6.6.19～20 R6.10.10～11	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ) " (作物Ⅲ)	各2名
	R6.8.30	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	4名
作物育種研究室	R6.8.22	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)	4名
	R6.11.13	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	4名
園芸技術研究部 果樹研究室	R7.3.12 R7.3.13	北上市 (農業研究センター) 北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(りんご 第Ⅲ期) スペシャリスト養成研修(地域特産果樹 第Ⅲ期)	3名 2名
野菜研究室	R6.5.30～31	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅰ期)	7名
	R6.8.30	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅲ期)	7名
南部園芸研究室	R6.9.25	陸前高田市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜 第Ⅳ期)	7名
生産環境研究部 土壌肥料研究室	R6.9.24～26 R6.9.24 R6.9.24 R6.11.5	北上市 (農業研究センター) 北上市 (農業研究センター) 北上市 (農業研究センター) 北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅳ) 普及指導員専門技術基本研修(花きⅢ) 普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ) 普及指導員スペシャリスト養成研修(果樹土壌・病害虫Ⅱ期)	7名 1名 1名 2名

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
病理昆虫研究室	R6.6.19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	4名
	R6.7.2	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(野菜・難防除病害虫)	6名
	R6.8.29	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	2名
	R6.10.24	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(果樹土壌・病害虫Ⅰ期)	2名
病害虫防除部				
病害虫防除課	R6.5.31	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ期)	3名
	R6.7.2	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(野菜・難防除病害虫)	6名
畜産研究所				
家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	R6.7.23～26	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所、外山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅰ期)	1名
家畜飼養・飼料研究室	R6.7.30	滝沢市 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修(飼料作物)	1名
家畜育種研究室	R6.9.9	滝沢市 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修(肉用牛)	1名
家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R6.9.25～26	八幡平市、滝沢市(畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ期)	1名
種山畜産研究室	R6.9.27	住田町 (種山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ期)	1名
県北農業研究所				
果樹・野菜研究室	R6.7.3	軽米町 (県北農業研究所)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅱ期)	7名
	R6.7.5	軽米町 (県北農業研究所)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅱ期)	7名

【岩手県高収益作物推進チーム(花き部会)】(農業普及技術課主催)

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
園芸技術研究部				
花き研究室	R6.6.26	北上市 (農業研究センター)	県育成りんどう有望系統の特性について 千鳥疎植栽培の試験状況について	25名
	R6.12.20	北上市 (農業研究センター)	各普及センターにおけるりんどう、小ぎくの現地実証圃実績 検討について	30名

【病害虫防除に関する研修】(岩手県病害虫防除所主催)

担 当 部 所	開催期日	開催 場 所	内 容	参集人員
病害虫防除部 病害虫防除課	R6.12.12	北上市 (農業研究センター、リモート)	病害虫防除実績検討会【果樹部会】 (対象:各JA、全農いわて、農薬卸商組合、県植防協会、県種苗センター、県機関等)	46名
	R6.12.17	花巻市、軽米町 (NOSAI本所、県北研リモート)	病害虫防除実績検討会【水稻部会】 (対象:同上)	85名
	R6.12.19	北上市 (農業研究センター、リモート)	病害虫防除実績検討会【野菜部会】 (対象:同上)	56名
	R6.12.20	北上市 (農業研究センター、リモート)	病害虫防除実績検討会【花き部会】 (対象:同上)	39名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
企画管理部				
研究企画室				
	出前授業講師 総合的な学習の時間(小学5年生) 「二子さといも」のルーツについて考えてみよう	R6.9.25	二子小学校	北上市
農業経営研究室				
	水沢真城地区6組織のゆるやかな連携 第5回 ゆるやかな集まり	R6.8.8	奥州農業改良普及センター	奥州市
	令和6年度胆江地方集落営農法人経営入門セミナー 第1回	R6.11.6	胆江地方農林業振興協議会	奥州市
	令和6年度胆江地方集落営農法人経営入門セミナー 第2回	R6.11.13	胆江地方農林業振興協議会	奥州市
	奥州ピーマン栽培・データ活用研修会及び施設園芸におけるスマート化実地勉強会	R6.11.13	東北農業研究センター	奥州市
	令和6年度胆江地方集落営農法人経営入門セミナー 第3回	R6.11.19	胆江地方農林業振興協議会	奥州市
	稲作の作業分散のための直播技術講演会	R6.12.2	八幡平市認定農業者協議会	八幡平市
	集落営農研修会	R6.12.19	JAいわて平泉集落営農組織 連絡協議会、JAいわて平泉	一関市
	集落営農の次世代人材確保・育成研修会	R6.12.23	盛岡地方農業農村振興協議会	盛岡市
生産基盤研究部				
水田利用研究室				
	令和6年度岩手県農管理使用アドバイザー養成研修	R7.1.16 1.22	農業普及技術課	花巻市 (花巻市文化会館) 滝沢市 (産業文化センター)
	令和7年 農薬適正販売使用研修会	R7.1.28	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市 (八幡宮)
作物育種研究室				
	農業大学校講師(研究現場の育種)	R6.10.22	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
園芸技術研究部				
果樹研究室				
	令和6年度ぶどう栽培流通研修会	R6.5.28	JA全農いわて	花巻市 (葡萄が丘研究所)
	令和6年度第1回りんご病虫害防除及び栽培研修会	R6.6.3	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和6年度第2回りんご病虫害防除及び栽培研修会	R6.7.3	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	ぶどう大粒種検討会	R6.9.26	JA全農いわて	花巻市 (葡萄が丘研究所)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
果樹研究室(つづき)				
	2024いわて純情りんごコンテスト第1部	R6.10.16	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	R6.10.21	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
	冬恋研究会目ざろい会	R6.11.18	JA全農いわて	奥州市 (JA江刺選果場)
	2024いわて純情りんごコンテスト第2部	R6.11.27	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和6年度りんごセミナー	R7.3.11	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	冬恋研究会実績検討会	R7.3.27	JA全農いわて	一関市 (JAいわて平泉東部 園芸センター)
野菜研究室				
	JA新しいわてピーマン12億円達成大会 「ピーマンの品質向上対策(ピーマンの軟化腐敗 果(トロケ果)の研究状況)」	R7.2.7	JA新しいわて	二戸市
	アグリエンジニアリング教育(研究) 「農学概論」	R6.4.30	一関工業高等専門学校	一関市(一関工業高 等専門学校)
	地域連携事業出前講座 「環境制御ってどうやるの？」	R6.7.10	一関第一高等学校	一関市
花き研究室				
	りんどう育苗状況調査	R6.4.10 4.11 4.17	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	西和賀町、雫石町ほか
	りんどう現地研修会	R6.6.26	農業普及技術課(農業革新支 援担当)	北上市 (農研センター)
	いわてフラワーコンテスト2024審査会	R6.8.30	全農岩手県本部	花巻市
	農業大学校 講師(作物増殖・花き)	R6.9.30	農業大学校	金ケ崎町
	調査研究中間検討会	R6.10.25	農業普及技術課(農業革新支 援担当)	北上市 (農研センター)
	りんどう・小ぎく実績検討会	R6.12.20	農業普及技術課(農業革新支 援担当)	北上市 (農研センター)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
南部園芸研究室				
	陸前高田市大規模施設園芸団地栽培打合せ(全14回)	R6.4.16 5.22 6.27 7.25 8.21 9.5 10.24 11.19 12.18 R7.1.17 2.5 3.7	陸前高田市(施設管理受託者Hs farm)	陸前高田市
	JAいわて平泉いちご生産部会 いちご栽培指導会	R6.8.2 11.15 R7.2.20	JAいわて平泉いちご生産部会	一関市
	令和6年度農大生・高校生と地域農業関係者との懇談会	R6.7.29	大船渡農業改良普及センター	陸前高田市
生産環境研究部				
土壌肥料研究室				
	いわてアグリフロンティアスクール「土壌管理(土壌・肥料)」	R6.6.25	いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局(岩手大学農学部地域連携推進室)	盛岡市(岩手大学)
	令和6年度土づくり施肥改善研修会(基礎)	R6.10.31	農業普及技術課	北上市(農研センター)
	令和6年度土づくり施肥改善研修会(専門)	R6.11.7	農業普及技術課	北上市(農研センター)
	令和6年度土づくり・施肥改善研修会(処方箋作成)	R6.11.14	農業普及技術課	北上市(農研センター)
病理昆虫研究室				
	いわてアグリフロンティアスクール「病害虫管理(防除・農薬)」	R6.7.10	岩手大学農学部地域連携推進室	盛岡市
	令和6年度第1回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R6.6.3	JA全農いわて、病害虫防除所	北上市(農研センター)
	令和6年度第2回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R6.7.3	JA全農いわて、病害虫防除所	北上市(農研センター)
	花巻農業協同組合 鉢物部会研修	R6.6.13	花巻農業協同組合 鉢物部会研修	JA花巻 花巻園芸センター
	農業大学校 講師「植物病理学」	R6.10.15	農業大学校	北上市(農研センター)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室(つづき)				
	令和6年度岩手県植物防疫関係者技術研修会 「無人防除機と地上防除について」 りんご園地の下草管理の違いによるハダニ類、カ ブリダニ類の発生状況」	R6.11.14	(一社)岩手県植物防疫協会 ・農薬工業会東北支部	花巻市
	令和6年度病害虫防除実績検討会(果樹部会)	R6.12.11	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和6年度病害虫防除実績検討会(作物部会)	R6.12.17	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和6年度病害虫防除実績検討会(野菜部会)	R6.12.19	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和6年度病害虫防除実績検討会(花き部会)	R6.12.20	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	JA新岩手東部地域春みどり専門部会役員会	R6.12.5	JA新しいわて	県北園芸センター
	令和6年度盛岡地方りんご病害虫防除対策検討 会	R6.12.20	盛岡地方農業農村振興協 議会 盛岡農業改良普及センター	盛岡市 (盛岡市場)
	令和7年度一関地方りんご病害虫防除暦編集 会議	R7.1.9	一関地方農林業振興協 議会	一関市 (千厩分庁舎)
	令和6年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	R7.1.16 1.22	農業普及技術課	花巻市 盛岡市
	JA花巻りんご部会石鳥谷支部りんご研修	R7.1.17	JA花巻りんご部会	花巻市石鳥谷
	令和7年農薬適正販売使用研修会	R7.1.28	岩手県農薬小売卸商業協 同組合	盛岡市八幡宮
	JA花巻りんご部会冬期講習会	R7.1.29	JA花巻りんご部会	花巻市
	ホップ栽培暦検討会	R7.1.30	ホップ農協	花巻市NOSAI本所
	胆江地方りんごスキルアップ研修会	R7.2.3	奥州農業改良普及センター	奥州市江刺
	第51回岩手県ホップ生産者研修会	R7.2.6	岩手県ホップ連合会	盛岡市
	令和6年度 宮城県無人ヘリオペレーター研 修会	R7.2.7	宮城県産業用無人ヘリコ プター推進連絡協議会 一般社団法人 宮城県植 物防疫教会	宮城県古川市
	グリサポセミナー	R7.2.13	岩手県農業普及技術課	盛岡市マリオス
	八幡平りんどう技術班会議	R7.2.19	JA新岩手	安代総合支所
	JA江刺りんご部会冬期講習会 「炭疽病・褐斑病の防除対策」	R7.2.21	JA江刺りんご部会	JA江刺活性化セン ター
	トマトキバガシンポジウム	R7.2.27	農研機構植物防疫研究部門	オンライン開催

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室(つづき)				
	JA平泉果樹部会 果樹販売実績検討会 「炭疽病・褐斑病の防除対策」	R7.3.6	JA平泉果樹部会	一関市千厩
	タバココナジラミに対する防除研修会	R7.3.11	盛岡農業改良普及センター 岩手中央農業協同組合	盛岡市
	純情りんごセミナー	R7.3.11	全農いわて	北上市 (農研センター)
病虫害防除部				
病虫害防除課				
	農業大学校新規就農者研修	R6.7.18	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
	岩手県植物防疫関係者技術研修会	R6.11.14	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
	農薬管理使用アドバイザー更新研修	R6.10.23 ～12.11	農業普及技術課	二戸市・釜石市・ 盛岡市・北上市・ 奥州市
	農薬管理使用アドバイザー養成研修	R7.1.16 1.22	農業普及技術課	滝沢市・花巻市
	一関地方りんご病虫害防除暦編集会議	R7.1.9	一関地方農林業振興協議会	一関市
	農薬適正販売使用研修会	R7.1.28	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市
	イネドロオイムシ防除実績報告会	R7.3.18	JA新しいわて	盛岡市
	第69回日本応用動物昆虫学会大会 小集会「斑点米カメムシ類の殺虫剤抵抗性管理」における話題提供	R7.3.21	学会事務局	千葉市
畜産研究所				
次長(研究)				
	家畜改良・繁殖技術講習会	R6.12.6	岩手県家畜人工授精師協会	雫石町 (柵小岩井農場)
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R7.2.5 ～2.27	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
家畜育種研究室				
	前沢牛同志会講習会「牛枝肉の小ザンの数値化と改良」	R6.8.30	前沢牛同志会	奥州市
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R6.8.27 ～9.17	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
	家畜人工授精講習会	R6.10.29 R6.11.12	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	家畜商講習会	R6.11.29	流通課	盛岡市
	花巻農協肥育部会研修会	R6.12.5	花巻農業協同組合	花巻市
	JA新しいわて新春和牛講演会	R7.1.8	新しいわて農業協同組合	雫石町
	和牛育種組合女性部研修会	R7.1.30	いわて和牛中央育種組合 県南和牛育種組合	花巻市
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R7.2.19,20	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	和牛子牛市場ワンポイント講習会「寒冷期の増し飼いと換気、研究概要紹介」	R7.3.5、 3.12、3.14	全農岩手県本部	奥州市 雫石町
家畜飼養・飼料研究室				
	酪農のプロ養成講座	R6.9.25	全農いわて	滝沢市 (畜産研究所)
	酪農のプロ養成講座(実習協力)	R6.10.23	全農いわて	滝沢市 (畜産研究所)
	家畜人工授精講習会	R6.10.29～ 10.30	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	家畜商講習会	R6.11.28	流通課	盛岡市
	若手酪農家による牛群検定の脂肪酸組成データ活用勉強会	R7.3.27	IWGP	千厩地区分庁舎
外山畜産研究室				
	家畜人工授精講習会	R6.11.13	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R6.8.28	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
	和牛子牛市場ワンポイント講習会「寒冷期の増し飼いと換気、研究概要紹介」	R7.3.6、3.13	全農岩手県本部	奥州市 雫石町
種山畜産研究室				
	雫石町畜産担い手繁殖経営勉強会	R6.7.5	畜産担い手繁殖経営勉強会	雫石町
	いわて肉用牛躍進運動指導者養成研修会	R6.8.20	畜産課	滝沢市

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
種山畜産研究室(つづき)				
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R6.10.31 11/1, 5, 6, 14, 15	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	和牛子牛市場ワンポイント講習会「県有種雄牛の最新情報」	R6.9.6 9.7 9.18 9.19 9.20	JA全農いわて	奥州市 雫石町
	家畜人工授精用精液流通調整事業に係る種雄牛選定検討会議	R6.9.30	(一社)畜産協会	滝沢市
	農業大学校_家畜飼養管理 I (肉畜)	R6.12.2	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
	令和5年度肉用牛生産性向上研修会	R6.12.21	畜産課	滝沢市
	いわて平泉肥育部会講習会	R6.12.19	いわて平泉農業協同組合	一関市
	育種組合女性部研修会	R7.1.30	いわて和牛中央育種組合 県南和牛育種組合	花巻市
県北農業研究所				
果樹・野菜研究室				
	第1回「岩手キャベツ生産の未来を考える会」	R7.1.8	JA新いわて東部営農経済センター	岩手町 (県北園芸センター)
作物研究室				
	二戸地方農林水産振興協議会農産園芸部会 令和6年度新規就農者経営能力向上研修会(第1回)	R6.7.24	二戸農振協農産園芸部会	軽米町 (県北農業研究所)
	葉たばこ議員連盟研修会 「いわてあわこがね」現地研修会	R6.8.1	葉たばこ議員連盟	二戸市
	雑穀栽培に係る現地見学会	R6.8.6	一戸町「五穀会」	一戸町
	「岩手141号」現地見学会	R6.8.29	久慈農業改良普及センター	野田村 久慈市
	「岩手141号」現地見学会	R6.8.30	二戸農業改良普及センター	軽米町 九戸村
	二戸地方農林水産振興協議会農産園芸部会 令和6年度雑穀担当者会議	R6.12.3	二戸農振協農産園芸部会	二戸市 (二戸地区合庁)
	「岩手141号」栽培研修会	R7.2.4	農産園芸課	軽米町 (県北農業研究所)

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	公開デー来場者数	合計	備 考
本 部	585 人	2,000 人	2,585 人	令和6年4月～令和7年3月
南部園芸研究室	90 人	- 人	90 人	
畜産研究所	164 人	0 人	164 人	
種山畜産研究室	171 人	- 人	171 人	
県北農業研究所	65 人	- 人	65 人	
計	1,075 人	2,000 人	3,075 人	

4 春季一般公開及び一般公開デー

名 称	開 催 期 日	開 催 場 所	参 集 人 員
春季一般公開(ふれあい公園)	R6.4.17～4.21	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	78 名
一般公開デー(本部)	R6.9.7	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	2,000 名
参観デー(畜産研究所)	R6.8.22～24	ツガワ未来館「アピオ」	200 名

5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
R6.7.10	北上市(さくらホール)	農薬適正販売・使用研修会	203名	病虫害防除部

6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者

項 目	主 な 内 容		開催年月日	参集人数
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)		4,534名
		農業研究センター春季一般公開	R6.4.17～21	(67名)
		農業研究センター一般公開デー	R6.9.7	(533名)
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に年1～2回展示紹介		-
		第91回企画展いわての土性調査～農地の土壌改良や施肥改善に向けた土性調査のはじまり～	R6.5.17～9.16	
		第92回企画展むかしといまの米づくり	R6.9.21～R7.1.19	
	イベント	夏休み体験学習会「オリジナルデザインのとートバッグを作ろう」	R6.8.4	7名(4組)
		冬休み体験学習会「来年の干支のかわいい巳(み)を作ろう！」	R6.12.22	12名(5組)
	その他	学校教育支援活動(社会科実習、校外学習等の受入)	-	552名(13校)
		高齢者、障がい者支援活動(障害福祉施設等)	-	97名(9団体)
農業ふれあい公園 ゲートボール場		グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	5,279名
				(273件)

7 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
畜産関係行政官、 研究者等 9名	マラウイ、マレーシア、ナミビア、パキスタン、サモア、家畜改良センター	JICA個別研修「SDGsに配慮した包括的な畜産振興の取り組み」	家畜育種研究室 外山畜産研究室	R6.11.1

(2) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(3) 視察・体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
花巻市立南城中学校	職場体験	3	研究企画室 病理昆虫研究室 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室	R6.9.6
ほめのばフリースクール	職場見学(飼育昆虫等の見学)	6	病理昆虫研究室 病害虫防除所	R6.7.29
筑波大学付属駒場中学校	岩手県の自然環境と畜産振興、環境にやさしい畜産技術の研究開発	12	研究担当次長、家畜育種研究室、家畜飼養・飼料研究室	R6.5.23
滝沢市一本木中学校	職場体験学習(獣医師の仕事、研究内容)	2	家畜育種研究室	R6.11.8

イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
インターンシップ	水稻・畑作物、野菜、果樹、花き、土壌肥料・病害虫防除の研究取組に関する研修	3	研究企画室、生産基盤研究部、園芸技術研究部、生産環境部、病害虫防除部	R6.9.17～20
農業大学校新規就農者研修	センター概要説明、水稻、果樹、野菜の研究について視察	20	研究企画室、生産システム研究室、果樹研究室、野菜研究室	R6.6.20
岩手大学・筑波大学	水田整備、奨励品種、畑作物原種生産等について	2	水田利用研究室	R6.9.19
農業大学校新規就農者研修	スマート農業技術、水稻作況試験、乾田直播について	19	生産システム研究室	R6.6.20
農業大学校新規就農者研修	環境制御技術に関する研究取組状況の視察	20	野菜研究室 研究企画室	R6.6.14
岩手大学農学部	試験研究について		花き研究室	R6.7.7
岩手大学農学部	業務説明会		花き研究室	R6.9.20

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
花巻北高等学校	ミミズに関する情報収集	3	土壌肥料研究室	R6.10.22
花巻北高等学校	ミミズに関する情報収集	3	土壌肥料研究室	R6.10.22
岩手県立農業大学校 農産園芸研究科（1年、職員）	病害虫試験研究について	30	病理昆虫研究室	R6.10.15
インターンシップ (岩手大学3年生)	畜産研究所の試験研究業務に係る職場体験	4	研究担当次長、家畜育種研究室、家畜飼養・飼料研究室、外山畜産研究室	R6.9.17～20
インターンシップ (盛岡農高2年生)	畜産研究所の試験研究業務に係る職場体験	3	研究担当次長、家畜飼養・飼料研究室、外山畜産研究室	R6.9.18～19
インターンシップ (獣医学生)	岩手県職員の仕事(獣医師及び畜産技師編)及び畜産研究所の概要繁殖実習及び子牛の採血等	5	家畜育種研究室	R6.8.23 及び8.27
県立農業大学校畜産学科1年	畜産研究所の概要及び施設について 酪農、肉用牛における飼養管理技術について	10	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R6.7.1
日本大学動物資源科学科4年	畜産研究所の業務紹介 日本短角種放牧牛の衛生検査作業体験	10	家畜育種研究室 外山畜産研究室	R6.10.18
県立農業大学校酪農経営科1年	牛群検定、BCS、TMRについて	2	家畜飼養・飼料研究室	R6.9.18
県立農業大学校肉畜経営科1年	黒毛和種の飼養管理 日本短角種の飼養管理、放牧技術 試験研究成果	8	外山畜産研究室	R6.9.13
岩手大学動物科学科 2年	畜産研究所の概要及び施設について	29	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R6.10.15
県立農業大学校畜産学科 2年	岩手県の種雄牛造成について	12	種山畜産研究室	R6.6.18
水沢農業高等学校 3年生	岩手県の種雄牛造成について	4	種山畜産研究室	R6.8.19

ウ その他の視察・研修等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
農林水産部新採用職員研修	水稲作況調査と作柄解析について、無人航空機(ドローン)を利用した水稲リモートセンシング技術、りんどう品種育成全般について	22	研究企画室 生産システム研究室 花き研究室	R6.6.14
JAよこて野菜部会	センター概要説明、野菜研究室の研究の取組みについて	9	研究企画室 野菜研究室	R6.7.4
NPO法人はなのぼ	センター内の施設見学、顕微鏡観察体験	8	研究企画室 病理昆虫研究室 病害虫防除部 野菜研究室	R6.7.29
あきた北農業協同組合 中央支店 地区支部長会他	大豆栽培における地下かんがいシステムの実証及び自動給排水制御システムについて	13	水田利用研究室	R6.11.28
ゆうき青森農協稲作生産部会	水稲栽培における高温対策 直播栽培に関する技術	12	生産システム研究室	R6.9.5
照井土地改良区基盤整備地区委員	露地ブルー育苗の技術紹介について	15	生産システム研究室	R6.11.12
岩手県農業共済組合一関真滝地区協議会	水稲における近年の作柄、高温対策等に関する研究成果	24	生産システム研究室	R7.1.24
一関地域農政推進員協議会	水稲の栽培技術 夏場の高温対策について	40	生産システム研究室	R7.1.30
味の素株式会社	水稲の育種について 水稲の栽培について 食味官能試験実習	27	作物育種研究室 生産システム研究室	R6.10.15
農業大学校果樹専攻	果樹の栽培技術等に関する研究取組状況の視察	20	果樹研究室	R6.5.13
農業大学校新規就農者研修	りんごに関する研究取組状況の視察	15	果樹研究室 研究企画室	R6.6.20
農林水産部新採用職員研修	環境制御技術について	20	野菜研究室	R6.6.14
JA青森ミニトマト部会	トマト・ミニトマトの環境制御の試験結果及びきゅうりの環境制御試験ほ場視察	15	野菜研究室	R6.6.26
秋田県園芸振興課等	施設園芸における環境制御技術(細霧冷房)について	3	野菜研究室	R6.11.13
山口県農林総合技術センター	りんごの育種等について	1	花き研究室	R6.10.24
福島県農業総合センター	りんごの試験研究について	4	花き研究室	R6.10.25
福島県県中農林事務所	りんご褐斑病対策について	3	病理昆虫研究室	R6.7.8
青森県りんご協会	りんご病害の発生状況と対策について	3	病理昆虫研究室	R6.7.8
青森県農林水産常任委員会行政視察	岩手県における肉用牛等の品種改良、増殖技術の取組み	11	畜研所長、次長、各室長	R6.7.31
株式会社岩手パイオニア牧場	種雄牛の視察・調査	5	種山畜産研究室	R6.4.25
岩手ふるさと農協全共出品対策委員会	種雄牛の視察・調査	20	種山畜産研究室	R6.5.1

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
農業大学校	事例研究等校外研修	12	種山畜産研究室	R6.6.18
花巻農協肉牛繁殖生産部会石鳥谷支部・大迫支部視察研修会(17名)	種雄牛の視察・調査	17	種山畜産研究室	R6.7.5
新しいわて農協視察(2名)	種雄牛の視察・調査	2	種山畜産研究室	R6.7.10
花巻農協肉牛繁殖生産部会東和支部(12名)	種雄牛の視察・調査	12	種山畜産研究室	R6.7.29
水沢農業高等学校(4名)	種雄牛の視察・調査	4	種山畜産研究室	R6.8.19
いわて平泉農協和牛生産部会川崎支部(9名)	種雄牛の視察・調査	9	種山畜産研究室	R6.8.23
岩手ふるさと農協肉牛生産部会(予定10名)	種雄牛の視察・調査	10	種山畜産研究室	R6.8.28
JA江刺和牛生産改良組合	種雄牛の視察・調査	15	種山畜産研究室	R6.9.13
(有)菊池畜産	種雄牛の視察・調査	2	種山畜産研究室	R6.10.22
全国和牛登録協会ほか	種雄牛の視察・調査	3	種山畜産研究室	R6.10.31
岩手大学視察	施設及び業務の見学	12	種山畜産研究室	R6.11.21
JA江刺	種雄牛の視察・調査	7	種山畜産研究室	R6.11.22
新岩手農協東部和牛改良組合玉山支部	種雄牛の視察・調査	10	種山畜産研究室	R6.11.26
北海道酪農畜産協会視察	種雄牛の視察・調査	2	種山畜産研究室	R6.11.26
岩手ふるさと農協管内生産者	種雄牛の視察・調査	10	種山畜産研究室	R6.11.28
JA花巻 花巻和牛 母牛を作る会	種雄牛の視察・調査	13	種山畜産研究室	R7.2.4
JA花巻肉牛繁殖生産部会花巻支部視察	種雄牛の視察・調査	10	種山畜産研究室	R7.2.25
県北広域振興局副局長視察	県北地域における取組説明(果樹研究等)、施設内・圃場見学等について	10	県北農業研究所	R6.4.17
JA新しいわて宮古稲作生産部会	新品種「いわて141号」について	25	県北農業研究所	R6.9.5
JA新しいわて野菜生産部会葛巻中央支部	視察見学と概要、園芸情報等について	20	県北農業研究所	R6.10.3
二戸市議会産業建設常任委員会	県北の農業振興についての視点と研究の取り組み	10	県北農業研究所	R6.10.30

8 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	ふるさと振興部科学・情報政策室
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 企画管理部長 生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産基盤研究部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 水田利用研究室長 生産システム研究室長 野菜研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 次長兼園芸研究室長(県北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
いわてグリーン農業推進会議	構成員	生産環境研究部長	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	生産基盤研究部長	団体指導課
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会	幹事	生産基盤研究部長	流通課
いわての大豆普及推進協議会	委員	生産基盤研究部長	流通課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	サブリーダー	農業経営研究室長	農業振興課
岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営チーム(総括)	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 病理昆虫研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
いわて国際水準GAP推進チーム	チーム員	農業経営研究室長	農業普及技術課
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	サブリーダー チーム員	農業経営研究室長 研究企画室長 農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員 理事	所長 企画管理部長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	水田利用研究室長	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農業振興協議会 農産園芸部会	構成員	技師 (南部園芸研究室)	大船渡農業改良普及センター
陸前高田市総合農政推進協議会	委員	南部園芸研究室長	陸前高田市
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員 委員	農業経営研究室長 南部園芸研究室長	陸前高田市
住田町農業振興協議会	幹事	南部園芸研究室長	住田町
久慈地方農業農村活性化推進協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 次長兼果樹・野菜研究 室長(県北研)	久慈市
二戸地方農林水産振興協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 作物研究室長(県北研)	二戸市
東北農業試験研究協議会	理事	所長	農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	企画管理部長	東北農業経済学会
園芸学会東北支部	評議員	野菜研究室長	東北大学農学部
東北土壌肥料協議会	幹事、監事	生産環境研究部長	東北各県持ち回り
日本土壌肥料学会東北支部	理事	土壌肥料研究室長	岩手大学農学部
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	岩手大学農学部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産環境研究部長 畜産研究所長 生産システム研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼果樹・野菜研究 室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	園芸技術研究部長 花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	水田利用研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (農作物・水稻) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (大豆・ホップ・そば) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委員	主任行政専門員 (病虫害防除所) 上席専門研究員 (生産システム研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 技師 (病虫害防除所) 水田利用研究室長 主任主査 (病虫害防除所) 水田利用研究室長 主任主査 (病虫害防除所) 野菜研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	生産基盤研究部長	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(一社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	(一社)岩手県植物防疫協会
胆江広域病虫害防除協議会	会員 幹事	病虫害防除次長 (病虫害防除課長) 病虫害防除所主任行政 専門員 (病虫害防除課主任行政 専門員)	岩手県農業共済組合 県南基幹センター
岩手北部病虫害防除協議会	構成員 幹事	病虫害防除次長 (病虫害防除課長) 病虫害防除所主任行政 専門員 (病虫害防除課主任行政 専門員)	岩手県農業共済組合 県北基幹センター
遠野地方病虫害防除推進協議会	幹事	病虫害防除次長 (病虫害防除課長)	JAいわて花巻 遠野地域営農グループ

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
種子価格設定委員会	委員	水田利用研究室長 生産システム研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	生産システム研究室長 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	次長(種山畜産研究) 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルキングシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
全日本ホルスタイン共進会岩手県出品対策委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
いわてコントラクター等利用推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	いわてコントラクター等利用推進協議会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長(種山 駐在) 種山畜産研究室長	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室 長	(一社)岩手県畜産協会
江刺和牛生産改良組合	理事	種山畜産研究室長	江刺和牛生産改良組合
一戸町畜産クラスター協議会	構成員	畜産研究所長	一戸町
酪農技術研究委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室 専門研究員	岩手県乳質改善協議会(全国農業協同組 合連合会岩手県本部)
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

VI 職員研修

VI 職員研修

1 大学院派遣

(該当なし)

2 海外派遣・研修

(該当なし)

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏 名	所属部所・研究室	研 修 内 容	派 遣 先	派 遣 期 間
専門研究員 松橋 伊織	園芸技術研究部 野菜研究室	施設生産における果菜類の高収量化及び高品質に関する研究	野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域	R6.12.2～ R7.2.28
技師 齊藤 桜花	畜産研究所 家畜育種研究室	周年出荷のための日本短角種長期肥育技術の確立	食肉用家畜研究領域 食肉品質グループ	R6.9.24～ 12.6

(2) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏 名	所属部所・研究室	研 修 内 容	派 遣 先	派 遣 期 間
企画管理部 井村 裕一	企画管理部長	研究リーダーとして必要な知見の習得	農林水産省6階共用第2会議室	R6.7.9～10

(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

(該当なし)

(4) 農林水産関係研究者研修

職・氏 名	所属部所・研究室	研 修 内 容	派 遣 先	派 遣 期 間
企画管理部長 井村 裕一	企画管理部	農林水産関係研究リーダー研修	農林水産省共用第2会議室	R6.7.9～7.10
技師 齊藤 桜花	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会(肉用牛生産技術指導者養成(1))	中央畜産技術研修所	R5.6.12～16

(5) その他

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
農業情報学会2024年度年次大会	オンライン開催	R6.5.25～26	企画管理部 農業経営研究室	1
東北農業経済学会山形大会	山形県新庄市	R6.8.30～31	企画管理部 農業経営研究室	1
日本農業普及学会令和6年度春季大会	東京都	R7.3.6～7	企画管理部 農業経営研究室	1
2025年度日本農業経済学会大会	神奈川県藤沢市	R7.3.29～30	企画管理部 農業経営研究室	1
令和6年度 農業機械研究部門研究報告会・農業機械技術クラスター総会	さいたま市	R7.3.6～7	生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室	4
令和6年度 全国農業システム化研究会最終成績検討会	東京都 オンライン開催	R7.2.18～19	生産基盤研究部 生産システム研究室	3
令和6年度 新稲作研究会成績検討会	東京都 オンライン開催	R7.3.5	生産基盤研究部 生産システム研究室	1
令和6年度 農業食料工学会シンポジウム第29回テクノフェスタ	さいたま市	R6.11.8	生産基盤研究部 生産システム研究室	2
水稻乾田直播フォーラム2025	盛岡市 マリオス	R7.2.21	生産基盤研究部 生産システム研究室	1
農水政策研シンポジウムWeb「EUと日本の環境保全型農業政策と持続可能な農業の実現ー有機農業や生物多様性に配慮した農業の普及に向けてー」	オンライン参加	R6.12.18	生産基盤研究部 生産システム研究室	1
国立環境研究所オンラインセミナー第4回気候変動適応セミナー「米の将来予測と対策」	オンライン参加	R7.1.21	生産基盤研究部 生産システム研究室	1
日本育種学会(令和7年度春季学会)	仙台市	R7.3.20～21	生産基盤研究部 作物育種研究室	2
日本作物学会第 259 回講演会	神奈川県藤沢市	R7.3.28～29	生産基盤研究部 作物育種研究室	1
寒冷地果樹の減農薬防除体系シンポジウム	秋田県横手市	R6.9.12	園芸技術研究部 果樹研究室	1
寒冷地果樹研究会	盛岡市	R7.1.23	園芸技術研究部 果樹研究室	4
落葉果樹研究会	茨城県つくば市	R7.1.28～29	園芸技術研究部 果樹研究室	4
令和6年度 農業機械開発試験研究打合せ会議、農業機械技術クラスター総会	さいたま市	R7.3.7	園芸技術研究部 果樹研究室	1
第67回全国野菜園芸技術研究会福島大会	福島市	R6.10.10～11	園芸技術研究部 野菜研究室	1
園芸学会東北支部令和6年度大会	盛岡市	R6.8.26～27	園芸技術研究部 野菜研究室	4
園芸学会令和6年度秋季大会	琉球大学千原キャンパス	R6.11.3～4	園芸技術研究部 野菜研究室	1
園芸学会令和7年度春季大会	日本大学生物資源科学部	R7.3.20～21	園芸技術研究部 野菜研究室	3
第67回東北農業試験研究発表会	福島市	R6.8.1	園芸技術研究部 野菜研究室	1
第97回日本養液栽培研究会・山梨大会	山梨県北杜市	R6.11.14～15	園芸技術研究部 野菜研究室	1
第78回北日本病虫害研究発表会	青森市	R7.2.20～21	園芸技術研究部	1
施設園芸総合セミナー	東京都	R7.1.28～29	園芸技術研究部 野菜研究室	1
新任主任主査研修	盛岡市	R6.5.30～31	園芸技術研究部 花き研究室	1

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
第67回東北農業試験研究発表会	福島市	R6.8.1	園芸技術研究部 花き研究室	1
園芸学会東北支部令和6年度大会	盛岡市	R6.8.26～27	園芸技術研究部 花き研究室	4
令和6年度花き研究シンポジウム	つくば市	R6.10.8～9	園芸技術研究部 花き研究室	1
日本土壌微生物学会2024年度大会(名古屋) 市民公開シンポジウム「持続的農業と土・微生物」	オンライン開催	R6.6.15	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
日本土壌肥料学会東北支部	青森県青森市	R6.7.10～11	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
土づくり推進フォーラム講演会(一般社団法人 日本土壌協会)	オンライン開催	R6.8.8	生産環境研究部 土壌肥料研究室	3
東北ハイク研究会セミナー「スマート農業技術はどこまで草刈り 労働の労苦を軽減できるか-その開発の現状と課題-」(東北地域 農林水産・食品ハイク研究会)	オンライン開催	R6.9.19	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
日本土壌肥料学会2024年度福岡大会	福岡県福岡市	R6.9.3～5	生産環境研究部 土壌肥料研究室	3
日本バイオスティミュラント協議会 講演会 「バイオスティミュラント資材を知る 新たなバイオスティミュラント 資材の研究開発と製品化」	オンライン開催	R6.9.12～13	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
農地土壌炭素貯留等基礎調査事業 土壌調査法検討会	大分県豊後大野 市、大分市	R6.9.26～27	生産環境研究部 土壌肥料研究室	2
令和6年度土づくりセミナー-異常気象下に、安定的な収益を得 るために-(土づくり肥料推進協議会)	オンライン開催	R6.11.20	生産環境研究部 土壌肥料研究室	3
日本土壌肥料学会北海道支部 公開シンポジウム「Soil Health～ 土壌の健康～」	オンライン開催	R6.12.5	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
第4回気候変動適応セミナー「米の将来予測と対策」(国立開発 研究法人 国立環境研究所)	オンライン開催	R7.1.21	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
高温条件に対応した水稻作Web回議(関東農政局)	オンライン開催	R7.1.29	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
東北大豆セミナー(東北農政局)	オンライン開催	R7.2.3	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
「気候変動影響予測・適応評価の総合的研究」成果発表会-農 林水産業分野を対象とした気候変動影響予測と適応策-(農研機 構 農業環境研究部門)	オンライン開催	R7.2.6	生産環境研究部 土壌肥料研究室	2
水稻乾田直播・子実トウモロコシフォーラム2025(東北農業研究 センター)	盛岡市	R7.2.21	生産環境研究部 土壌肥料研究室	2
日本土壌肥料学会創立100周年記念シンポジウム「土壌・生態系 保全」	オンライン開催	R7.3.2	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
第40回土・水研究会「日本の農業環境とくに水田におけるSoil Healthの考え方」(農研機構 農業環境研究部門)	オンライン開催	R7.3.11	生産環境研究部 土壌肥料研究室	2
新任課長等研修	盛岡市	R6.6.5～7	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
エビデント生物顕微鏡教室	東京都	R6.6.19	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
EBC研究会ワークショップ2024	神奈川県厚木市	R6.9.12～13	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
第33回ダニ学会大会	静岡県	R7.9.17～19	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
令和6年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	R6.11.14	生産環境研究部 病理昆虫研究室	9
第33回天敵利用研究会岩手大会	盛岡市	R6.12.9～10	生産環境研究部 病理昆虫研究室	5
農林害虫防除研究会タスクフォース 第4回殺虫剤抵抗性対策 シンポジウム	東京都 (オンライン参加)	R6.12.17	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
第78回北日本病害虫研究発表会	青森市	R7.2.20～21	生産環境研究部 病理昆虫研究室	4
日本植物防疫協会シンポジウム「第5回 農薬の新施用技術検討協議会」	東京都 (オンライン参加)	R7.3.18	生産環境研究部 病理昆虫研究室	5
令和6年度選択研修(モチベーション向上講座)(人事課)	盛岡市(エスポワールいわて)	R6.9.25	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
農薬適正使用研修会(病害虫防除部、岩手県植物防疫協会)	北上市 さくらホール	R6.7.10	病害虫防除部	7
カメムシ類対策会議(国主催)	オンライン開催	R7.9.18	病害虫防除部	2
シンポジウム「農業現場が求める病害虫防除の情報とは何か」(日本植物防疫協会)	オンライン開催	R7.9.18	病害虫防除部	2
岩手県植物防疫関係者技術研修(岩手県植物防疫協会)	花巻市	R6.11.14	病害虫防除部	8
病害虫防除所職員等中央研修	横浜市 植物防疫所 他	R6.12.17～20	病害虫防除部	1
シンポジウム「農家にとってのIPM実践の意義を考える」(日本植物防疫協会)	オンライン開催	R7.1.16	病害虫防除部	1
オンラインシンポジウム「侵入害虫トマトキバガ」(農研機構)	オンライン開催	R7.2.27	病害虫防除部	2
果樹病害・虫害研究会(農研機構)	つくば市	R7.1.28～29	病害虫防除部	1
第78回北日本病害虫研究発表会	青森市	R6.2.20～21	病害虫防除部	4
第69回日本応用動物昆虫学会大会	千葉市	R7.3.21～22	病害虫防除部	1
コンプライアンス推進研修(人事課)	盛岡市	R6.4.11	病害虫防除部	1
生産性を高める会議の進め方講座(人事課)	盛岡市	R6.8.29	病害虫防除部	1
モチベーション向上講座(人事課)	盛岡市	R6.9.25	病害虫防除部	1
協力を引き出す調整力養成講座(人事課)	盛岡市	R6.11.11～12	病害虫防除部	1
行政学入門講座(人事課)	盛岡市	R6.11.21～22	病害虫防除部	1
e-ラーニング 仮説とデータを活かす政策立案講座(人事課)	オンライン	R6.12	病害虫防除部	1
e-ラーニング 仕事の進め方講座(人事課)	オンライン	R6.12	病害虫防除部	1
家畜人工授精師講習	金ヶ崎町(農大)、 住田町(種山畜産研究室)	R6.10.28～11.22	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室 種山畜産研究室	3
危険物取扱者保安講習	岩手県危険物安全協会連合会	R6.11.7	畜産研究所 総務課	1
小型移動式クレーン運転技能講習	岩手労働基準協会	R6.11.5～8	畜産研究所 総務課	1
ガス溶接技能講習	岩手労働基準協会	R7.1.7～8	畜産研究所 総務課	1
地方審査委員認定講習会(全国和牛登録協会主催)	雫石町	R6.10.1～4	畜産研究所 家畜育種研究室	1
いわてコントラクター等利用推進協議会 機械メンテナンス研修会	八幡平市	R6.12.18	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	6

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
家畜改良・繁殖技術講習会	雫石町	R6.12.6	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
ERTS操縦講習(基礎コース)、Skydio講習	東京都	R7.2.4～6	畜産研究所 外山畜産研究室	1
自給飼料利用研究会	東京都	R6.11.26～27	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
中央畜産技術研修会(肉用牛生産技術指導者養成)	福島県	R6.6.17～21	畜産研究所 種山畜産研究室	1
管理監督者リーダー研修	盛岡市	R6.7.23～24	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和6年度選択研修(データを活用した政策立案基本講座)	盛岡市	R6.8.22～23	畜産研究所 種山畜産研究室	1
働き方改革セミナー	盛岡市	R6.9.13	畜産研究所 種山畜産研究室	1
農林業センサスを中心とした総合データベースJ活用研修会	オンライン開催	R6.9.20	畜産研究所 種山畜産研究室	1
北海道・東北ブロック畜産技術研修会	オンライン開催	R6.10.3	畜産研究所 種山畜産研究室	3
家畜人工授精に関する講習会	金ヶ崎町(農大)他	R6.10.21～11.22	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和6年度農林水産部会計事務担当職員研修会	オンライン開催	R6.11.13	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和6年度肉用牛生産性向上研修会	滝沢市	R6.11.21	畜産研究所 種山畜産研究室	2
令和6年度奥州審査指導監管内会計事務担当者研修会	奥州市	R6.11.21	畜産研究所 種山畜産研究室	1
現場後代検定合同調査会	京都府	R7.2.20	畜産研究所 種山畜産研究室	1
家畜改良・繁殖技術講習会	雫石町	R6.12.6	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
ERTS操縦講習(基礎コース)、Skydio講習	東京都	R7.2.4～6	畜産研究所 外山畜産研究室	1
自給飼料利用研究会	東京都	R6.11.26～27	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
中央畜産技術研修会(肉用牛生産技術指導者養成)	福島県	R6.6.17～21	畜産研究所 種山畜産研究室	1
管理監督者リーダー研修	盛岡市	R6.7.23～24	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和6年度選択研修(データを活用した政策立案基本講座)	盛岡市	R6.8.22～23	畜産研究所 種山畜産研究室	1
働き方改革セミナー	盛岡市	R6.9.13	畜産研究所 種山畜産研究室	1
農林業センサスを中心とした総合データベースJ活用研修会	オンライン開催	R6.9.20	畜産研究所 種山畜産研究室	1
北海道・東北ブロック畜産技術研修会	オンライン開催	R6.10.3	畜産研究所 種山畜産研究室	3
家畜人工授精に関する講習会	金ヶ崎町(農大)他	R6.10.21～11.22	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和6年度農林水産部会計事務担当職員研修会	オンライン開催	R6.11.13	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和6年度肉用牛生産性向上研修会	滝沢市	R6.11.21	畜産研究所 種山畜産研究室	2
令和6年度奥州審査指導監管内会計事務担当者研修会	奥州市	R6.11.21	畜産研究所 種山畜産研究室	1

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
現場後代検定合同調査会	京都府	R7.2.20	畜産研究所 種山畜産研究室	1
第67回東北農業試験研究発表会	福島県	R6.8.1	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	1
第78回北日本病害虫研究発表会	青森県	R7.2.20～21	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	2
園芸学会令和6年度秋季大会	沖縄県	R6.11.3～5	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	1
園芸学会令和7年度春季大会	神奈川県	R7.3.20～21	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	1
令和7年度日本植物病理学会大会	香川県	R7.3.26～29	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	1
施設園芸総合セミナー	東京都	R7.1.28～29	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	1
令和6年度 農業機械研究部門研究報告会・農業機械開発改良 試験研究打合せ会議・農業機械技術クラスター総会	オンライン	R7.3.6～7	県北農業研究所 作物研究室	4
令和6年度 農業機械開発改良試験研究打合せ会議・農業機械 技術クラスター総会	さいたま市	R7.3.6～7	県北農業研究所 作物研究室	1

4 所内研修等

研修名	開催場所	開催期間	所属部署・研究室	参加人数
令和6年度農研本部新任者に対するオリエンテーション	本部1F中会議室 他	R6.4.12	企画管理部 研究企画室	9
令和6年度 予算管理研修	本部2F中会議室	R6.4.25	企画管理部 研究企画室	35
令和6年度 試験研究ほ場説明会	試験圃場	R6.7.24	企画管理部 研究企画室	34
令和6年度 全体研修会	本部大会議室	R7.2.3	企画管理部 研究企画室	46
労働安全衛生研修	動画視聴	2024/7/26～ 8/23	企画管理部 総務課	130
ハラスメント防止研修	動画視聴	R6.8.5～9.30 R6.11.15～ R7.1.30	企画管理部 総務課	91
緊急時の応急措置講習	車庫内	R6.8.28	企画管理部 総務課	100
交通安全研修	本部2階大会議室	R6.11.21	企画管理部 総務課	103
畜産研究所家畜防疫に係る研修会	畜産研究所	R6.10.21	畜産研究所 家畜育種研究室	35
交通安全研修	畜産研究所	R6..10.21	畜産研究所 総務課	63
健康管理研修	畜産研究所	R7..2.25	畜産研究所 総務課	32
全職員研修(飼料の特性について:北日本くみあい飼料))	畜産研究所 種山畜産研究室	R7.2.27	畜産研究所 種山畜産研究室	12

5 所内セミナー等

研修名	開催場所	開催期間	参加人数
企画管理部 部内ゼミ「北上市特産サトイモ「二子いも」のルーツを考える」	本部1F中会議室	R6.10.25	20
令和6年度予算管理研修の開催について	本部2F中会議室	R7.4.25	28
脱炭素に向けた取組～J-クレジット制度の現状と農業現場における活用事例～	本部2F大会議室	R7.2.3	45
生産基盤研究部 部内ゼミ「水稻多収系統の育成、小麦農林10号誕生90周年」	本部1F小会議室	R7.3.17	15
園芸技術研究部 部内ゼミ「相互圃場巡回1」	本部圃場	R6.7.22	15
園芸技術研究部 部内ゼミ「相互圃場巡回2」	本部圃場	R6.10.1	16
生産環境研究部 土壌肥料研究室ゼミ「研究成果の現地普及に向けた「普及現場」との連携」	本部2F中会議室	R7.3.13	35
生産環境研究部 部内ゼミ「天敵利用研究会予行練習」	本部2F第2小会議室	R6.12.6	8
病虫害防除部 部内ゼミ「菌床しいたけ栽培の概要」	本部2F小会議室	R6.5.14	8
病虫害防除部 部内ゼミ「新型予察灯の紹介」	本部2F小会議室	R6.6.11	8
病虫害防除部 部内ゼミ「発生量はどう評価（表現）する？」～斑点米カメムシ類の調査結果を例に～	本部2F小会議室	R6.8.20	8
病虫害防除部 部内ゼミ「蜜蜂危害防止対策について」	本部2F小会議室	R6.9.11	8
病虫害防除部 部内ゼミ「近年のリンゴ黒星病の発生状況と要因について」	本部2F小会議室	R6.10.15	8
病虫害防除部 部内ゼミ「県内におけるクロゲハナアザミウマの発生状況と防除対策」	本部2F小会議室	R6.11.12	8
病虫害防除部 部内ゼミ「水稻ごま葉枯病の今年の発生状況」	本部2F小会議室	R6.12.10	8
病虫害防除部 部内ゼミ「次長のお仕事」～各種事業にともなう経理事務～	本部2F小会議室	R7.1.14	6
病虫害防除部 特別ゼミ「私が携わった虫たち」～大友所長講話～	本部2F中会議室	R7.3.19	28
畜産研究所 第1回所内セミナー 「所内コンペ」応募課題予演会	畜産研究所	R6.4.9	15
畜産研究所 第2回所内セミナー 「東北農業試験研究発表会」予演会（第1回）	畜産研究所	R6.6.20	17
畜産研究所 第3回所内セミナー 「東北農業試験研究発表会」予演会（第2回）	畜産研究所	R6.6.26	15
畜産研究所 第4回所内セミナー 「Wild Cup 2024」予演会（第2回）	畜産研究所	R6.7.22	12
畜産研究所 第5回所内セミナー 「東北農業試験研究発表会」最終予演会（第3回）	畜産研究所	R6.7.30	15
畜産研究所 第6回所内セミナー 「東北畜産学会青森大会」予演会（第1回）	畜産研究所	R6.8.9	11
畜産研究所 第7回所内セミナー 「東北畜産学会青森大会」予演会（第2回）	畜産研究所	R6.8.19	12
第1回 県北農業研究所内ゼミナール「試験圃場巡回説明会」	県北場内ほ場	R6.7.18	14
第2回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R6.8.22	14

研修名	開催場所	開催期間	参加人数
第3回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R6.10.24	14
第4回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R6.11.26	14

VII 試験研究以外の業務概要

Ⅶ 試験研究以外の業務概要

1 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原原種の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	生産量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	銀河のしずく	15	123	農業研究センター
	ササニシキ	2	44	〃
	白銀のひかり(岩手141号)	4	56	県北農業研究所
水稻(もち)	ヒメノモチ	4	23	農業研究センター
	もち美人	2	14	〃
小麦	ナンプコムギ	15	570	〃
大豆	シュウリュウ	7	49	農業研究センター
	リョウユウ	2	10	〃

2 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原種の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	生産量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	ひとめぼれ	326	10,540	農業研究センター
	銀河のしずく	100	3,280	〃
	ササニシキ	17	700	〃
	白銀のひかり(岩手141号)	10	360	県北農業研究所
	白銀のひかり(岩手141号)一般	110	1,700	農業研究センター
水稻(飼料用米)	たわわっこ	32	760	農業研究センター
水稻(もち)	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
	もち美人	15	160	農業研究センター
小麦	ゆきちから	249	7,050	農業研究センター
	ナンプコムギ	179	3,450	
	銀河のちから	52	1,920	〃
	ナンプキラリ	48	1,500	〃
大豆	リュウホウ	375	4,865	農業研究センター
	シュウリュウ	52	879	〃
	リョウユウ	5	52	〃
	ユキホマレ	9	38	〃
ひえ	達磨	0.1	3.6	県北農業研究所
きび	ひめこがね	0.1	5.4	〃

3 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく種子・種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち原種 (令和7年採種圃播種用)	いわてっこ	880	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	白銀のひかり	360	
	あきたこまち	1,260	〃
	どんびしやり	60	〃
	銀河のしずく	2,100	〃
	ひとめぼれ	9,060	〃
	金色の風	120	〃
	ササニシキ	160	〃
酒造好適米原種 (令和7年採種圃播種用)	ぎんおとめ	40	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	60	〃
	結の香	20	〃
水稻非主食用米原種 (令和7年採種圃播種用)	たわわっこ	700	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	つぶゆたか	480	〃
水稻もち原種 (令和7年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,160	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	30	〃
水稻うるち一般種子	白銀のひかり	1800	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
小麦原種 (令和6年採種圃播種用)	ナンプコムギ	2,910	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	5,970	〃
	銀河のちから	1,110	〃
	ナンプキラリ	390	〃
大豆原種 (令和6年採種圃播種用)	リュウホウ	2,628	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	シュウリュウ	188	〃
	ナンプシロメ	80	〃
	ユキホマレ	32	〃
あわ原種	いわてあわこがね	0.25	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆいこがね	0.05	〃
きび原種	ひめこがね	1.00	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
ひえ原種	達磨	1.50	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	種子系親系統Ha等、5系統	1,000(本)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	培養系親系統Sen2等、2系統	250(本)	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

4 遺伝資源センターの取り組み

種 類	品 種	発芽率(%)	備 考
伝統野菜の保存に係る 発芽率調査	該当なし		

5 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:令和7年3月31日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊美翔平	552	918	278	178	176	120	108	197	165	139	157	205	3,193
久隆照	25	0	0	10	15	3	0	0	551	300	0	0	904
勝乃富士	40	35	79	35	17	0	10	0	2	0	13	15	246
福太郎3(福太郎)	39	72	1	13	12	50	0	5	10	13	20	10	245
万太郎(成美之12)	0	0	0	10	0	0	58	68	0	0	29	20	185
美津貴	0	5	0	5	25	10	5	55	12	5	60	17	199
菊安舞鶴	0	20	15	20	20	20	0	5	0	0	40	0	140
百合雲	4	5	0	0	5	0	50	4	10	12	10	4	104
菊百合福	0	20	0	0	5	10	10	0	20	20	0	0	85
来待招福	0	10	30	20	20	0	0	0	0	0	0	0	80
百合花智	5	0	0	5	0	0	5	50	9	0	0	0	74
結乃宝	3	0	0	0	5	5	0	5	10	10	5	4	47
北真鶴	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	20
花金幸	0	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	20
星乃栄	0	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	20
藤八雲(藤沢茂)	0	3	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	14
菊福秀(菊福桜)	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10
暁雲	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10
飛良智	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
沢美津雲	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
照也	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
菊勝久	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
山根雲	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
重桜	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
辰美継	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
計	670	1,111	411	304	305	218	246	424	819	501	334	280	5,623

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
勝花道(勝花)	30	0	0	0	0	0	0	10	30	0	12	0	82
初男28	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
琴国宝	0	5	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	15
良復興	2	3	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	15
松民(四男)	0	3	5	0	5	0	0	0	0	0	4	4	21
福次朗	0	3	0	0	8	0	0	0	0	0	2	0	13
辰錦	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
良来	0	5	0	0	3	0	0	0	2	0	0	10	20
姫松吉	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	5	0	13
兼代29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
大野藤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
高福	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
広和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
松秋	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
萩風灰	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
川春	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
立美	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
勝花	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
高花	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
幸力錦	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
辰藤	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	72	21	10	3	25	0	20	20	32	0	28	34	265

6 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:令和7年3月31日現在)

(1) 豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	種雌(頭)	種雄(頭)	子豚(頭)	
L	-	-	-	県内養豚農場
B	-	-	55	県内養豚農場
LW	-	-	-	県内養豚農場
その他	-	-	-	県内養豚農場
計	0	0	55	

(2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	1,048	659	1,707	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

7 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:令和6年5～10月)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	33	1	26	60

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	5	1	2	8

VIII 予算及び財産

Ⅷ 予算及び財産

1 岩手県農業研究センター予算（令和6年度・2月現計）

（単位：千円）

区 分	（内 訳）	予 算 額
【農業費】		
人件費（本部）		763,298
庁舎管理費（本部）		120,500
庁舎管理費（本部：施設整備費）		209,844
庁舎管理費（本部：会計年度任用職員）		13,388
庁舎管理費（県北）		22,149
ほ場管理費（本部）		47,590
ほ場管理費（県北）		3,019
管理運営費（県北：会計年度任用職員）		5,478
ふれあい公園管理運営費		8,411
ふれあい公園管理運営費（会計年度任用職員）		7,838
試験研究費（国庫、委託試験 等）		88,274
（1）植物防疫研究費	467	
（2）土壌対策研究費	243	
（3）外部資金等農業試験研究費	87,564	
高生産性農業新技術開発促進研究費（県単研究費）		10,658
主要農作物採種管理費		16,089
令達事業（本部）		42,174
令達事業（県北）		8,860
合 計		1,367,570
【畜産業費】		
人件費（畜産）		502,075
庁舎管理費		65,533
飼育管理費		98,144
管理運営費（種山畜産研究室分）		89,502
試験研究費（国庫、委託試験 等）		4,213
農業関係試験研究委託事業	4,213	
高生産性畜産新技術開発促進研究費（県単研究費）		14,581
令達事業		27,621
合 計		801,669
全 体 計		2,169,239

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (R6.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m ²)		
	耕 地					林野等	施設 用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	31	17		78	16	41	135	80	30,325
北 上	26	22	17		65		36	101	33	19,846
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整 調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
農業ふれあい公園						16	2	18	8	2,181
南部園芸研究室							1	1	9	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他(胆沢、金ヶ 崎、滝沢)		8			8		0	8	5	1,752
畜産研究所		99		1,595	1,694	297	36	2,027	150	36,847
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				111	111	108	0.6	220	15	5,628
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	141	16	1,595	1,785	313	85	2,182	247	75,255

(2) 飼養家畜頭数 (R6.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		27	27	ホルスタイン種 42
	育成牛(子牛含む)		15	15	
肉用牛	(滝沢)	96 (雄23, 去勢73)	42	138	黒毛和種 57、日本短角種 81 (育成牛・子牛を含む) 黒毛和種 63、日本短角種 48 (育成牛・子牛を含む) 黒毛和種 91 (育成牛を含む)
	(外山)	8 (去勢8)	103 (子牛22)	111	
	(種山)	52 (雄32, 去勢20)	23 (子牛4)	75	
	牛 計	156	210	366	
豚	種豚	11	21	32	【種豚の内訳】 バークシャー種 108、雑種 51
	その他	-	-	127	
	計	11	21	159	
鶏	種鶏	-	-	1,470	岩手地鶏 284、基礎鶏 373、ホワイトロックロード 268、ホワイトロック 47、岩手大型ロード 498

IX 沿革

Ⅸ 沿 革

明治31年	種馬厩を盛岡市に設置。
明治34年	農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。 種馬厩を種畜場と改称。
明治35年	種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
明治36年	農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
大正2年	原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢)に設置。
大正8年	農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺)に設置。
大正11年	原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
大正12年	農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。 外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山)に移転(滝沢は支場となる)。
昭和2年	種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
昭和5年	農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。 蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
昭和10年	農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
昭和12年	種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。 蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
昭和13年	蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
昭和15年	農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
昭和21年	農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
昭和22年	農事試験場遠野試験地が国営に移管。
昭和23年	種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
昭和25年	農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。 農業試験場畜産部を種畜場と併設。 農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。 農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
昭和26年	農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。 農業試験場に遠野試験地が国から移管。 農業試験場に農業経営研究部門設置。 工芸作物原種農場を雫石町に設置。
昭和28年	蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢)龍ヶ馬場に移転。
昭和30年	農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫害・経営・農機具・畜産)。 蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
昭和32年	蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
昭和36年	蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
昭和37年	農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。 農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。 種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。 農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。 工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
昭和38年	農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
昭和39年	畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
昭和41年	農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
昭和44年	園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
昭和46年	農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壤改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。 農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。 農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。 園芸試験場に環境部を設置。 園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。 畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
昭和47年	園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
昭和48年	蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
昭和51年	農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
昭和53年	蚕業試験場六原試験地を廃止。 蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
昭和56年	園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。

昭和57年	蚕業試験場整備計画実施（～昭和58年）。
平成3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置（繭検定所を廃止）。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所（本部）へ統合。 専門技術員（県北農業研究所勤務）を専門技術員室（本部）へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止（中央農業改良普及センターへ勤務振り替え）。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖（業務は岩手県知的所有権センターで実施）。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室（陸前高田市）が東日本大震災津波で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室（陸前高田市）を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。
平成31年	センター本部のプロジェクト推進室及び技術部を生産基盤研究部と園芸技術研究部に再編、5部体制に整備 環境部を生産環境研究部と改称
令和6年	県北農業研究所園芸研究室を果樹・野菜研究室に改組

<所 在>

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ https://www.pref.iwate.jp/agri/nouken E-mail：CE0008@pref.iwate.jp（本部） E-mail：CE0001@pref.iwate.jp（病害虫防除所）
（南部園芸研究室）	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0605	岩手県滝沢市砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail：CE0010@pref.iwate.jp
（外山畜産研究室）	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
（種山畜産研究室）	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail：CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail：CE0009@pref.iwate.jp

令和 6 年度 岩手県農業研究センター年報

令和 7 年 10 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

